

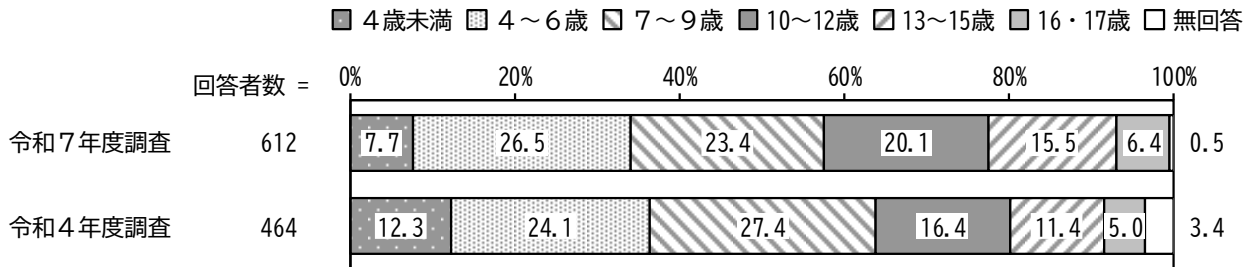
第 3 章

障害児調査

(1) 子どもの状況について

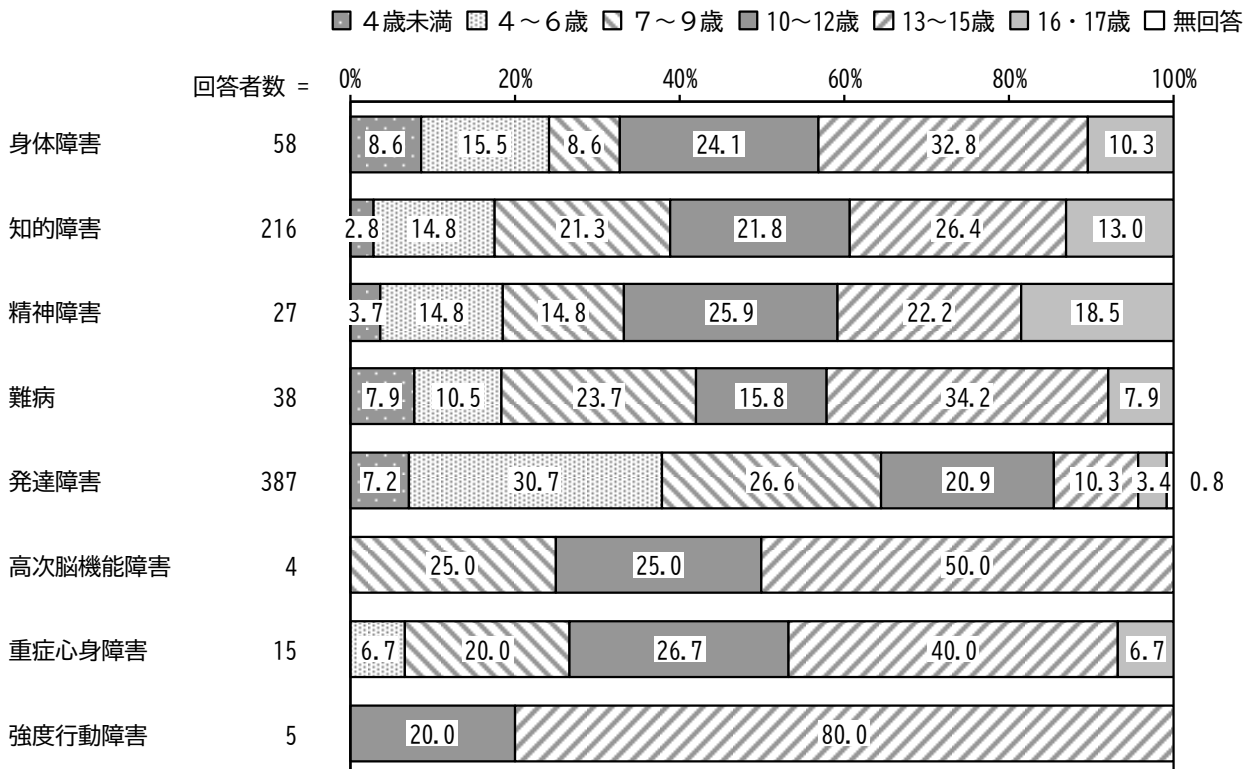
問1 お子様の年齢は、何歳ですか。令和7年9月1日現在の年齢を記入してください。

「4～6歳」の割合が26.5%と最も高く、次いで「7～9歳」の割合が23.4%、「10～12歳」の割合が20.1%となっています。



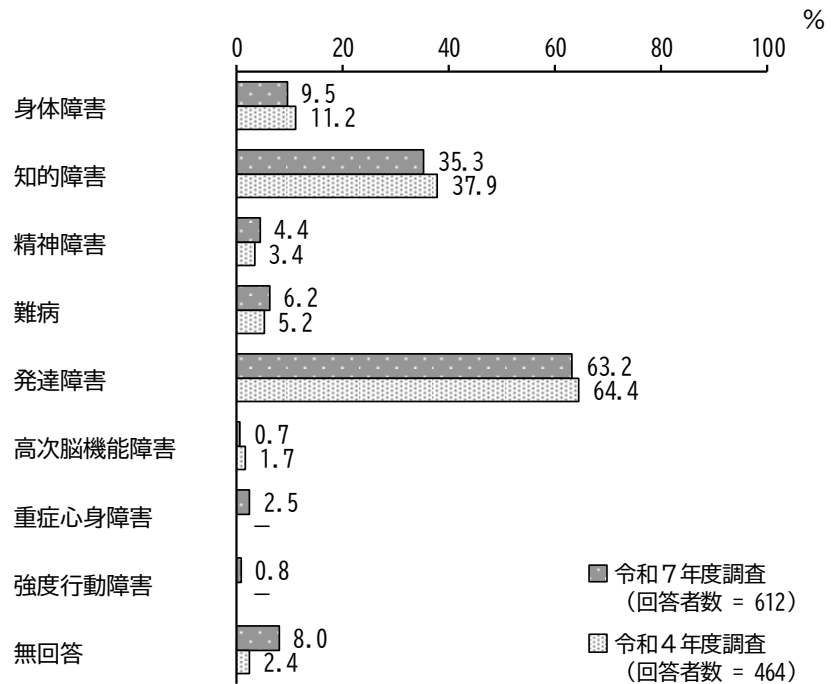
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「13～15歳」、精神障害で「16・17歳」の割合が高く、重症心身障害で「4～6歳」、身体障害で「7～9歳」の割合が低くなっています。



問2 お子様の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「発達障害」の割合が63.2%と最も高く、次いで「知的障害」の割合が35.3%となっています。

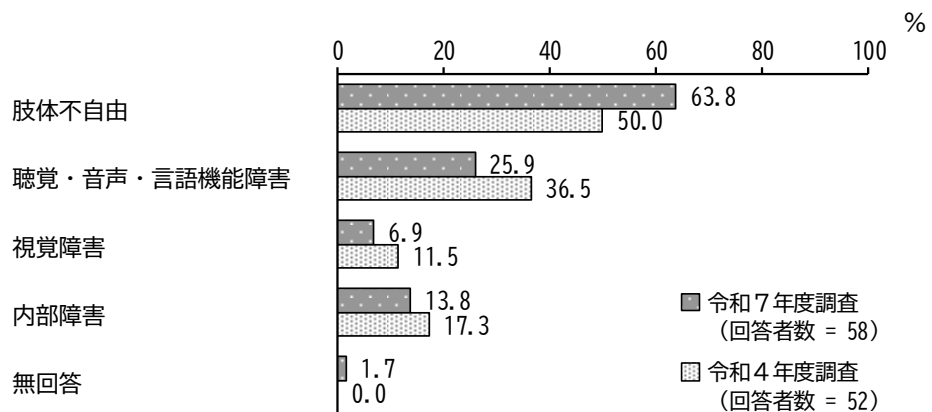


※「重症心身障害」、「強度行動障害」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

身体障害の種類

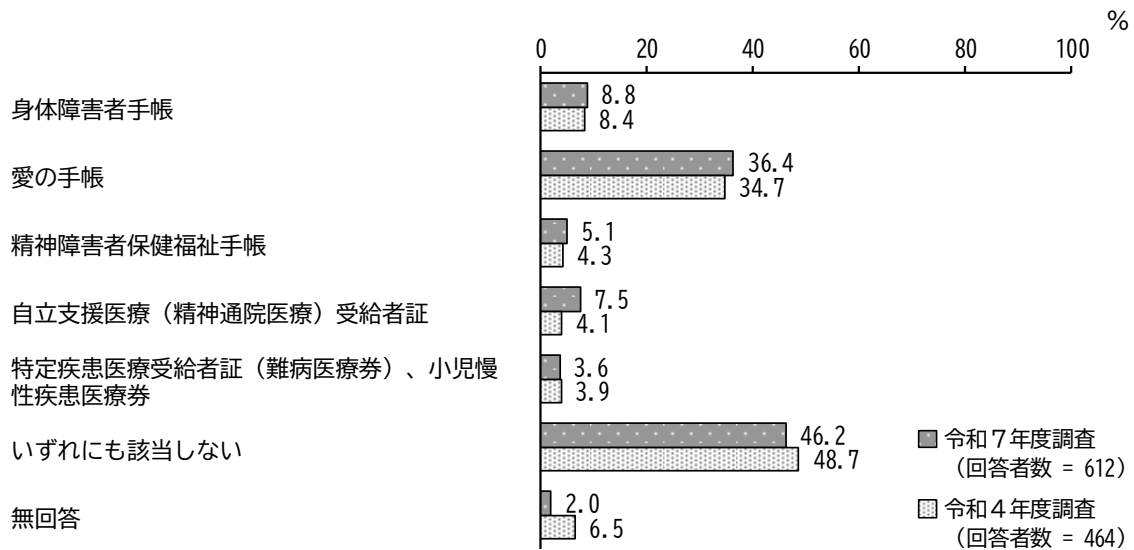
「肢体不自由」の割合が63.8%と最も高く、次いで「聴覚・音声・言語機能障害」の割合が25.9%、「内部障害」の割合が13.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「肢体不自由」の割合が増加しています。一方、「聴覚・音声・言語機能障害」の割合が減少しています。



問3 お子様がお持ちの障害者手帳などについて、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「愛の手帳」の割合が36.4%と最も高くなっています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「身体障害者手帳」、知的障害、重症心身障害で「愛の手帳」、精神障害で「精神障害者保健福祉手帳」、難病で「特定疾患医療受給者証（難病医療券）、小児慢性疾患医療券」の割合が高くなっています。

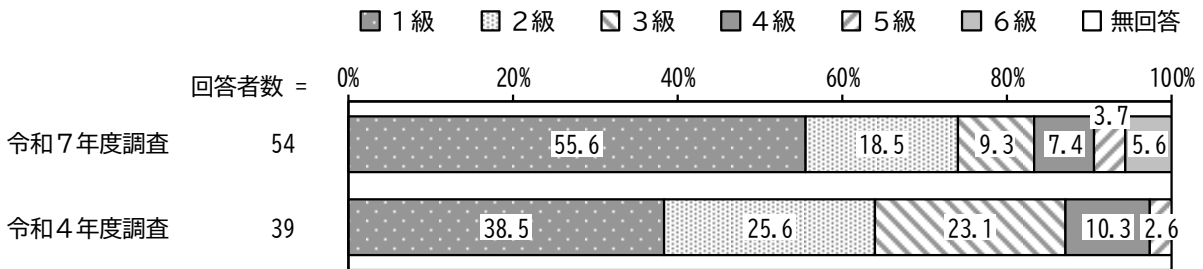
単位：%

区分	回答者数 (件)	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療（精神通院医療）受給者証	特定疾患医療受給者証（難病医療券）、小児慢性疾患医療券	いずれにも該当しない	無回答
全体	612	8.8	36.4	5.1	7.5	3.6	46.2	2.0
身体障害	58	87.9	60.3	3.4	3.4	12.1	5.2	0.0
知的障害	216	14.4	91.7	3.7	3.2	4.6	5.6	0.0
精神障害	27	11.1	51.9	51.9	14.8	14.8	11.1	3.7
難病	38	50.0	57.9	10.5	2.6	47.4	10.5	0.0
発達障害	387	1.0	23.0	6.2	11.1	1.3	59.4	1.6
高次脳機能障害	4	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	93.3	93.3	6.7	6.7	20.0	0.0	0.0
強度行動障害	5	0.0	100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0

身体障害者手帳の等級

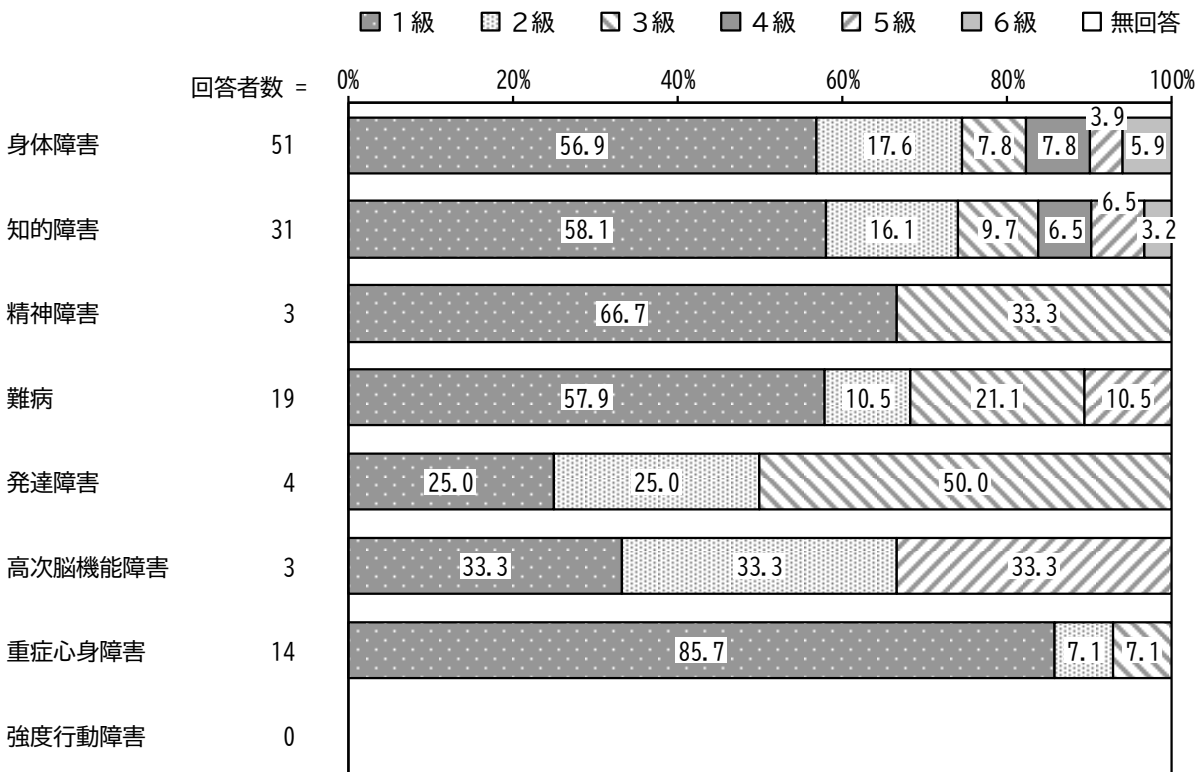
「1級」の割合が55.6%と最も高く、次いで「2級」の割合が18.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「1級」「6級」の割合が増加しています。一方、「2級」「3級」の割合が減少しています。



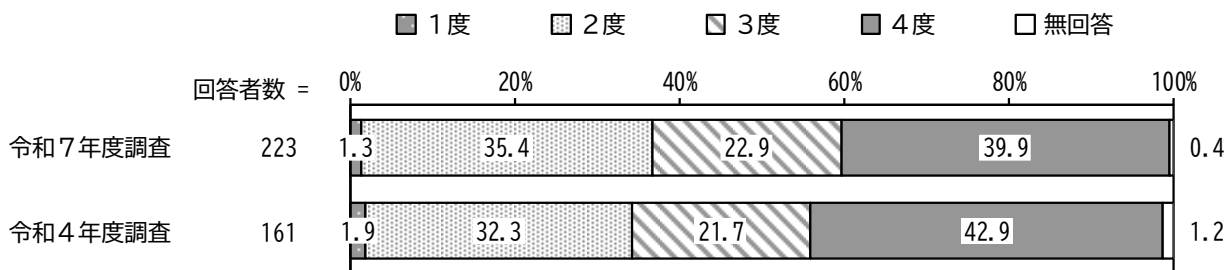
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「1級」、難病で「3級」の割合が高く、重症心身障害で「2級」の割合が低くなっています。



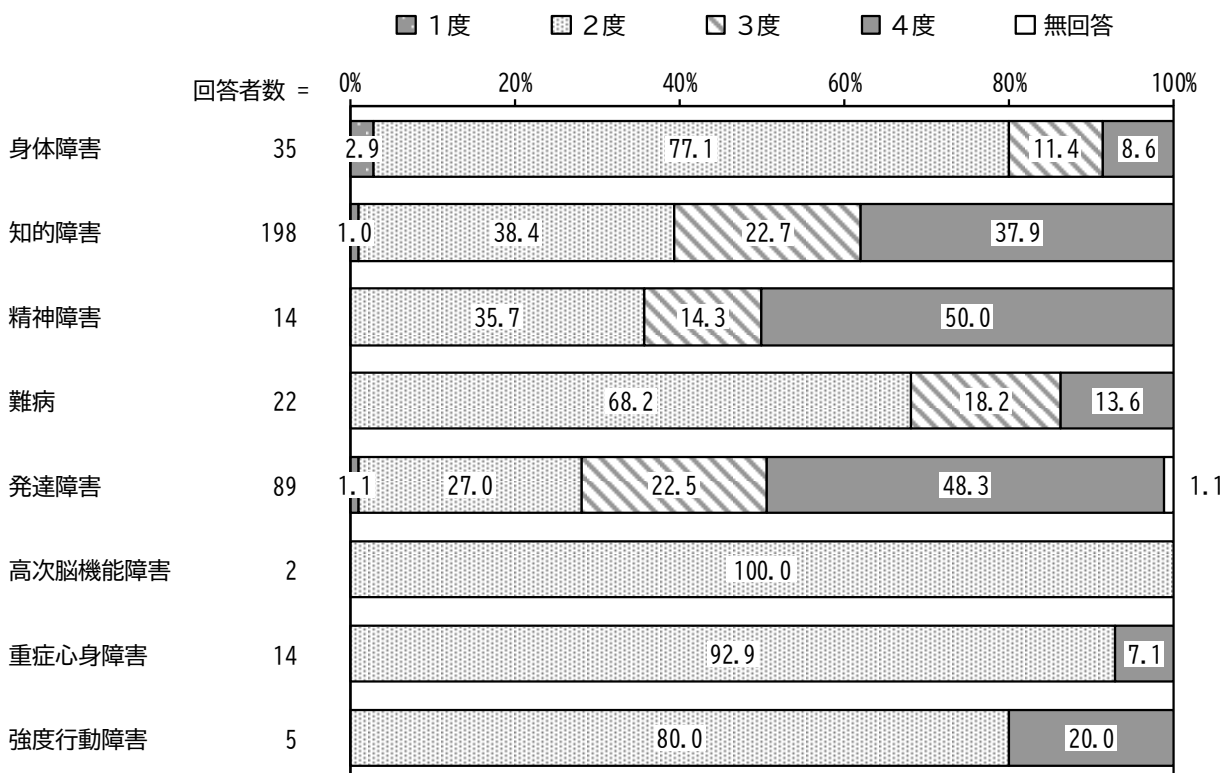
愛の手帳の程度

「4度」の割合が39.9%と最も高く、次いで「2度」の割合が35.4%、「3度」の割合が22.9%となっています。



【障害種別】

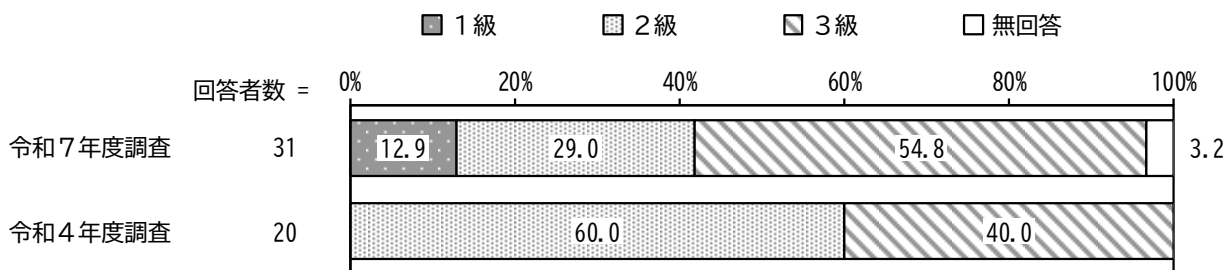
障害種別にみると、重症心身障害で「2度」、精神障害で「4度」の割合が高くなっています。



精神障害者保健福祉手帳の等級

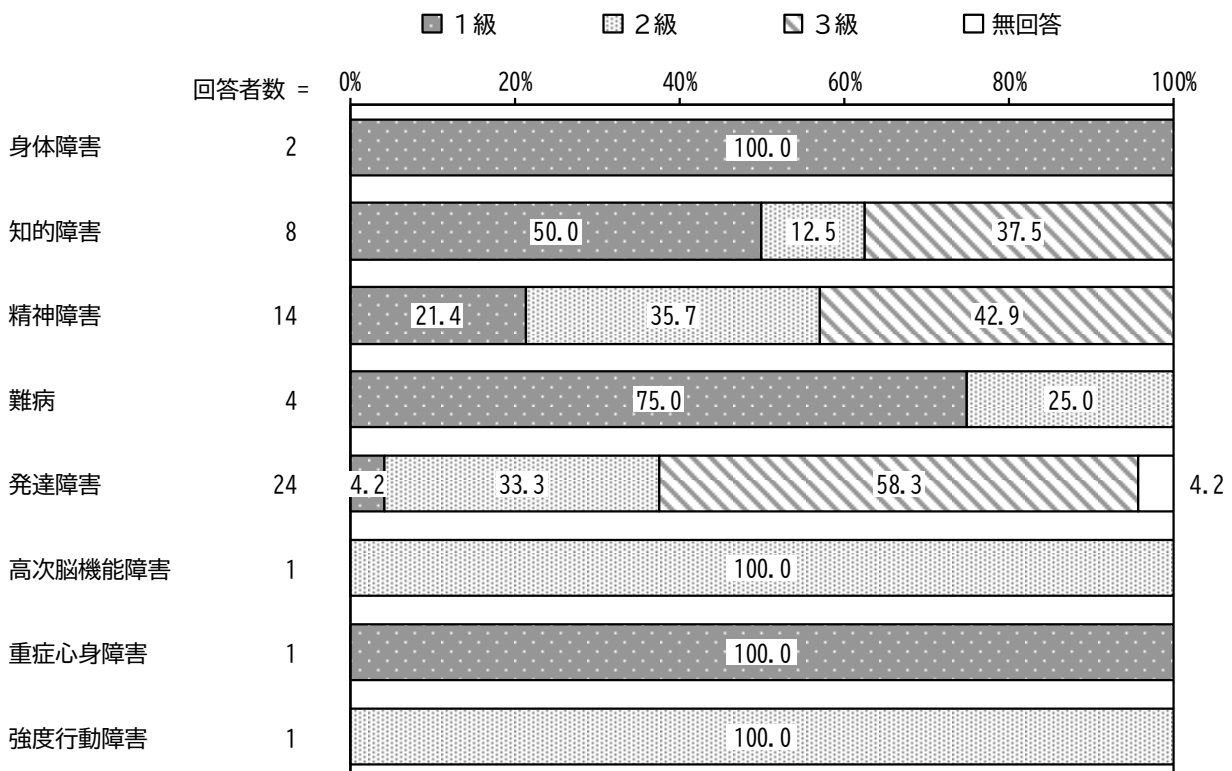
「1級」の割合が12.9%、「2級」の割合が29.0%、「3級」の割合が54.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「1級」「3級」の割合が増加しています。一方、「2級」の割合が減少しています。



【障害種別】

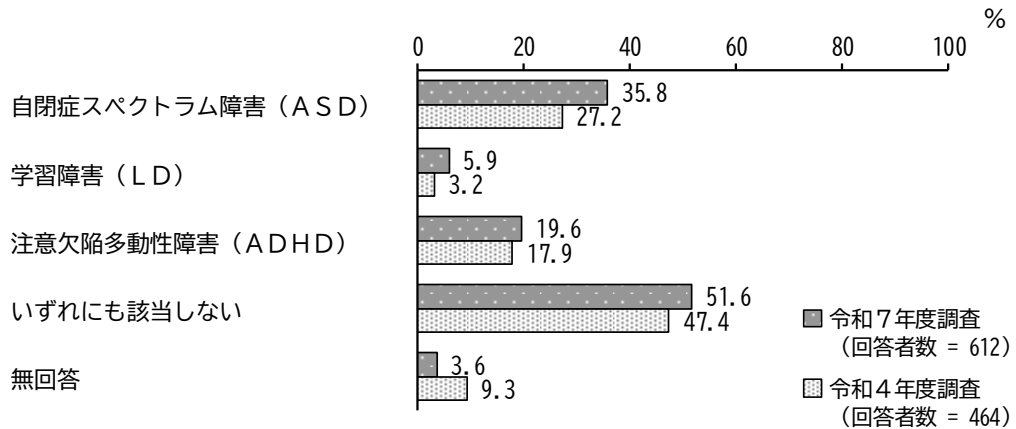
障害種別にみると、精神障害で「1級」の割合が高く、発達障害で「3級」の割合が高くなっています。



問4 お子様は、次のような診断を受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「自閉症スペクトラム障害（ASD）」の割合が35.8%、「学習障害（LD）」の割合が5.9%、「注意欠陥多動性障害（ADHD）」の割合が19.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「自閉症スペクトラム障害（ASD）」の割合が増加しています。



【障害種別】

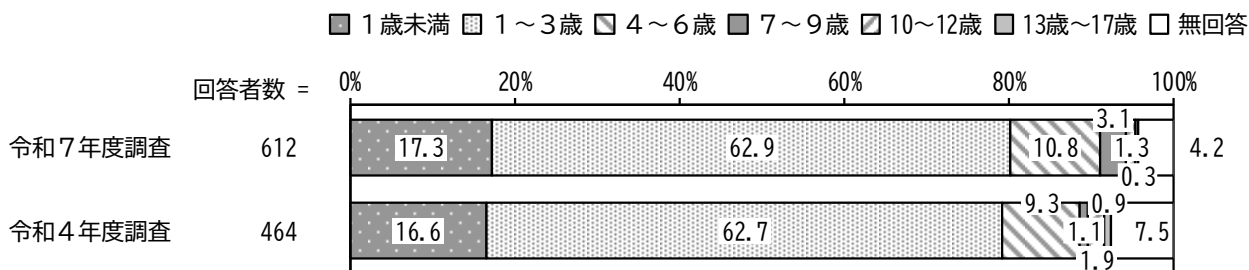
障害種別に見ると、精神障害で「自閉症スペクトラム障害（ASD）」「注意欠陥多動性障害（ADHD）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自閉症スペクトラム障害 (ASD)	学習障害 (LD)	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	いずれにも該当しない	無回答
全体	612	35.8	5.9	19.6	51.6	3.6
身体障害	58	3.4	1.7	5.2	89.7	1.7
知的障害	216	45.4	3.7	12.5	44.0	3.7
精神障害	27	74.1	14.8	33.3	22.2	0.0
難病	38	5.3	5.3	7.9	81.6	2.6
発達障害	387	47.3	8.0	27.4	40.3	1.3
高次脳機能障害	4	25.0	0.0	25.0	75.0	0.0
重症心身障害	15	6.7	0.0	6.7	86.7	0.0
強度行動障害	5	100.0	20.0	60.0	0.0	0.0

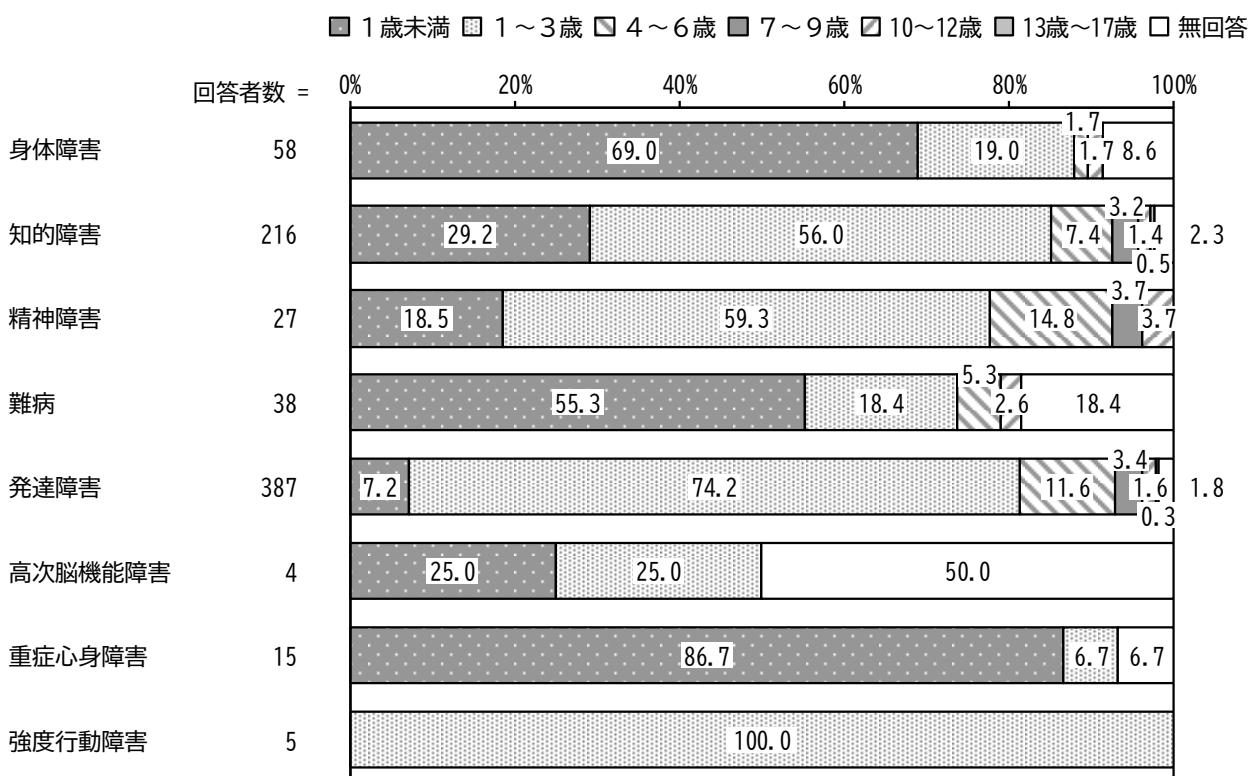
問5 お子様の発達に関する問題について、ご家族の方が最初に気づいたのは、お子様が何歳の時ですか。年齢を記入してください。

「1～3歳」の割合が62.9%と最も高く、次いで「1歳未満」の割合が17.3%、「4～6歳」の割合が10.8%となっています。



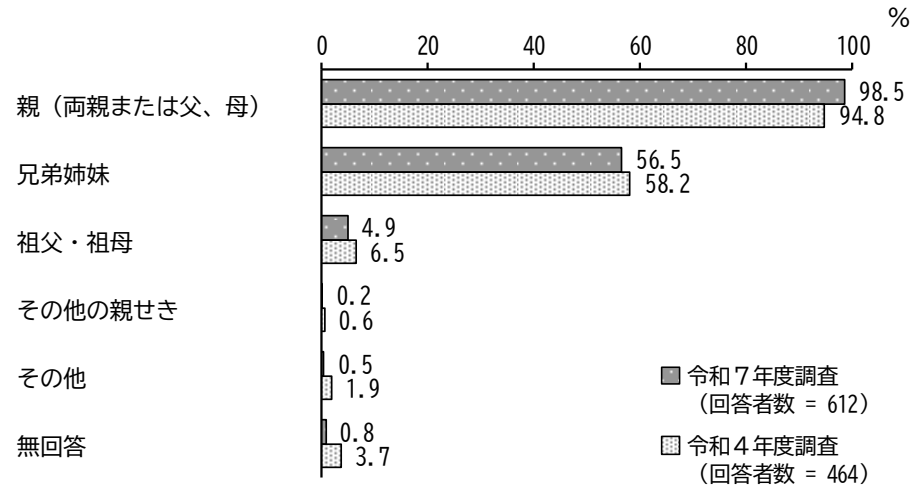
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「1歳未満」、発達障害で「1～3歳」の割合が高くなっています。



問6 お子様は現在、どなたと一緒に暮らしていますか。一緒に生活されている方すべてに○をつけてください。

「親（両親または父、母）」の割合が98.5%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が56.5%となっています。



【障害種別】

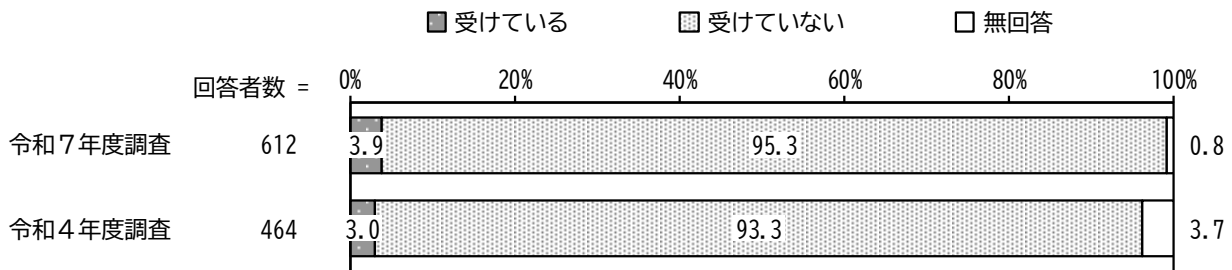
障害種別にみると、重症心身障害で「兄弟姉妹」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	親 (両親または父、母)	兄弟姉妹	祖父・祖母	その他の親せき	その他	無回答
全体	612	98.5	56.5	4.9	0.2	0.5	0.8
身体障害	58	96.6	56.9	6.9	0.0	1.7	0.0
知的障害	216	99.5	61.6	6.0	0.0	0.5	0.0
精神障害	27	100.0	55.6	3.7	0.0	0.0	0.0
難病	38	100.0	63.2	5.3	0.0	0.0	0.0
発達障害	387	99.2	55.6	4.1	0.3	0.3	0.3
高次脳機能障害	4	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	100.0	73.3	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	5	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0

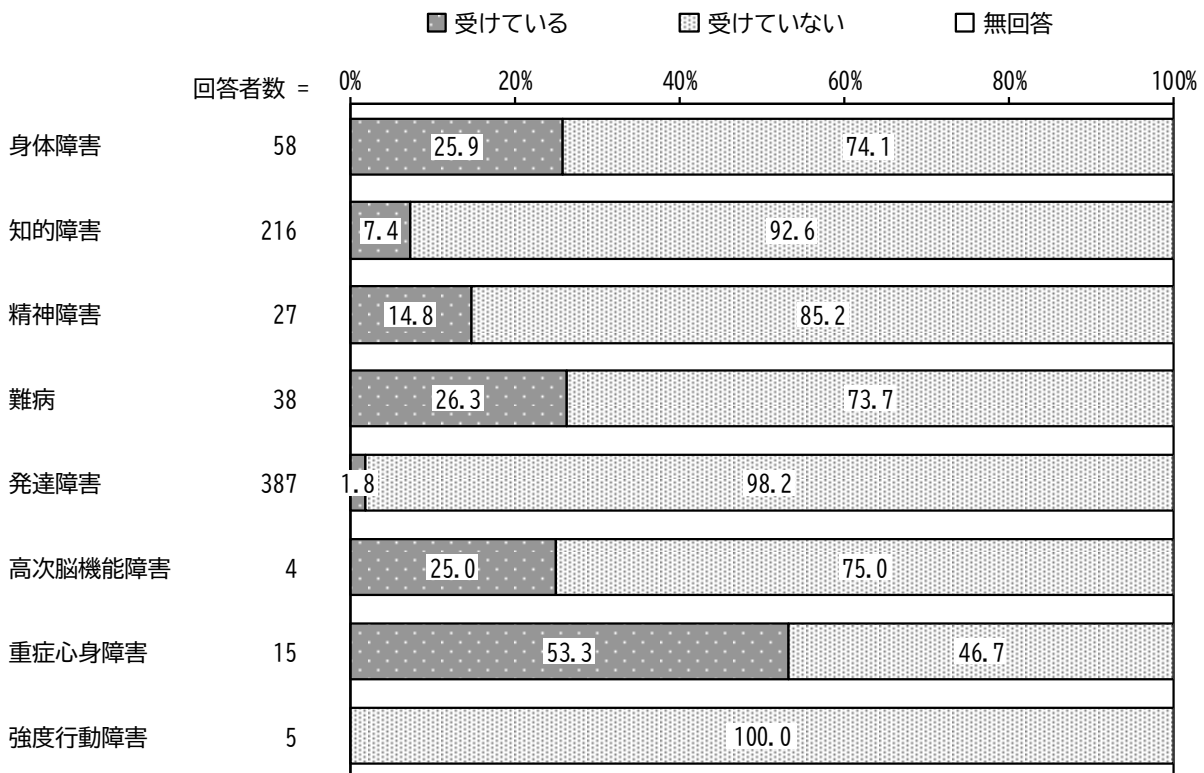
問7 お子様は、日常生活の中で、医療的ケア（在宅における医療的な支援）を受けていますか。受けている場合はどのような医療的なケアを受けていますか。あてはまるものすべてに○を記入してください。

「受けている」の割合が3.9%、「受けていない」の割合が95.3%となっています。



【障害種別】

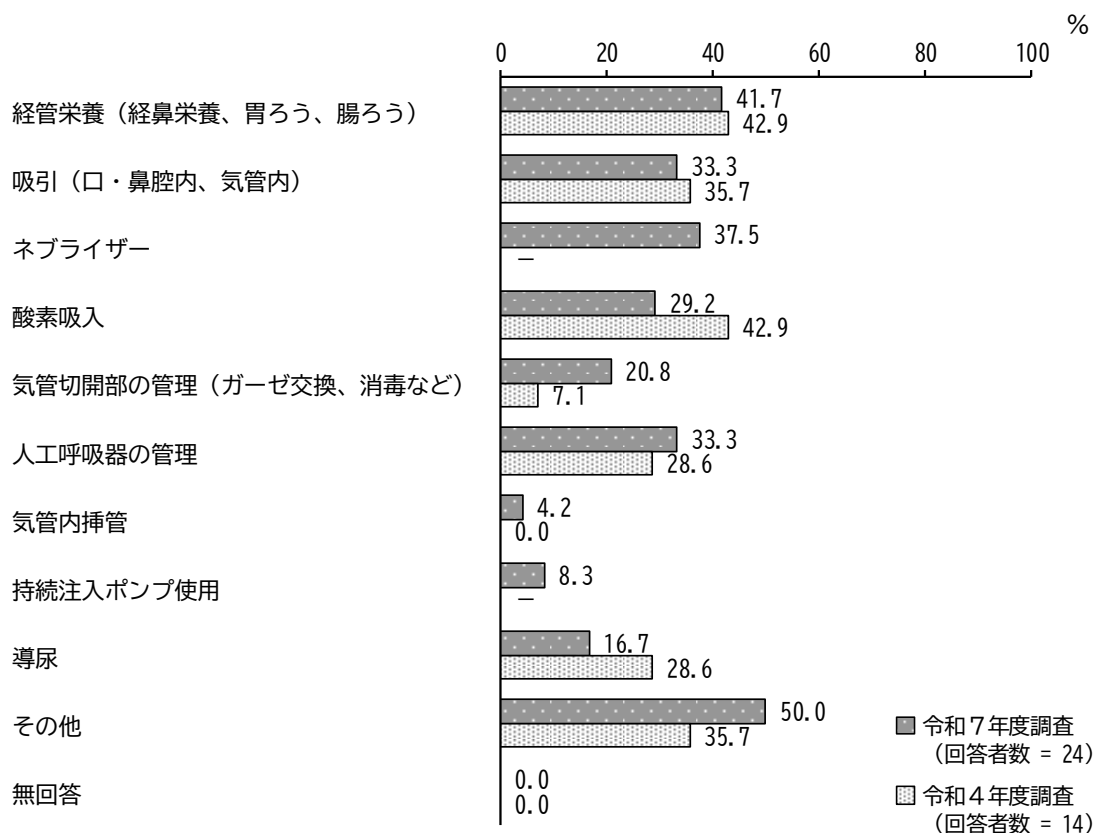
障害種別にみると、重症心身障害で「受けている」の割合が高くなっています。



受けている医療的ケア

「経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）」の割合が41.7%と最も高く、次いで「ネブライザー」の割合が37.5%、「吸引（口・鼻腔内、気管内）」、「人工呼吸器の管理」の割合が33.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「気管切開部の管理（ガーゼ交換、消毒など）」の割合が増加しています。一方、「酸素吸入」「導尿」の割合が減少しています。



※「ネブライザー」、「持続注入ポンプ使用」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【障害種別】

障害種別にみると、身体障害で「経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）」「吸引（口・鼻腔内、気管内）」「気管切開部の管理（ガーゼ交換、消毒など）」「人工呼吸器の管理」、知的障害、難病で「ネブライザー」、難病で「酸素吸入」「導尿」の割合が高くなっています。

単位：%

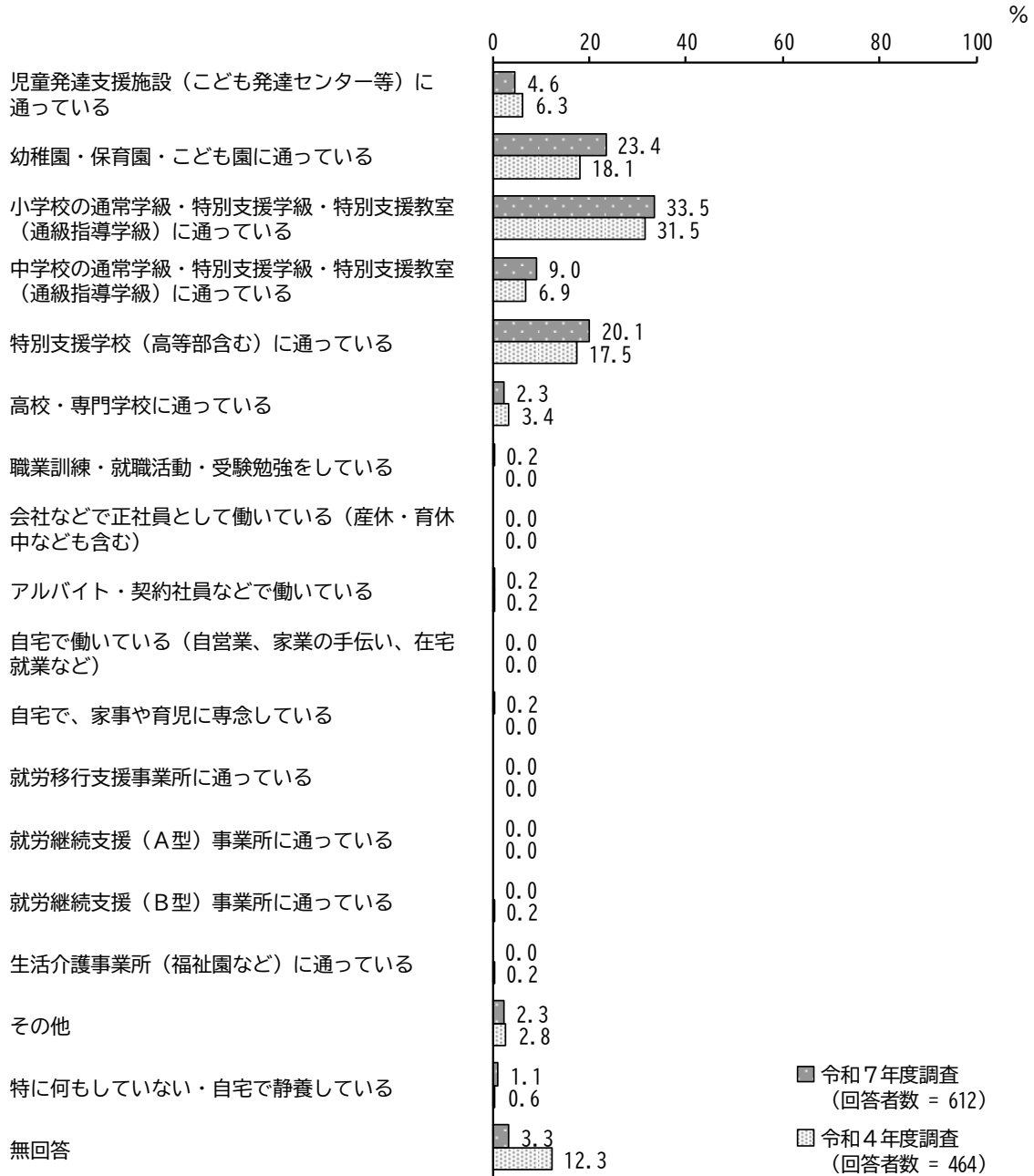
区分	回答者数 (件)	経管栄養 (経鼻栄養、胃ろう、腸ろう)	吸引 (口・鼻腔内、気管内)	ネブライザー	酸素吸入	気管切開部の管理 (ガーゼ交換、消毒など)	人工呼吸器の管理	気管内挿管	持続注入ポンプ使用	導尿	その他	無回答
全体	24	41.7	33.3	37.5	29.2	20.8	33.3	4.2	8.3	16.7	50.0	0.0
身体障害	15	66.7	53.3	46.7	46.7	33.3	53.3	6.7	13.3	26.7	33.3	0.0
知的障害	16	56.3	43.8	50.0	43.8	25.0	37.5	6.3	6.3	18.8	37.5	0.0
精神障害	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0
難病	10	60.0	50.0	50.0	50.0	30.0	40.0	10.0	0.0	30.0	30.0	0.0
発達障害	7	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0
高次脳機能障害	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
重症心身障害	8	100.0	75.0	62.5	62.5	50.0	62.5	12.5	0.0	37.5	25.0	0.0
強度行動障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 仕事や学校生活について

問8 お子様は、普段（休日以外）は、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「小学校の通常学級・特別支援学級・特別支援教室（通級指導学級）に通っている」の割合が33.5%と最も高く、次いで「幼稚園・保育園・こども園に通っている」の割合が23.4%、「特別支援学校（高等部含む）に通っている」の割合が20.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「幼稚園・保育園・こども園に通っている」の割合が増加しています。



【障害種別】

障害種別にみると、発達障害で「小学校の通常学級・特別支援学級・特別支援教室（通級指導学級）に通っている」、難病で「中学校の通常学級・特別支援学級・特別支援教室（通級指導学級）に通っている」、重症心身障害で「特別支援学校（高等部含む）に通っている」、精神障害で「高校・専門学校に通っている」の割合が高くなっています。

単位：%

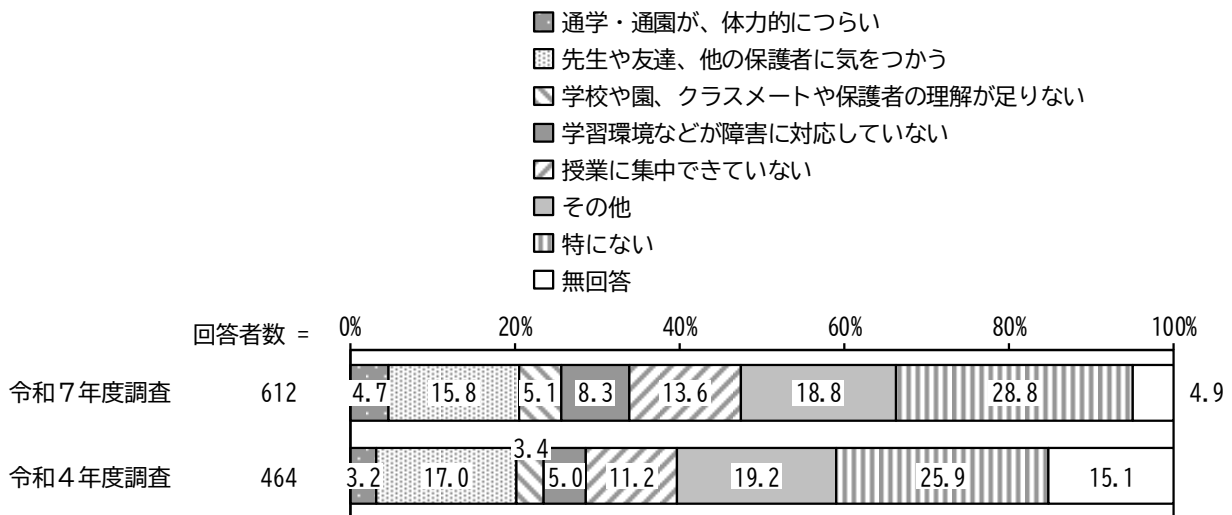
区分	回答者数(件)	児童発達支援施設（こども発達センター等）に通っている	幼稚園・保育園・こども園に通っている	小学校の通常学級・特別支援学級・特別支援教室（通級指導学級）に通っている	中学校の通常学級・特別支援学級・特別支援教室（通級指導学級）に通っている	特別支援学校（高等部含む）に通っている	高校・専門学校に通っている	職業訓練・就職活動・受験勉強をしている	会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）	アルバイト・契約社員などで働いている
全体	612	4.6	23.4	33.5	9.0	20.1	2.3	0.2	0.0	0.2
身体障害	58	6.9	12.1	8.6	13.8	44.8	5.2	0.0	0.0	0.0
知的障害	216	5.1	6.5	21.8	10.2	52.8	0.9	0.5	0.0	0.5
精神障害	27	7.4	11.1	25.9	7.4	22.2	7.4	3.7	0.0	0.0
難病	38	0.0	13.2	26.3	18.4	36.8	2.6	0.0	0.0	0.0
発達障害	387	4.7	27.4	39.3	8.0	9.3	2.3	0.3	0.0	0.0
高次脳機能障害	4	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	0.0	6.7	6.7	6.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	5	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	自宅で働いている（自営業、家業の手伝い、在宅就業など）	自宅で、家事や育児に専念している	就労移行支援事業所に通っている	就労継続支援（A型）事業所に通っている	就労継続支援（B型）事業所に通っている	生活介護事業所（福祉園など）に通っている	その他	特に何もしていない・自宅で静養している	無回答
全体	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.1	3.3
身体障害	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0
知的障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9
精神障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4	3.7
難病	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0
発達障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	1.3	4.4
高次脳機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

問9 お子様が保育や学校生活などを送るうえで、保護者の方が心配されていることや困っていることは何ですか。また、お子様または保護者の方としては、学校（中学校、高校または特別支援学校）卒業後は、どのような進路を希望していますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

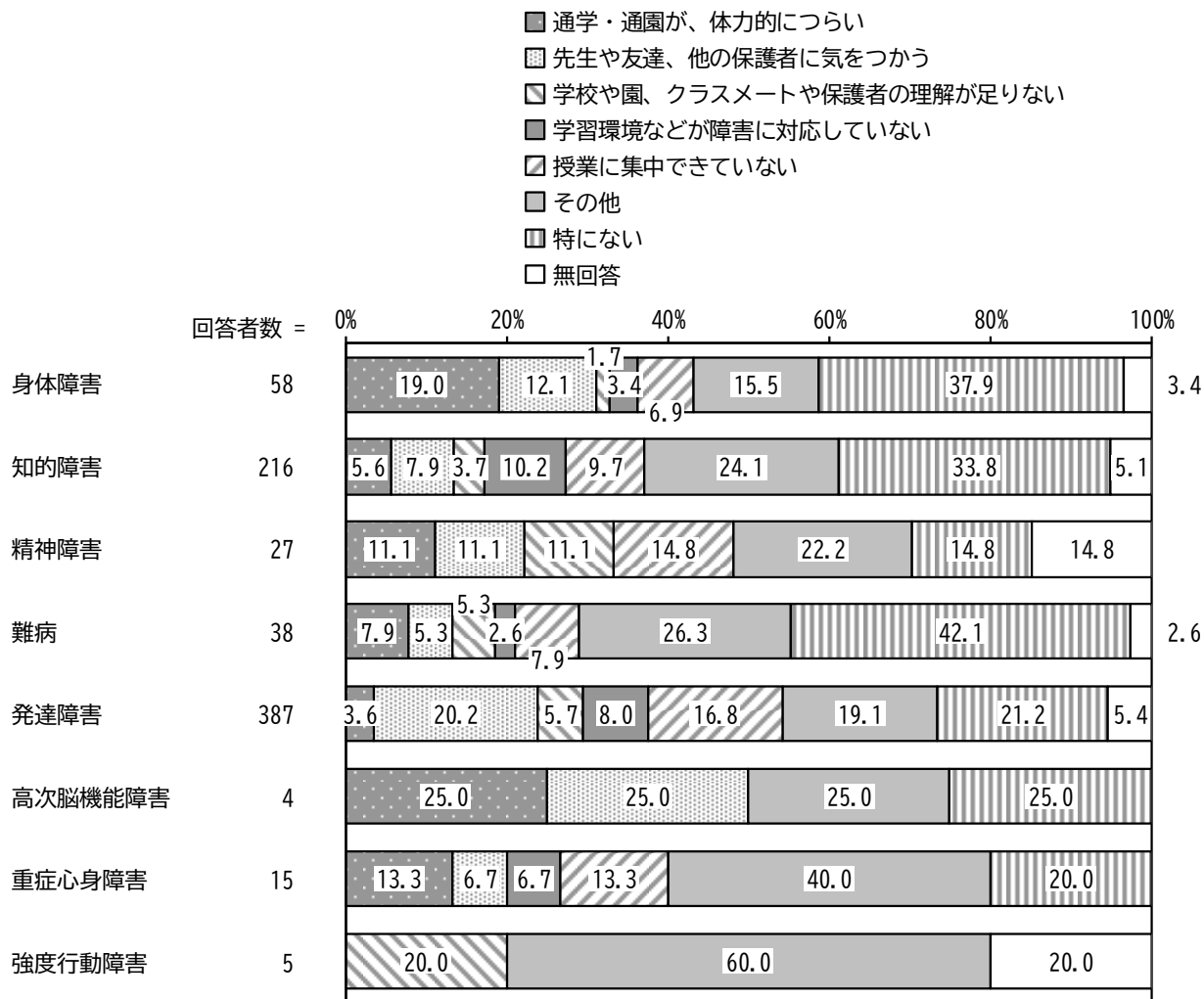
<心配されていること（困っていること）>

「先生や友達、他の保護者に気をつかう」の割合が15.8%と最も高く、次いで「授業に集中できていない」の割合が13.6%となっています。



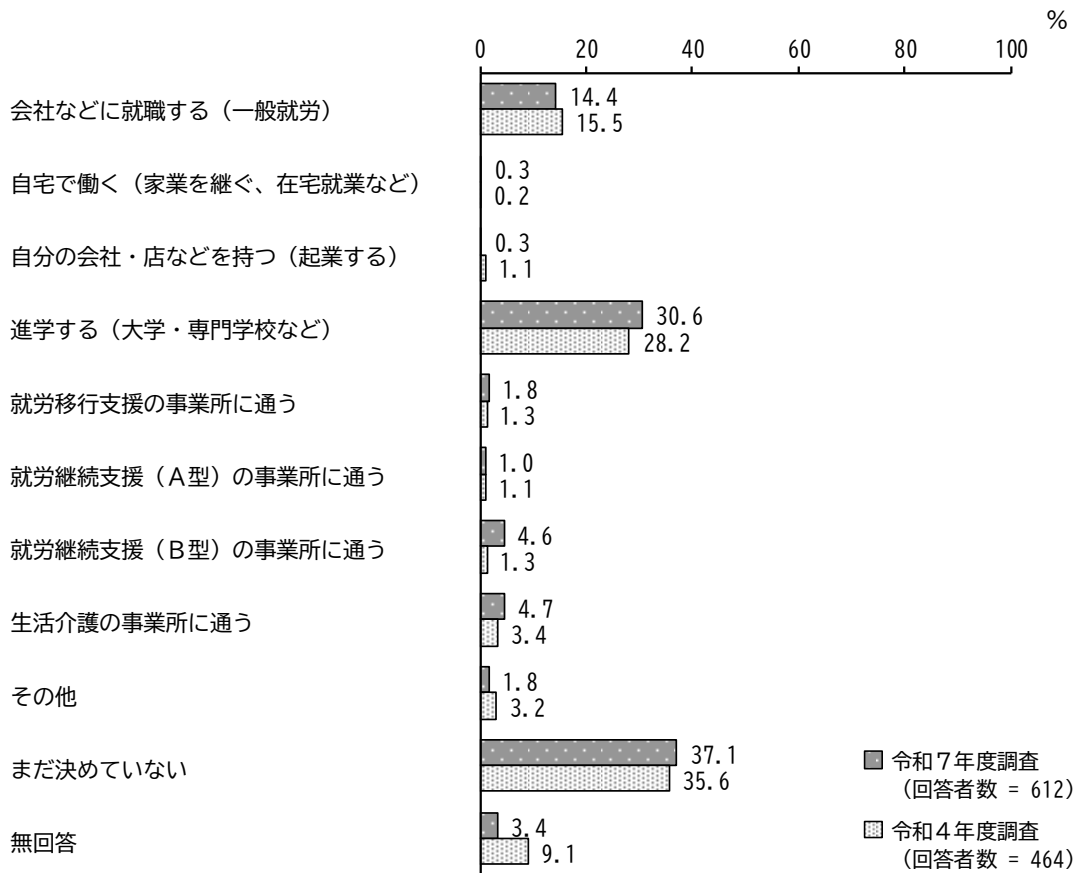
【障害種別】

障害種別にみると、身体障害で「通学・通園が、体力的につらい」、精神障害で「学校や園、クラスメートや保護者の理解が足りない」の割合が高くなっています。



<卒業後の希望する進路>

「進学する（大学・専門学校など）」の割合が30.6%と最も高く、次いで「会社などに就職する（一般就労）」の割合が14.4%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、発達障害で「進学する（大学・専門学校など）」、精神障害で「就労移行支援の事業所に通う」、知的障害で「就労継続支援（B型）の事業所に通う」、重症心身障害で「生活介護の事業所に通う」の割合が高くなっています。

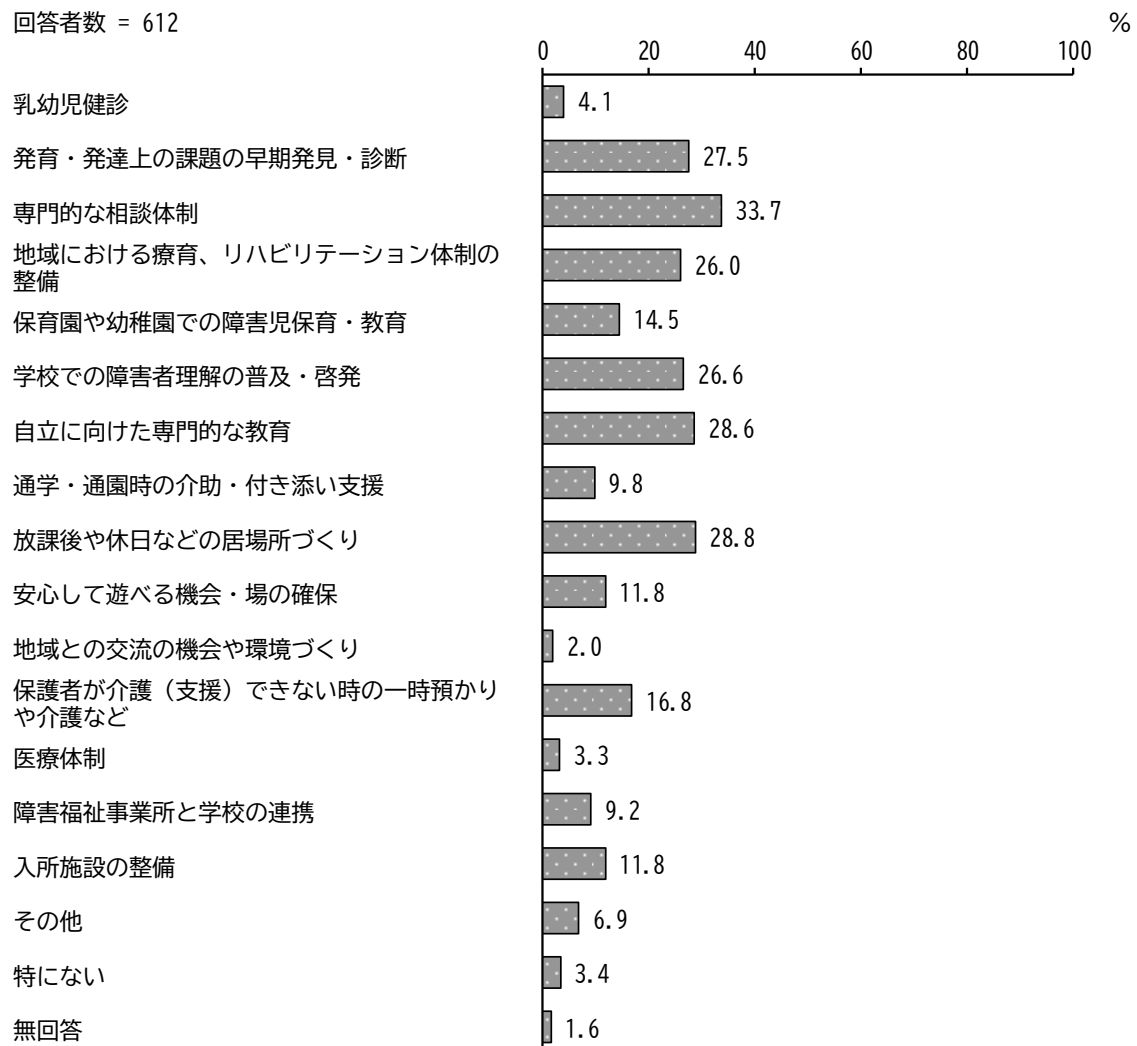
単位：%

区分	回答者数 (件)	会社などに就職する (一般就労)	自宅で働く (家業を継ぐ、在宅就業など)	自分の会社・店などを持つ (起業する)	進学する (大学・専門学校など)	就労移行支援の事業所に通う	就労継続支援 (A型) の事業所に通う	就労継続支援 (B型) の事業所に通う	生活介護の事業所に通う	その他	まだ決めていない	無回答
全体	612	14.4	0.3	0.3	30.6	1.8	1.0	4.6	4.7	1.8	37.1	3.4
身体障害	58	6.9	0.0	0.0	17.2	0.0	0.0	3.4	29.3	3.4	36.2	3.4
知的障害	216	11.6	0.0	0.0	8.8	3.7	2.8	12.0	13.4	4.2	40.7	2.8
精神障害	27	11.1	0.0	0.0	11.1	7.4	0.0	3.7	11.1	3.7	44.4	7.4
難病	38	2.6	2.6	0.0	18.4	0.0	2.6	0.0	26.3	5.3	42.1	0.0
発達障害	387	14.0	0.5	0.5	38.2	1.6	0.5	2.1	1.0	1.3	37.2	3.1
高次脳機能障害	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0
重症心身障害	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	13.3	26.7	0.0
強度行動障害	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0

問10 療育や支援で、さらに充実させるべきだと思うことはありますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「専門的な相談体制」の割合が33.7%と最も高く、次いで「放課後や休日などの居場所づくり」の割合が28.8%、「自立に向けた専門的な教育」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 612



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「放課後や休日などの居場所づくり」「保護者が介護（支援）できない時の一時預かりや介護など」「障害福祉事業所と学校の連携」「入所施設の整備」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	乳幼児健診	発育・発達上の課題の早期発見・診断	専門的な相談体制	地域における療育、リハビリテーション体制の整備	保育園や幼稚園での障害児保育・教育	学校での障害者理解の普及・啓発	自立に向けた専門的な教育	通学・通園時の介助・付き添い支援	放課後や休日などの居場所づくり
全体	612	4.1	27.5	33.7	26.0	14.5	26.6	28.6	9.8	28.8
身体障害	58	3.4	6.9	20.7	24.1	13.8	19.0	12.1	19.0	31.0
知的障害	216	0.9	13.0	18.5	22.2	10.6	18.1	32.9	15.3	42.1
精神障害	27	3.7	25.9	33.3	29.6	7.4	29.6	18.5	18.5	25.9
難病	38	0.0	5.3	13.2	28.9	7.9	13.2	10.5	7.9	34.2
発達障害	387	4.1	31.8	38.5	27.9	14.7	30.2	30.5	8.5	26.6
高次脳機能障害	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0
重症心身障害	15	0.0	0.0	0.0	20.0	13.3	13.3	6.7	6.7	46.7
強度行動障害	5	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	40.0

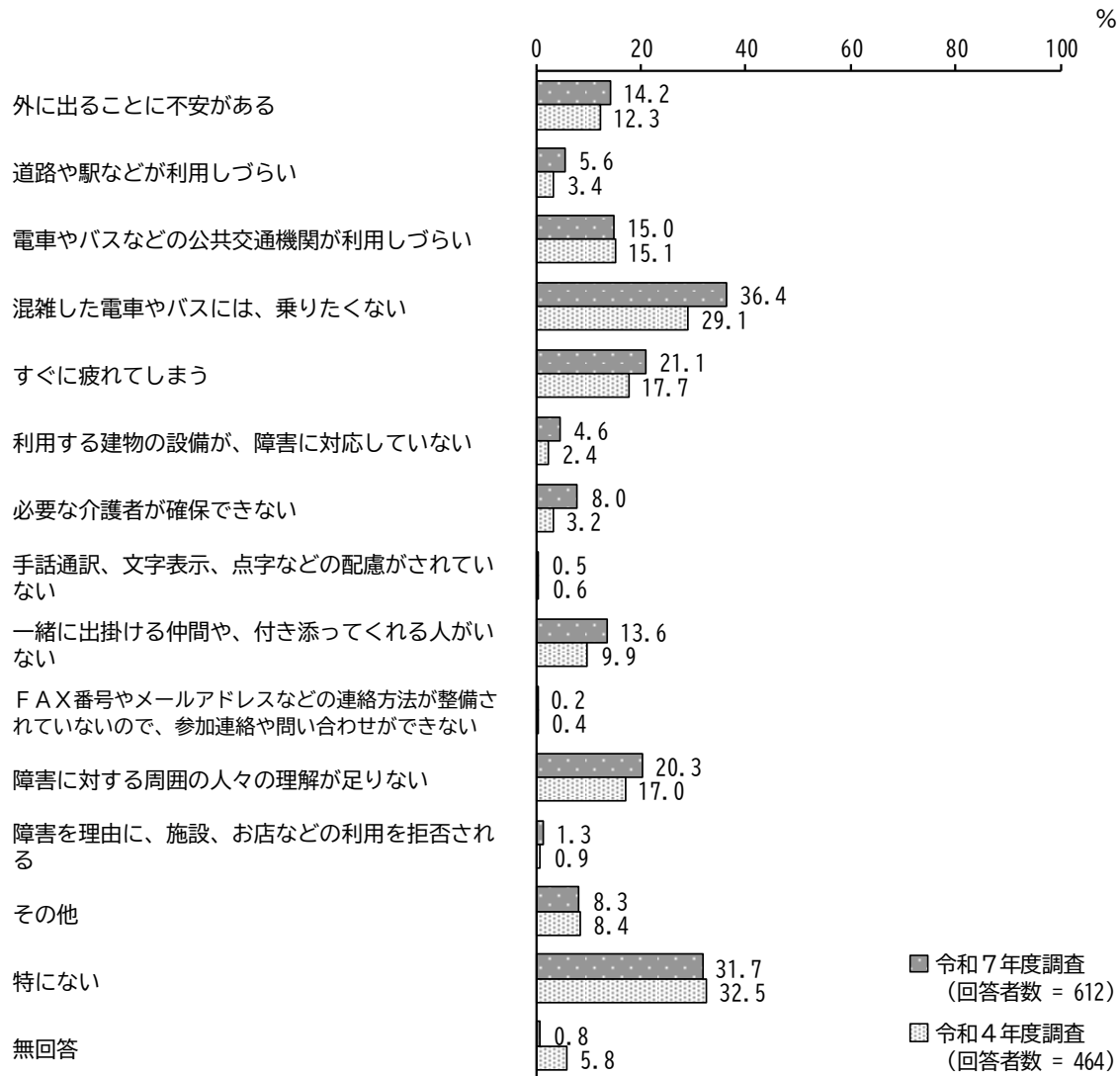
区分	安心して遊べる機会・場の確保	地域との交流の機会や環境づくり	保護者が介護（支援）できない時の一時預かりや介護など	医療体制	障害福祉事業所と学校の連携	入所施設の整備	その他	特にない	無回答
全体	11.8	2.0	16.8	3.3	9.2	11.8	6.9	3.4	1.6
身体障害	17.2	0.0	50.0	5.2	15.5	24.1	10.3	1.7	1.7
知的障害	12.5	3.7	31.0	4.6	10.6	28.2	6.5	1.9	1.4
精神障害	7.4	0.0	22.2	3.7	11.1	25.9	14.8	0.0	3.7
難病	15.8	0.0	47.4	7.9	5.3	28.9	10.5	10.5	2.6
発達障害	11.1	1.8	10.6	1.3	9.6	7.5	7.8	2.8	2.1
高次脳機能障害	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	20.0	0.0	73.3	0.0	20.0	66.7	6.7	0.0	0.0
強度行動障害	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0

(3) 社会参加やコミュニケーションについて

問11 お子様は、社会参加や余暇活動などで外出をするとき、困ることはありますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「混雑した電車やバスには、乗りたくない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「すぐに疲れてしまう」の割合が21.1%、「障害に対する周囲の人々の理解が足りない」の割合が20.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「混雑した電車やバスには、乗りたくない」の割合が増加しています。



【障害種別】

障害種別にみると、精神障害、重症心身障害で「外に出ることに不安がある」、身体障害、重症心身障害で「道路や駅などが利用しづらい」、重症心身障害で「電車やバスなどの公共交通機関が利用しづらい」「混雑した電車やバスには、乗りたくない」「利用する建物の設備が、障害に対応していない」、精神障害で「すぐに疲れてしまう」「必要な介護者が確保できない」「一緒に出掛ける仲間や、付き添ってくれる人がいない」、知的障害、精神障害で「障害に対する周囲の人々の理解が足りない」の割合が高くなっています。

単位：%

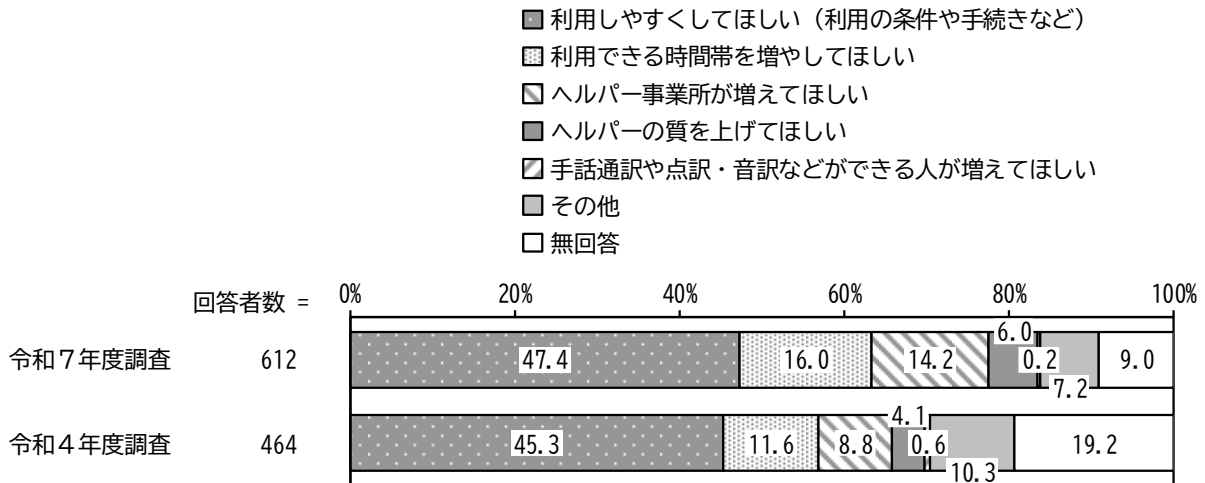
区分	回答者数(件)	外に出ることに不安がある	道路や駅などが利用しづらい	電車やバスなどの公共交通機関が利用しづらい	混雑した電車やバスには、乗りたくない	すぐに疲れてしまう	利用する建物の設備が、障害に対応していない	必要な介護者が確保できない
全体	612	14.2	5.6	15.0	36.4	21.1	4.6	8.0
身体障害	58	19.0	19.0	34.5	55.2	13.8	22.4	13.8
知的障害	216	18.5	8.8	21.3	46.8	18.1	10.6	16.7
精神障害	27	33.3	0.0	7.4	40.7	33.3	7.4	22.2
難病	38	15.8	10.5	28.9	34.2	15.8	10.5	13.2
発達障害	387	15.0	3.4	11.9	35.1	24.8	2.3	5.2
高次脳機能障害	4	25.0	25.0	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0
重症心身障害	15	33.3	20.0	46.7	86.7	6.7	46.7	13.3
強度行動障害	5	40.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0

区分	手話通訳、文字表示、点字などの配慮がされていない	一緒に出掛ける仲間や、付き添ってくれる人がいない	FAX番号やメールアドレスなどの連絡方法が整備されていないので、参加連絡や問い合わせができない	障害に対する周囲の人々の理解が足りない	障害を理由に、施設、お店などの利用を拒否される	その他	特になし	無回答
全体	0.5	13.6	0.2	20.3	1.3	8.3	31.7	0.8
身体障害	5.2	10.3	0.0	25.9	1.7	8.6	12.1	0.0
知的障害	0.0	22.2	0.5	31.5	3.2	10.6	13.9	0.9
精神障害	0.0	25.9	0.0	33.3	3.7	14.8	7.4	0.0
難病	0.0	15.8	0.0	18.4	2.6	15.8	26.3	0.0
発達障害	0.0	12.9	0.0	20.7	0.3	8.8	34.4	0.3
高次脳機能障害	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	0.0	13.3	0.0	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0
強度行動障害	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0

問 12 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

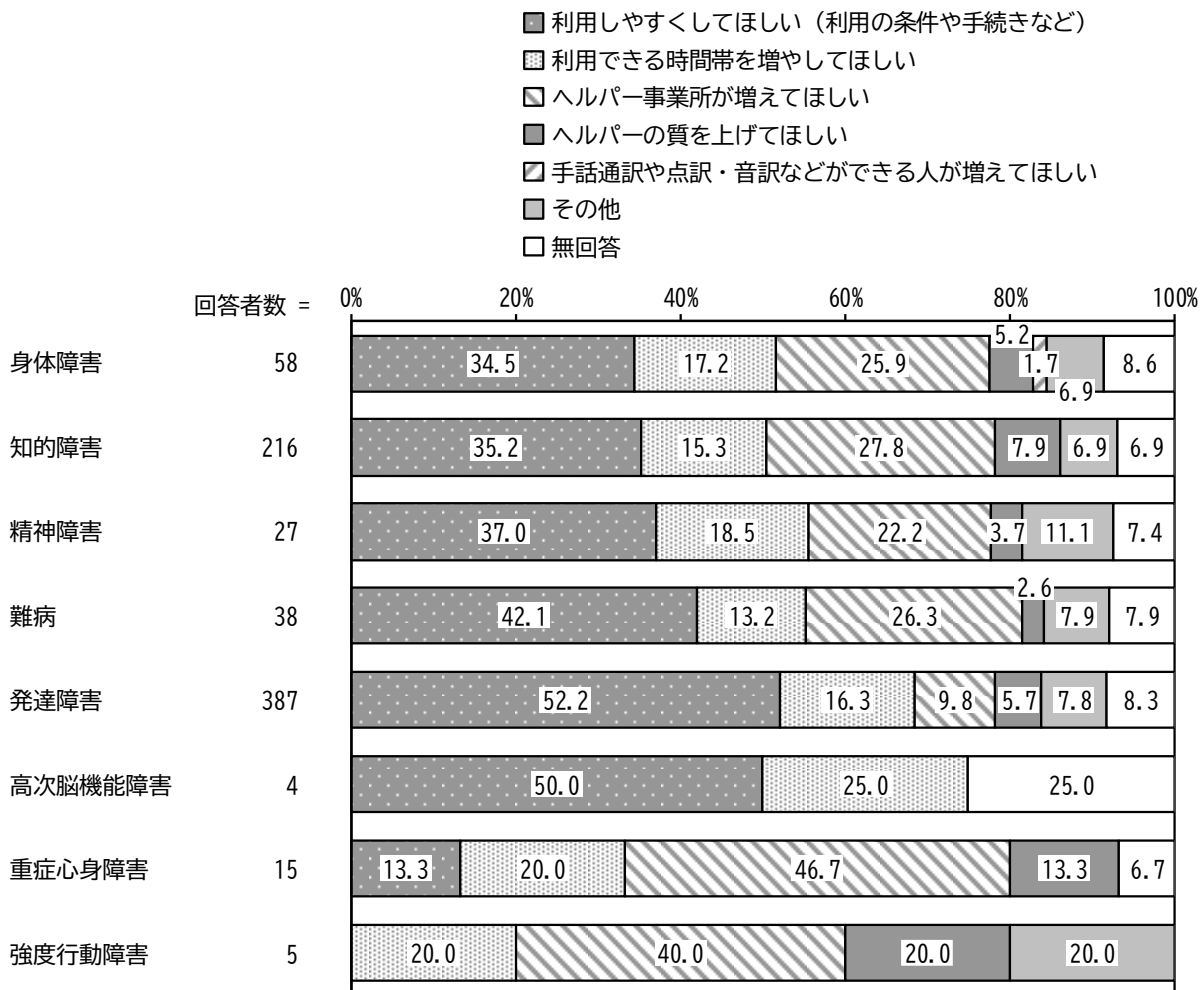
「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が47.4%と最も高く、次いで「利用できる時間帯を増やしてほしい」の割合が16.0%、「ヘルパー事業所が増えてほしい」の割合が14.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「ヘルパー事業所が増えてほしい」の割合が増加しています。



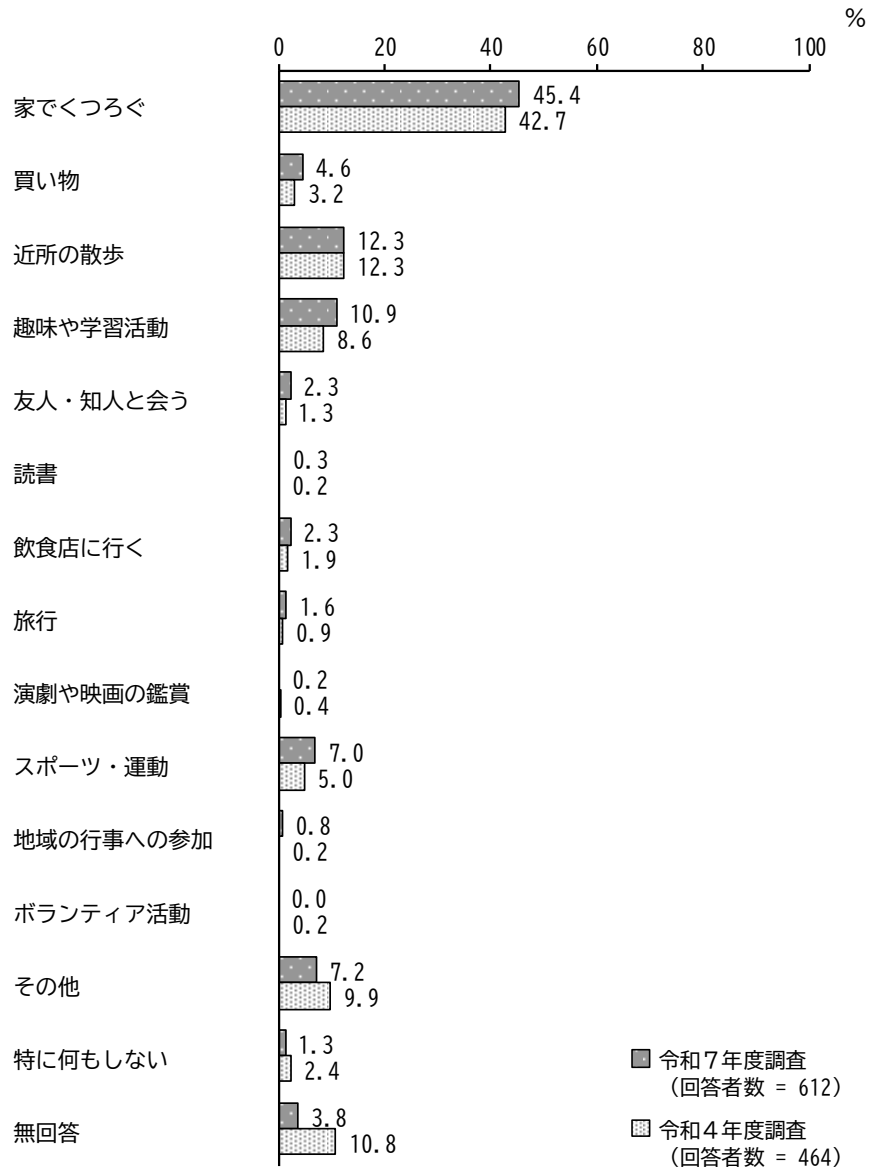
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「ヘルパー事業所が増えてほしい」「ヘルパーの質を上げてほしい」の割合が高くなっています。



問13 お子様は、余暇（主に休日）は、どのように過ごしていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「家でくつろぐ」の割合が45.4%と最も高く、次いで「近所の散歩」の割合が12.3%、「趣味や学習活動」の割合が10.9%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「家でくつろぐ」「近所の散歩」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家でくつろぐ	買い物	近所の散歩	趣味や学習活動	友人・知人と会う	読書	飲食店に行く
全体	612	45.4	4.6	12.3	10.9	2.3	0.3	2.3
身体障害	58	63.8	3.4	13.8	3.4	0.0	0.0	1.7
知的障害	216	52.8	4.6	11.1	5.6	0.9	0.9	3.2
精神障害	27	55.6	7.4	0.0	7.4	0.0	3.7	0.0
難病	38	50.0	7.9	15.8	7.9	0.0	0.0	2.6
発達障害	387	44.4	4.7	11.6	12.1	2.6	0.0	1.6
高次脳機能障害	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	73.3	6.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

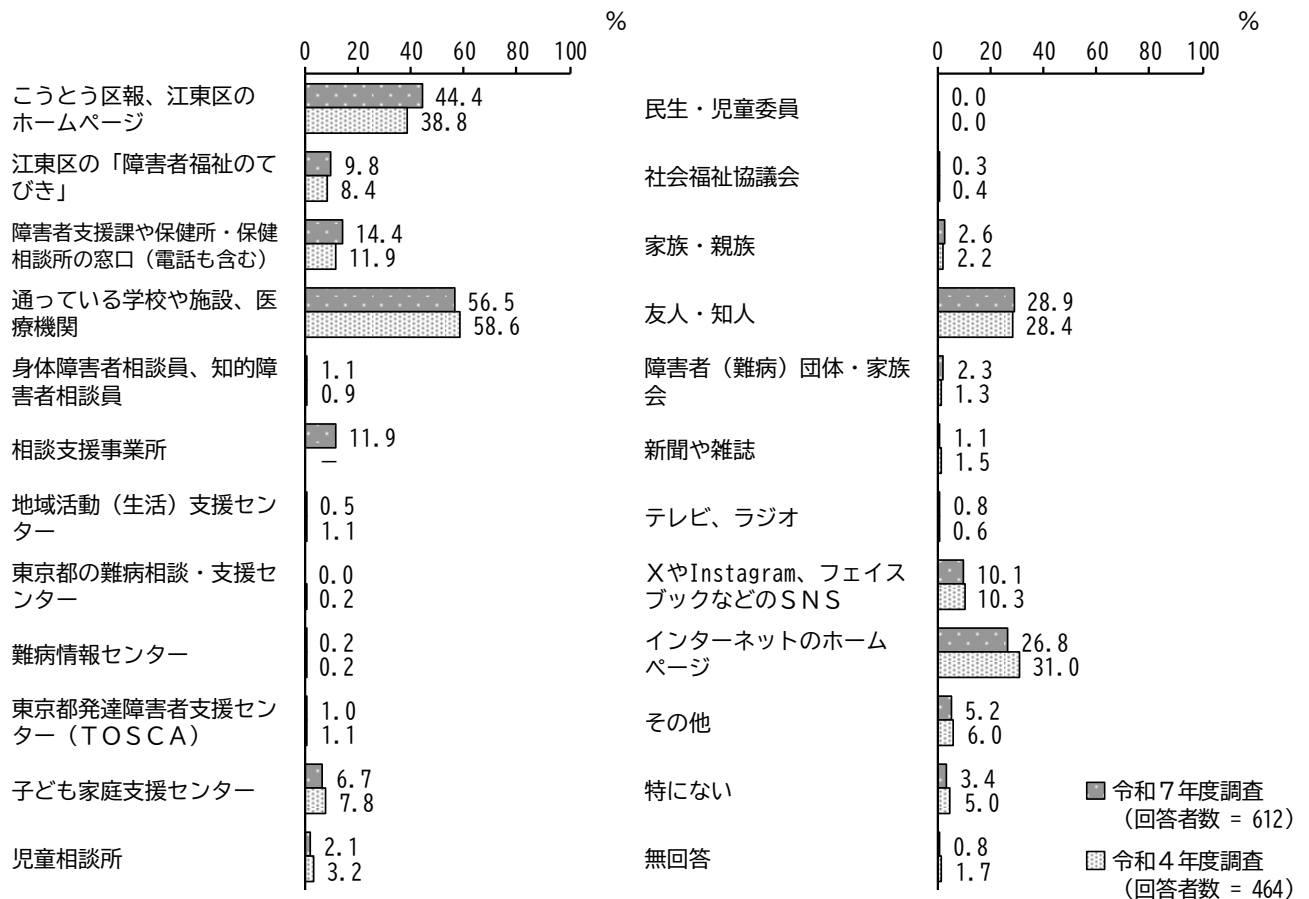
区分	旅行	演劇や映画の鑑賞	スポーツ・運動	地域の行事への参加	ボランティア活動	その他	特に何もしない	無回答
全体	1.6	0.2	7.0	0.8	0.0	7.2	1.3	3.8
身体障害	1.7	0.0	6.9	0.0	0.0	1.7	0.0	3.4
知的障害	1.4	0.0	4.2	0.0	0.0	8.8	2.8	3.7
精神障害	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	7.4	3.7
難病	0.0	2.6	2.6	2.6	0.0	5.3	0.0	2.6
発達障害	1.8	0.0	6.5	0.8	0.0	8.3	1.8	3.9
高次脳機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0

(4) 情報・相談先について

問 14 福祉に関する情報をどこから得ていますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「通っている学校や施設、医療機関」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「こうとう区報、江東区のホームページ」の割合が 44.4%、「友人・知人」の割合が 28.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「こうとう区報、江東区のホームページ」の割合が増加しています。



※令和4年度調査の選択肢「ツイッターやフェイスブックなどのSNS」は令和7年度調査で「XやInstagram、フェイスブックなどのSNS」に変更しました。また、「相談支援事業所」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「江東区の「障害者福祉のてびき」「通っている学校や施設、医療機関」「身体障害者相談員、知的障害者相談員」、難病で「障害者支援課や保健所・保健相談所の窓口（電話も含む）」、精神障害で「インターネットのホームページ」の割合が高くなっています。

単位：％

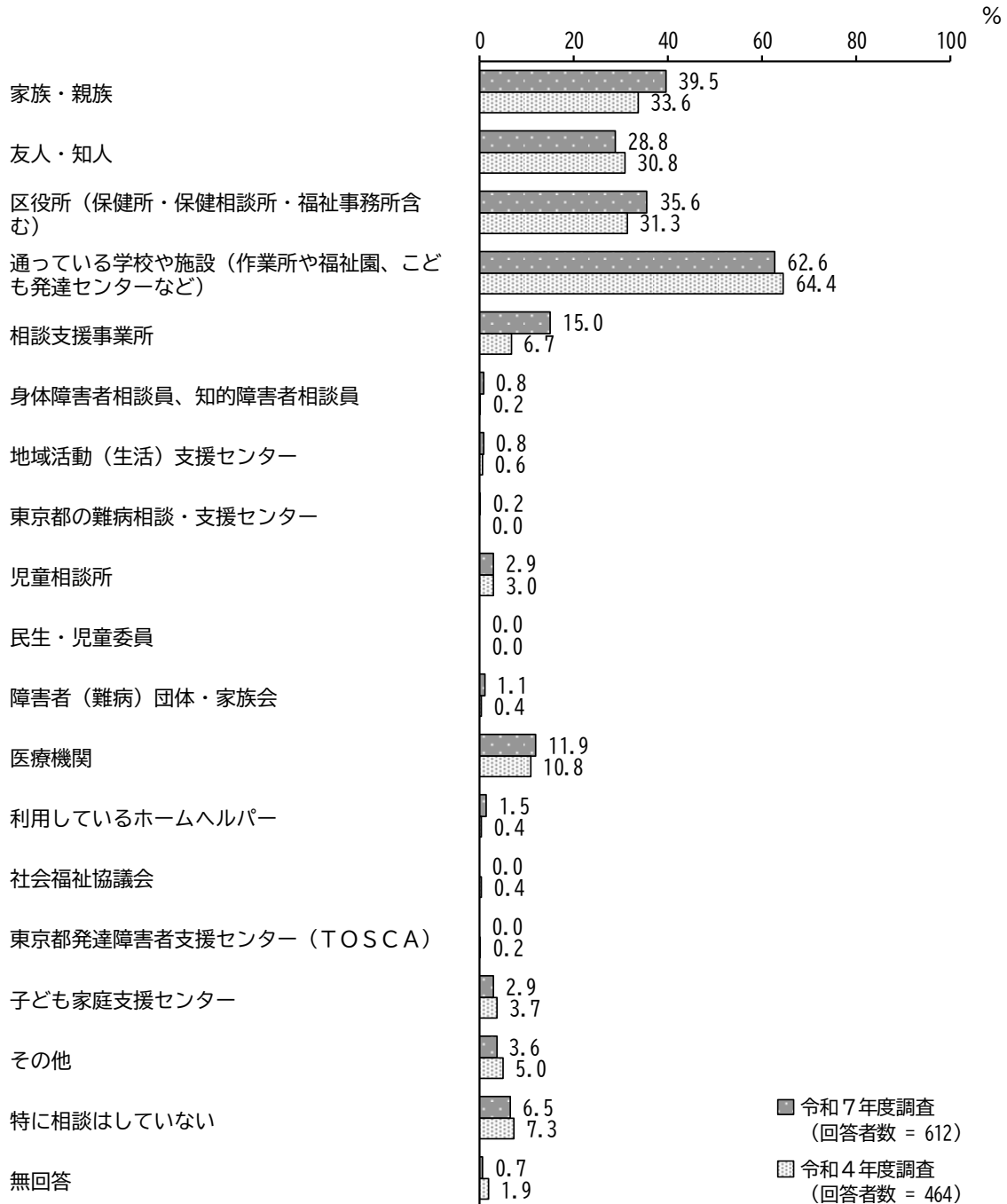
区分	回答者数(件)	ことう区報、江東区のホームページ	江東区の「障害者福祉のてびき」	障害者支援課や保健所・保健相談所の窓口(電話も含む)	通っている学校や施設、医療機関	身体障害者相談員、知的障害者相談員	相談支援事業所	地域活動(生活)支援センター	東京都の難病相談・支援センター	難病情報センター	東京都発達障害者支援センター(TOSCA)	子ども家庭支援センター	児童相談所
全体	612	44.4	9.8	14.4	56.5	1.1	11.9	0.5	0.0	0.2	1.0	6.7	2.1
身体障害	58	44.8	24.1	20.7	63.8	6.9	19.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
知的障害	216	44.4	17.6	12.5	65.7	2.3	14.4	0.0	0.0	0.0	0.5	1.4	3.2
精神障害	27	51.9	11.1	22.2	44.4	0.0	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	38	47.4	18.4	26.3	44.7	2.6	15.8	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0
発達障害	387	43.7	5.7	12.1	54.5	0.5	11.9	0.8	0.0	0.0	1.3	8.8	1.8
高次脳機能障害	4	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	40.0	33.3	20.0	73.3	13.3	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	5	20.0	20.0	20.0	80.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	民生・児童委員	社会福祉協議会	家族・親族	友人・知人	障害者(難病)団体・家族会	新聞や雑誌	テレビ、ラジオ	XやInstagram、フェイスブックなどのSNS	インターネットのホームページ	その他	特にない	無回答
全体	0.0	0.3	2.6	28.9	2.3	1.1	0.8	10.1	26.8	5.2	3.4	0.8
身体障害	0.0	0.0	3.4	27.6	0.0	0.0	0.0	8.6	15.5	3.4	0.0	1.7
知的障害	0.0	0.5	1.4	35.6	5.1	0.5	0.5	7.4	20.4	4.6	3.7	1.4
精神障害	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	7.4	3.7	14.8	37.0	11.1	0.0	0.0
難病	0.0	0.0	0.0	23.7	5.3	2.6	0.0	7.9	13.2	2.6	10.5	0.0
発達障害	0.0	0.5	3.1	30.0	1.6	1.3	0.8	11.9	31.0	5.9	2.6	0.8
高次脳機能障害	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	0.0	0.0	6.7	26.7	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0

問 15 お子様福祉サービスの利用で困ったとき、誰（どこ）に相談しますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「通っている学校や施設（作業所や福祉園、こども発達センターなど）」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が 39.5%、「区役所（保健所・保健相談所・福祉事務所含む）」の割合が 35.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「家族・親族」「相談支援事業所」の割合が増加しています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「家族・親族」「友人・知人」「相談支援事業所」、難病で「区役所（保健所・保健相談所・福祉事務所含む）」、精神障害で「医療機関」の割合が高くなっています。

単位：％

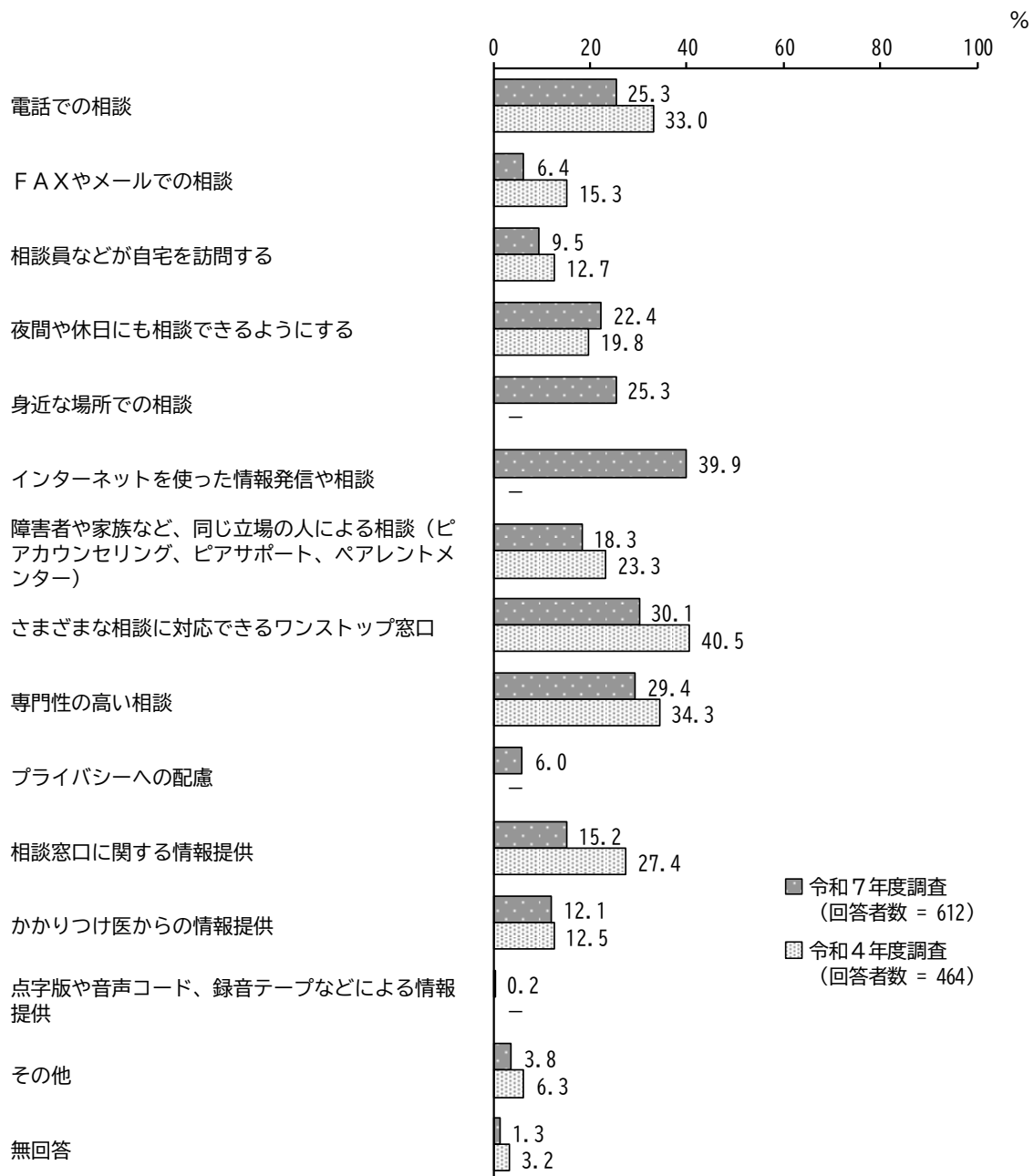
区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	区役所(保健所・保健相談所・福祉事務所含む)	通っている学校や施設(作業所や福祉園、こども発達センターなど)	相談支援事業所	身体障害者相談員 知的障害者相談員	地域活動(生活)支援センター	東京都の難病相談・支援センター	児童相談所
全体	612	39.5	28.8	35.6	62.6	15.0	0.8	0.8	0.2	2.9
身体障害	58	41.4	25.9	39.7	51.7	27.6	0.0	0.0	0.0	0.0
知的障害	216	38.0	34.7	36.1	65.7	21.8	1.9	0.0	0.0	4.2
精神障害	27	40.7	29.6	33.3	59.3	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	38	44.7	26.3	47.4	28.9	23.7	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害	387	41.1	28.9	31.3	66.4	14.2	0.3	1.0	0.3	3.4
高次脳機能障害	4	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	53.3	40.0	26.7	46.7	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	5	40.0	20.0	40.0	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0

区分	民生・児童委員	障害者(難病)団体・家族会	医療機関	利用しているホームヘルパー	社会福祉協議会	東京都発達障害者支援センター(TOSCA)	子ども家庭支援センター	その他	特に相談はしていない	無回答
全体	0.0	1.1	11.9	1.5	0.0	0.0	2.9	3.6	6.5	0.7
身体障害	0.0	1.7	15.5	6.9	0.0	0.0	0.0	6.9	1.7	0.0
知的障害	0.0	2.3	8.3	2.3	0.0	0.0	1.4	3.7	5.6	0.0
精神障害	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	7.4	0.0
難病	0.0	2.6	21.1	2.6	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0
発達障害	0.0	0.3	13.7	0.8	0.0	0.0	4.1	3.6	6.7	0.8
高次脳機能障害	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問16 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「インターネットを使った情報発信や相談」の割合が39.9%と最も高く、次いで「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」の割合が30.1%、「専門性の高い相談」の割合が29.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「電話での相談」「FAXやメールでの相談」「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「相談窓口に関する情報提供」の割合が減少しています。



※「身近な場所での相談」、「インターネットを使った情報発信や相談」、「プライバシーへの配慮」、「点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「電話での相談」「FAXやメールでの相談」「専門性の高い相談」、精神障害で「相談員などが自宅を訪問する」「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「プライバシーへの配慮」、難病で「障害者や家族など、同じ立場の人による相談（ピアカウンセリング、ピアサポート、ペアレントメンター）」「かかりつけ医からの情報提供」の割合が高くなっています。

単位：％

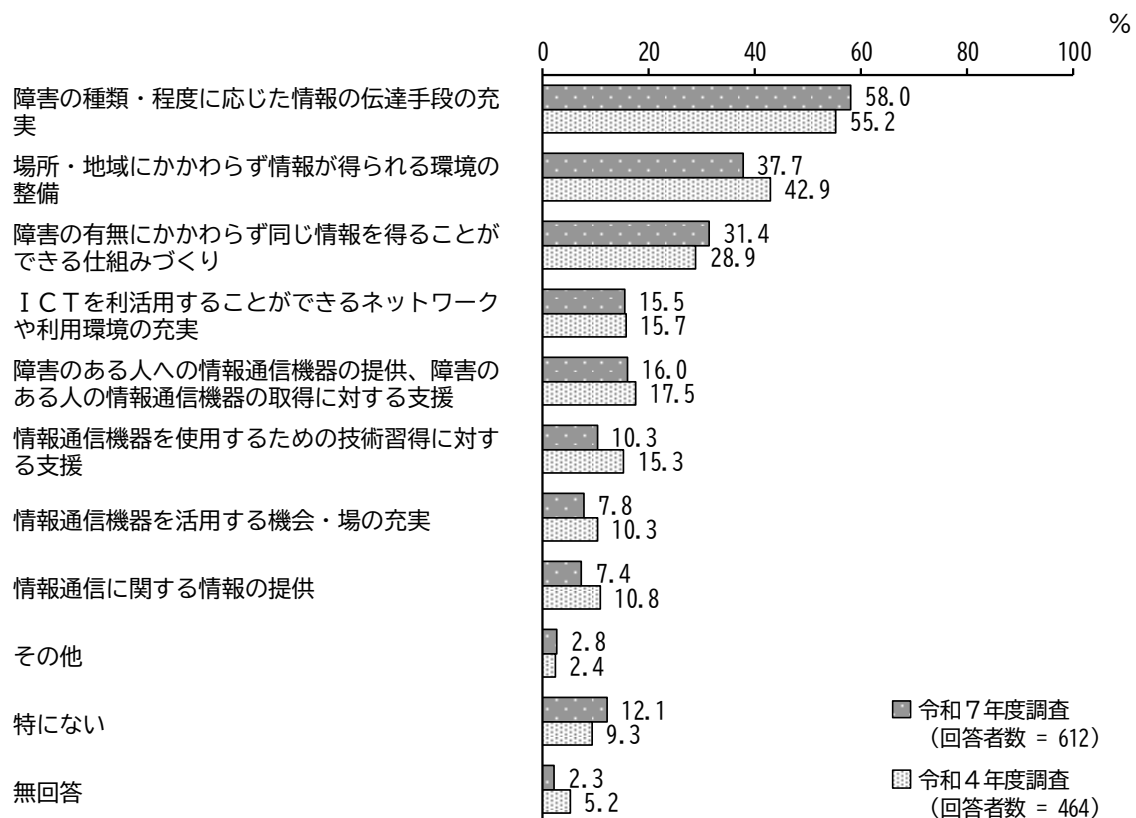
区分	回答者数(件)	電話での相談	FAXやメールでの相談	相談員などが自宅を訪問する	夜間や休日にも相談できるようにする	身近な場所での相談	インターネットを使った情報発信や相談	障害者や家族など、同じ立場の人による相談(ピアカウンセリング、ピアサポート、ペアレントメンター)
全体	612	25.3	6.4	9.5	22.4	25.3	39.9	18.3
身体障害	58	27.6	10.3	13.8	17.2	15.5	41.4	22.4
知的障害	216	26.9	7.9	7.9	20.8	22.2	36.6	22.2
精神障害	27	22.2	11.1	14.8	25.9	22.2	29.6	18.5
難病	38	21.1	5.3	5.3	21.1	15.8	31.6	23.7
発達障害	387	26.4	5.7	9.3	21.4	26.4	40.1	17.1
高次脳機能障害	4	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0
重症心身障害	15	33.3	13.3	13.3	20.0	0.0	33.3	20.0
強度行動障害	5	60.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0

区分	さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口	専門性の高い相談	プライバシーへの配慮	相談窓口に関する情報提供	かかりつけ医からの情報提供	点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供	その他	無回答
全体	30.1	29.4	6.0	15.2	12.1	0.2	3.8	1.3
身体障害	32.8	27.6	5.2	10.3	12.1	1.7	1.7	0.0
知的障害	36.6	24.5	6.0	15.7	10.2	0.0	4.2	1.4
精神障害	44.4	40.7	11.1	11.1	11.1	0.0	7.4	0.0
難病	34.2	34.2	5.3	13.2	18.4	0.0	7.9	0.0
発達障害	28.2	32.3	6.2	16.0	14.5	0.0	4.1	1.3
高次脳機能障害	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	33.3	53.3	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0
強度行動障害	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

問 17 「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」では、障害のある人が情報を十分に取得して利用し、スムーズな意思疎通を図れることが重要とされています。あなたは、情報の取得利用や意思疎通において、どのような施策が江東区で特に必要であるとお考えですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」の割合が 37.7%、「障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり」の割合が 31.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」の割合が減少しています。



【障害種別】

障害種別にみると、知的障害で「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」、精神障害で「障害のある人への情報通信機器の提供、障害のある人の情報通信機器の取得に対する支援」、難病で「情報通信機器を使用するための技術習得に対する支援」、難病、重症心身障害で「情報通信に関する情報の提供」の割合が高くなっています。

単位：％

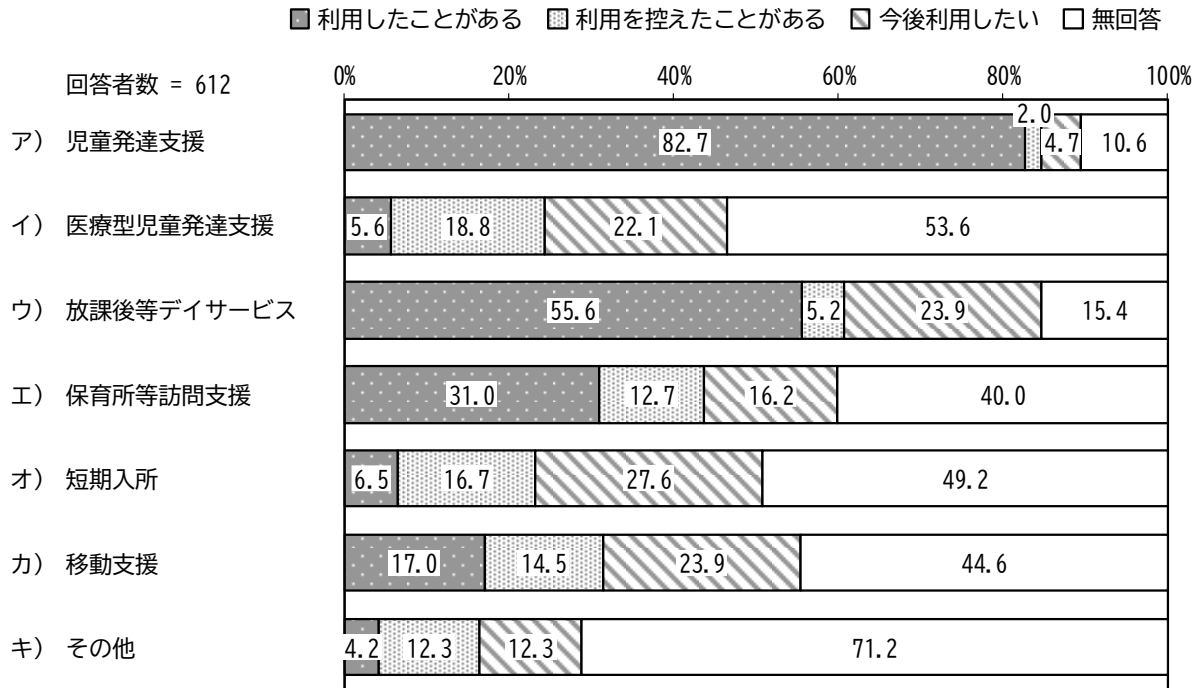
区分	回答者数(件)	障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実	場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備	障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり	ICTを活用することができるとネットワーくや利用環境の充実	障害のある人への情報通信機器の提供、障害のある人の情報通信機器の取得に対する支援
全体	612	58.0	37.7	31.4	15.5	16.0
身体障害	58	50.0	37.9	24.1	15.5	22.4
知的障害	216	63.4	40.3	29.6	13.4	19.9
精神障害	27	55.6	37.0	29.6	18.5	25.9
難病	38	57.9	23.7	21.1	13.2	13.2
発達障害	387	57.6	38.0	32.3	17.6	15.5
高次脳機能障害	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	40.0	33.3	20.0	13.3	6.7
強度行動障害	5	60.0	40.0	20.0	0.0	40.0

区分	情報通信機器を使用するための技術習得に対する支援	情報通信機器を活用する機会・場の充実	情報通信に関する情報の提供	その他	特になし	無回答
全体	10.3	7.8	7.4	2.8	12.1	2.3
身体障害	6.9	6.9	12.1	6.9	8.6	1.7
知的障害	10.6	6.9	7.4	4.6	9.7	0.5
精神障害	14.8	11.1	3.7	18.5	7.4	0.0
難病	15.8	7.9	13.2	7.9	13.2	0.0
発達障害	9.8	9.0	7.8	2.6	12.7	2.3
高次脳機能障害	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
重症心身障害	13.3	6.7	13.3	6.7	13.3	0.0
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0

(5) サービスの利用について

問 18 お子様の福祉サービスの利用についてお答えください。それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

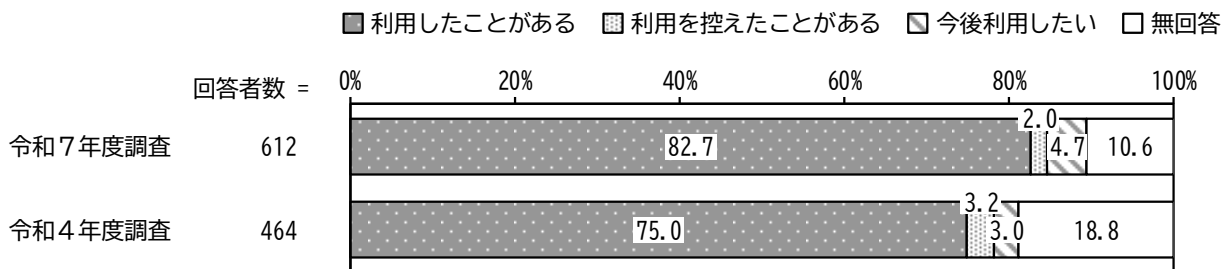
『ア) 児童発達支援』で「利用したことがある」が、『イ) 医療型児童発達支援』で「利用を控えたことがある」が、『オ) 短期入所』で「今後利用したい」が高くなっています。



ア) 児童発達支援

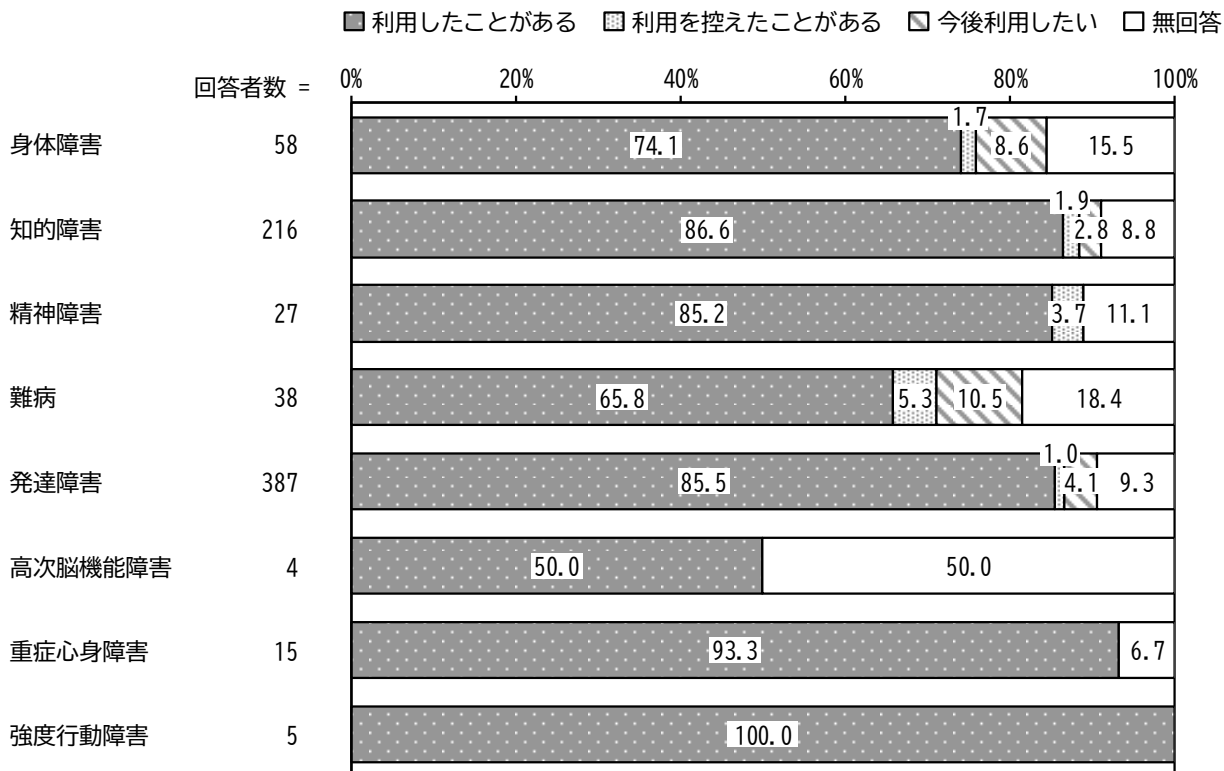
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「利用したことがある」の割合が増加しています。



【障害種別】

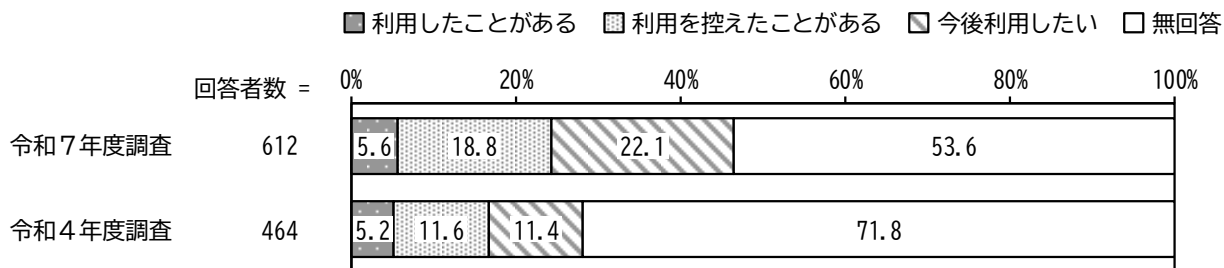
障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」、難病で「今後利用したい」の割合が高くなっています。



イ) 医療型児童発達支援

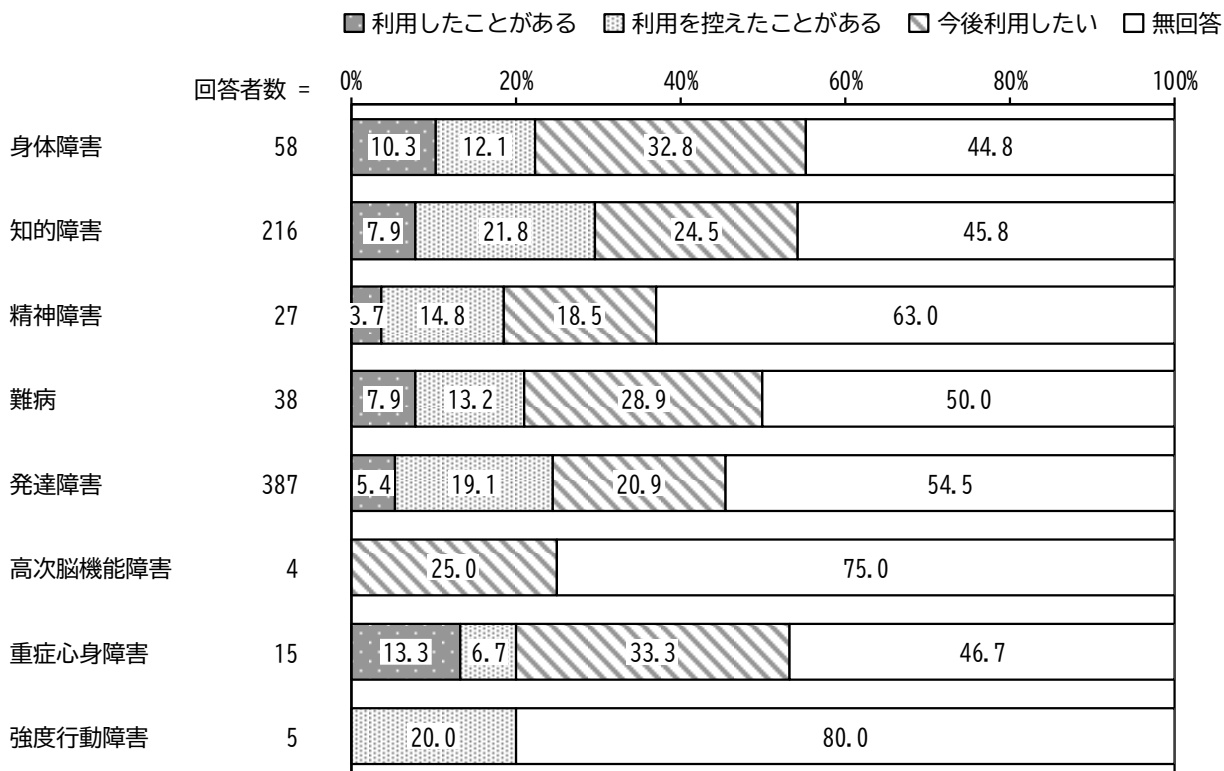
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「利用を控えたことがある」「今後利用したい」の割合が増加しています。



【障害種別】

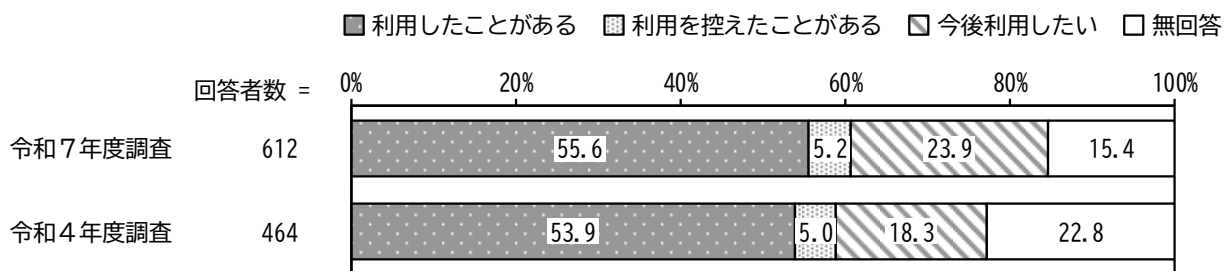
障害種別にみると、身体障害、重症心身障害で「今後利用したい」の割合が高く、重症心身障害で「利用を控えたことがある」の割合が低くなっています。



ウ) 放課後等デイサービス

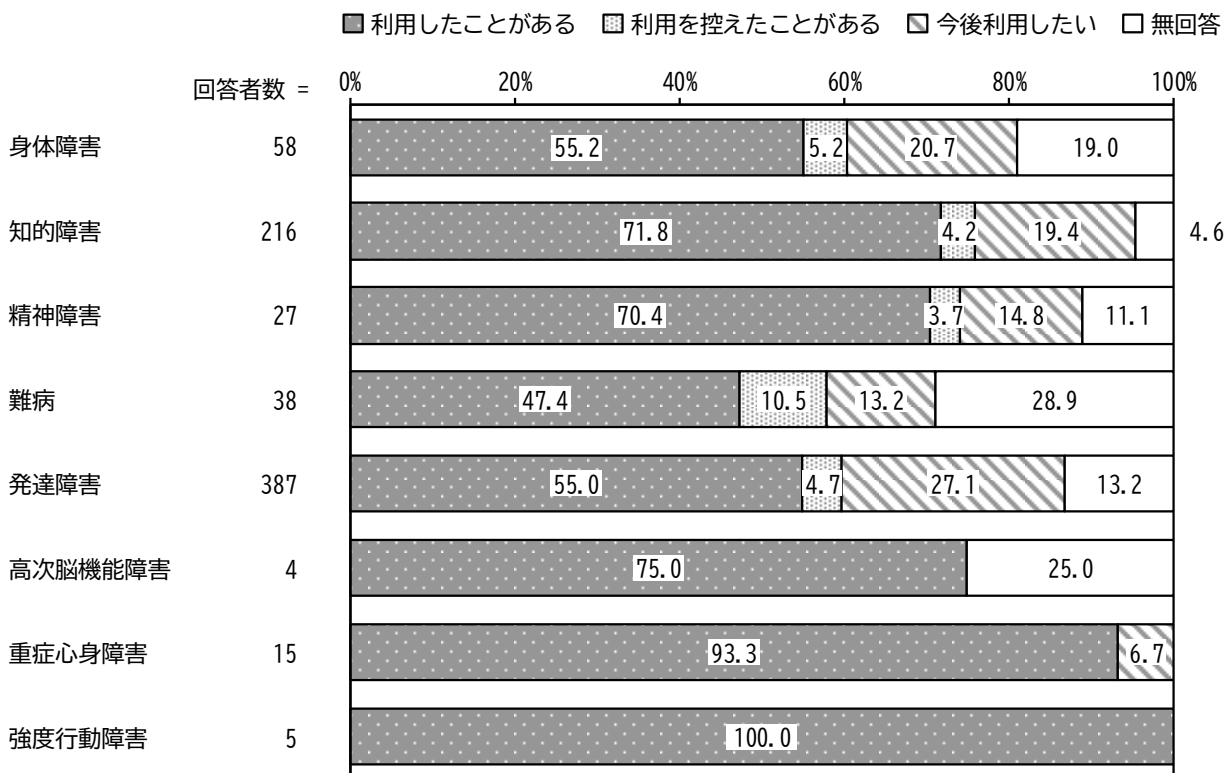
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「今後利用したい」の割合が増加しています。



【障害種別】

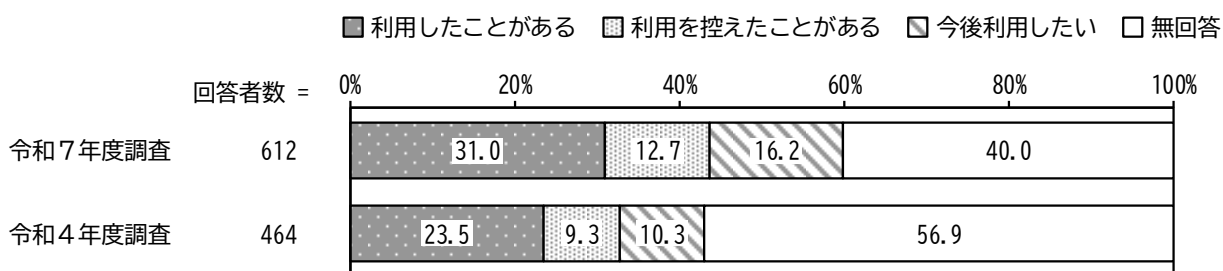
障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」の割合が高く、「今後利用したい」の割合が低くなっています。



工) 保育所等訪問支援

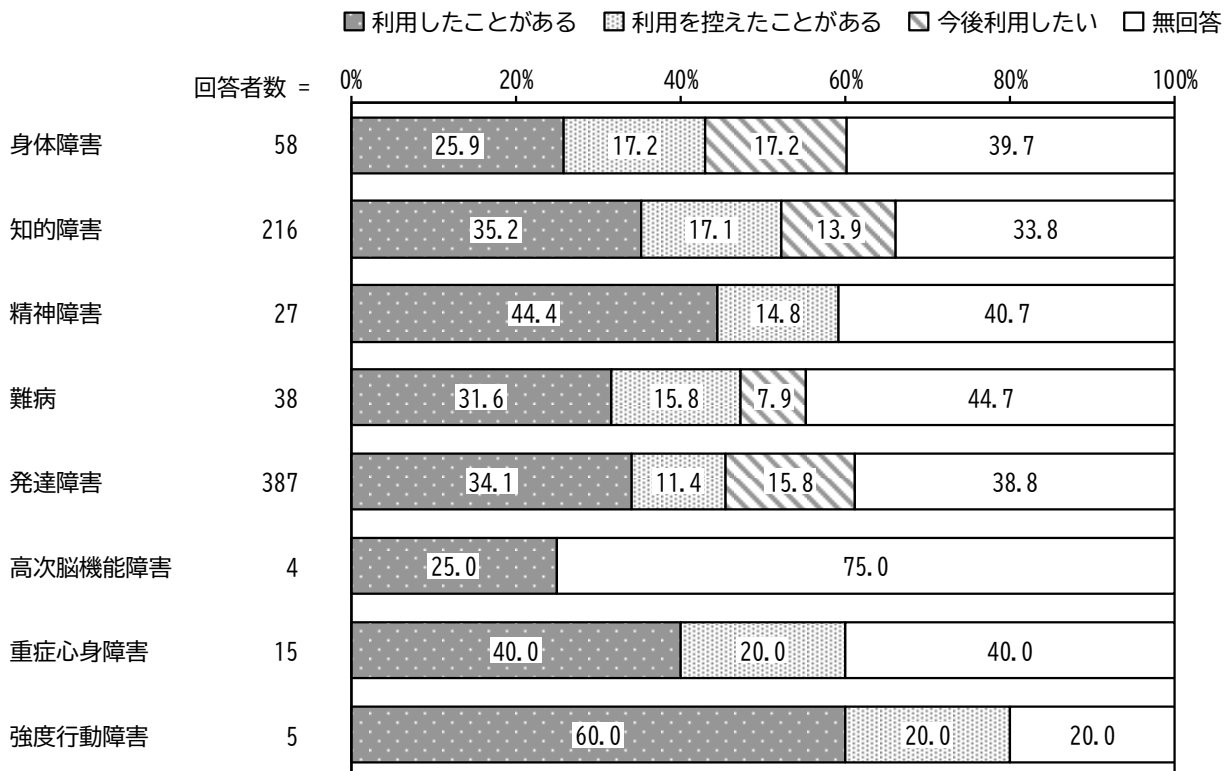
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「利用したことがある」「今後利用したい」の割合が増加しています。



【障害種別】

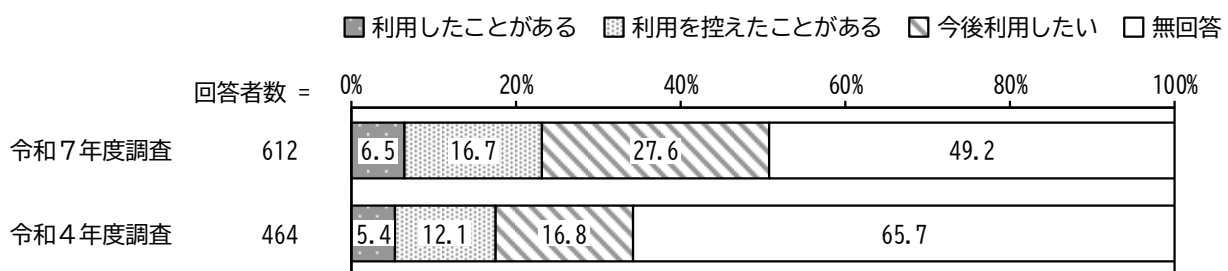
障害種別にみると、精神障害で「利用したことがある」、重症心身障害で「利用を控えたことがある」の割合が高くなっています。



オ) 短期入所

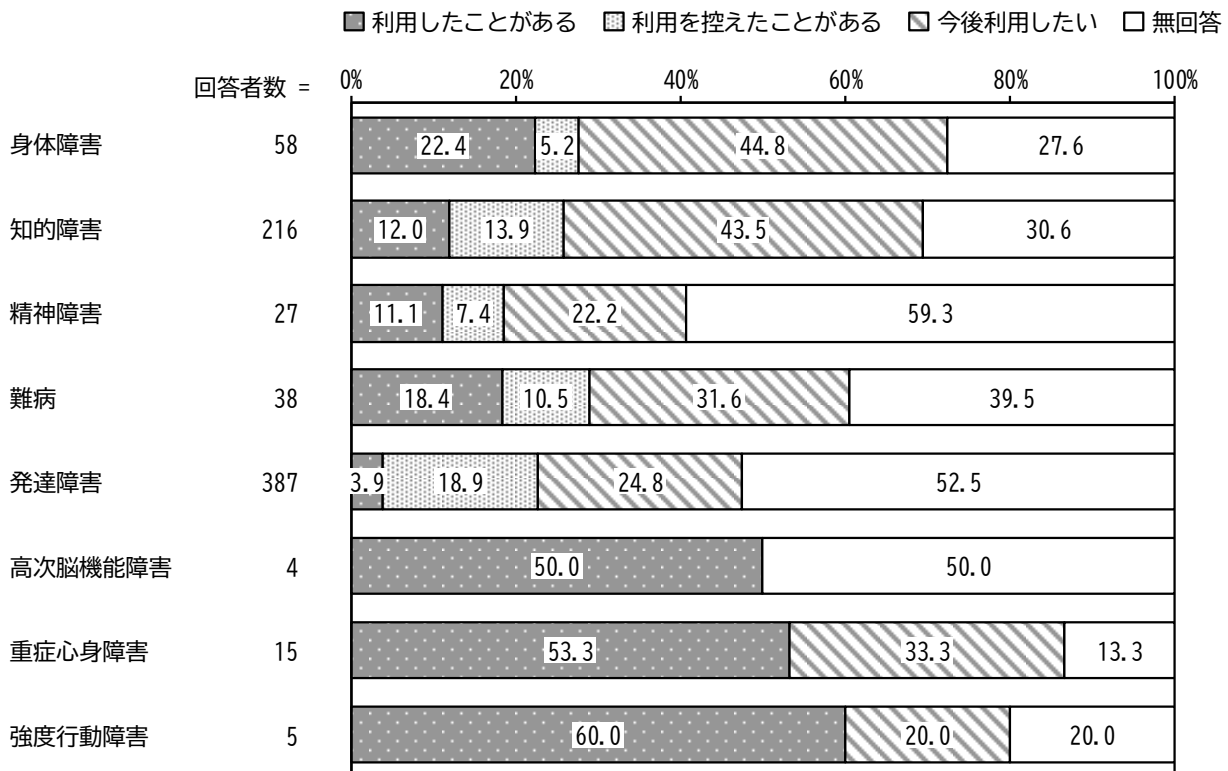
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「今後利用したい」の割合が増加しています。



【障害種別】

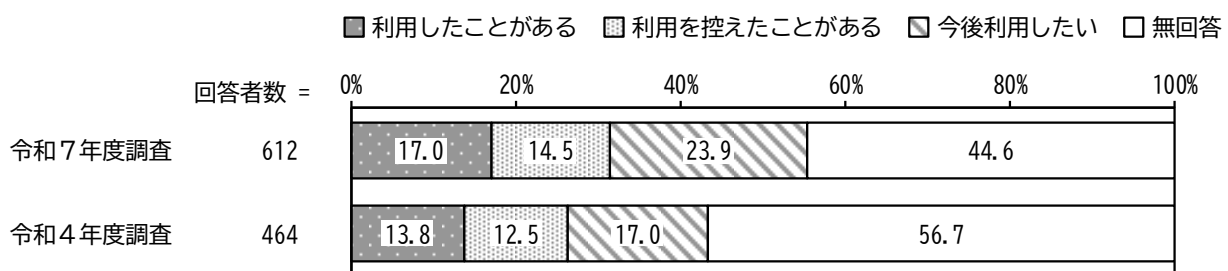
障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」、身体障害、知的障害で「今後利用したい」の割合が高くなっています。



カ) 移動支援

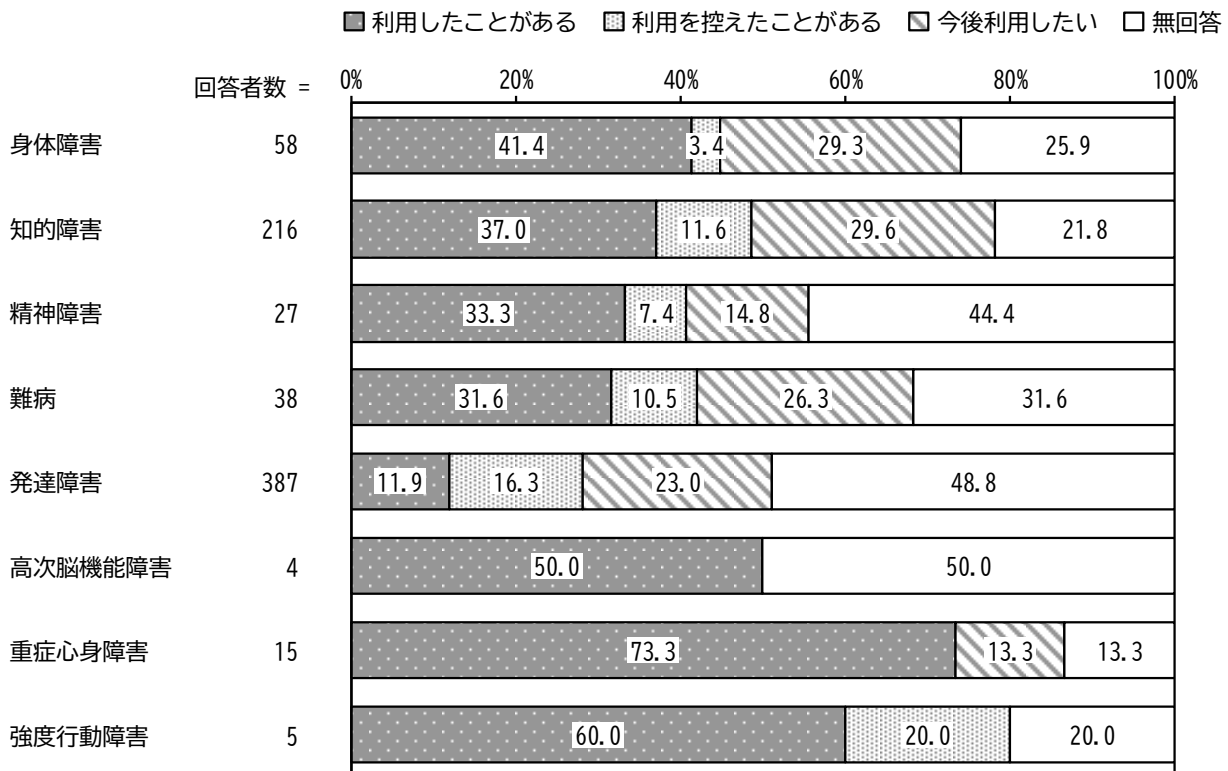
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「今後利用したい」の割合が増加しています。



【障害種別】

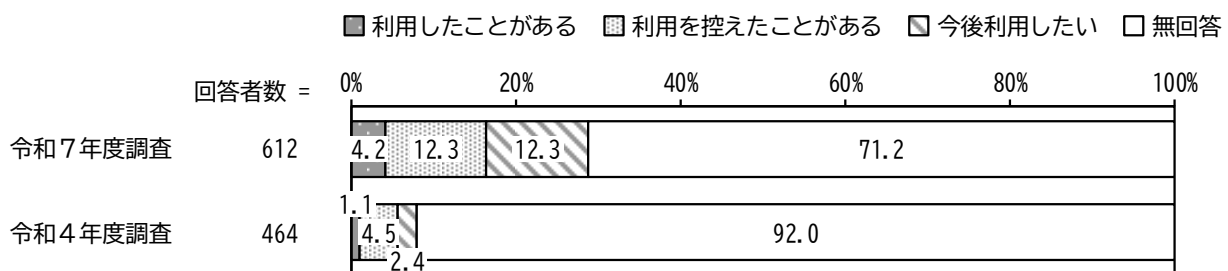
障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」の割合が高く、「今後利用したい」の割合が低くなっています。



キ) その他

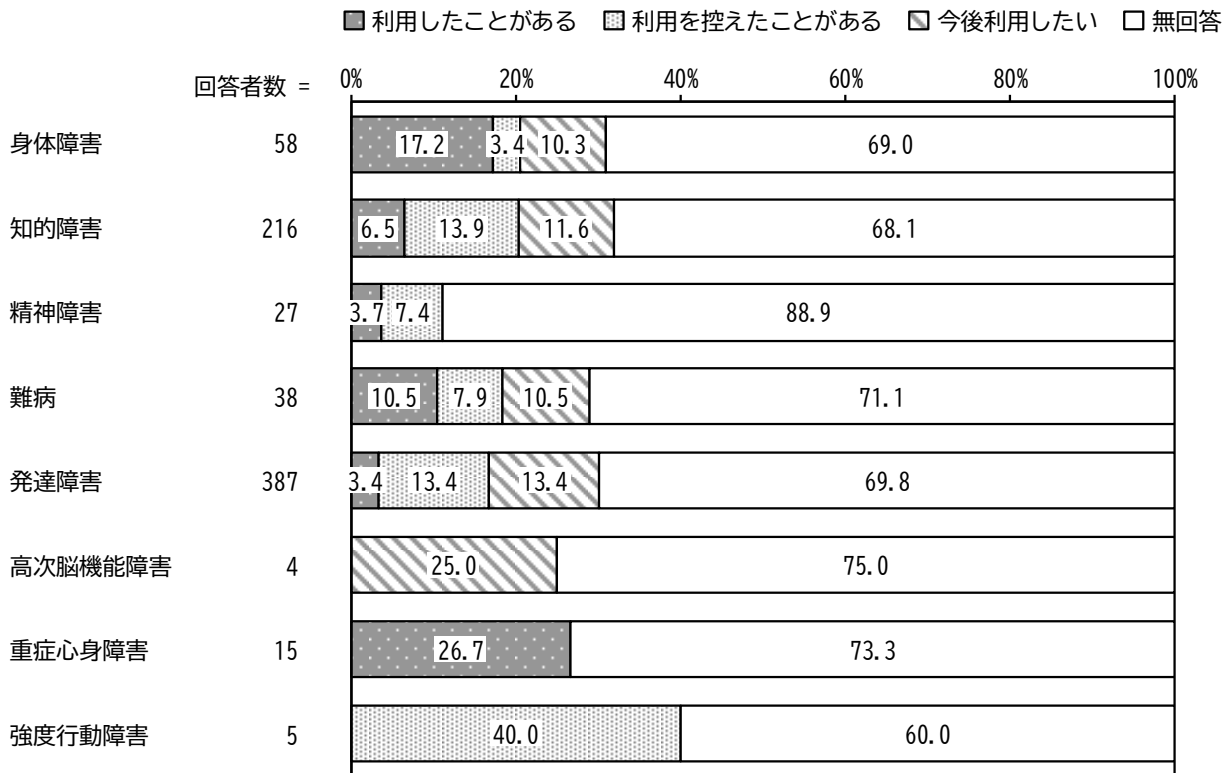
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「利用を控えたことがある」「今後利用したい」の割合が増加しています。



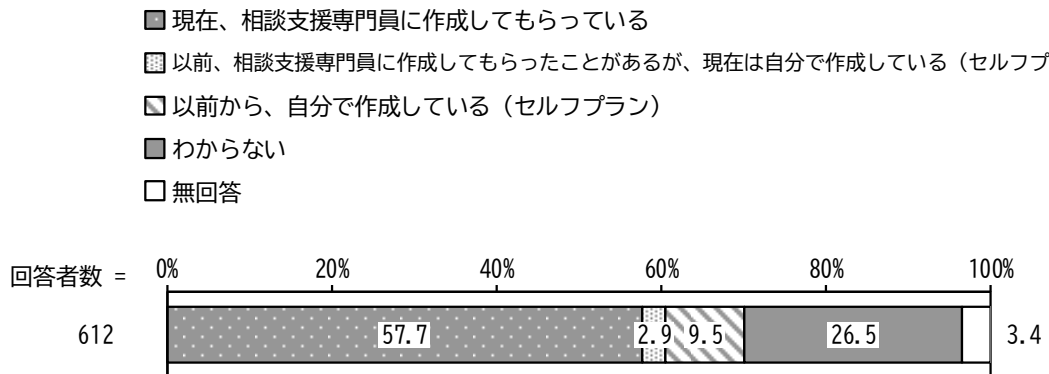
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



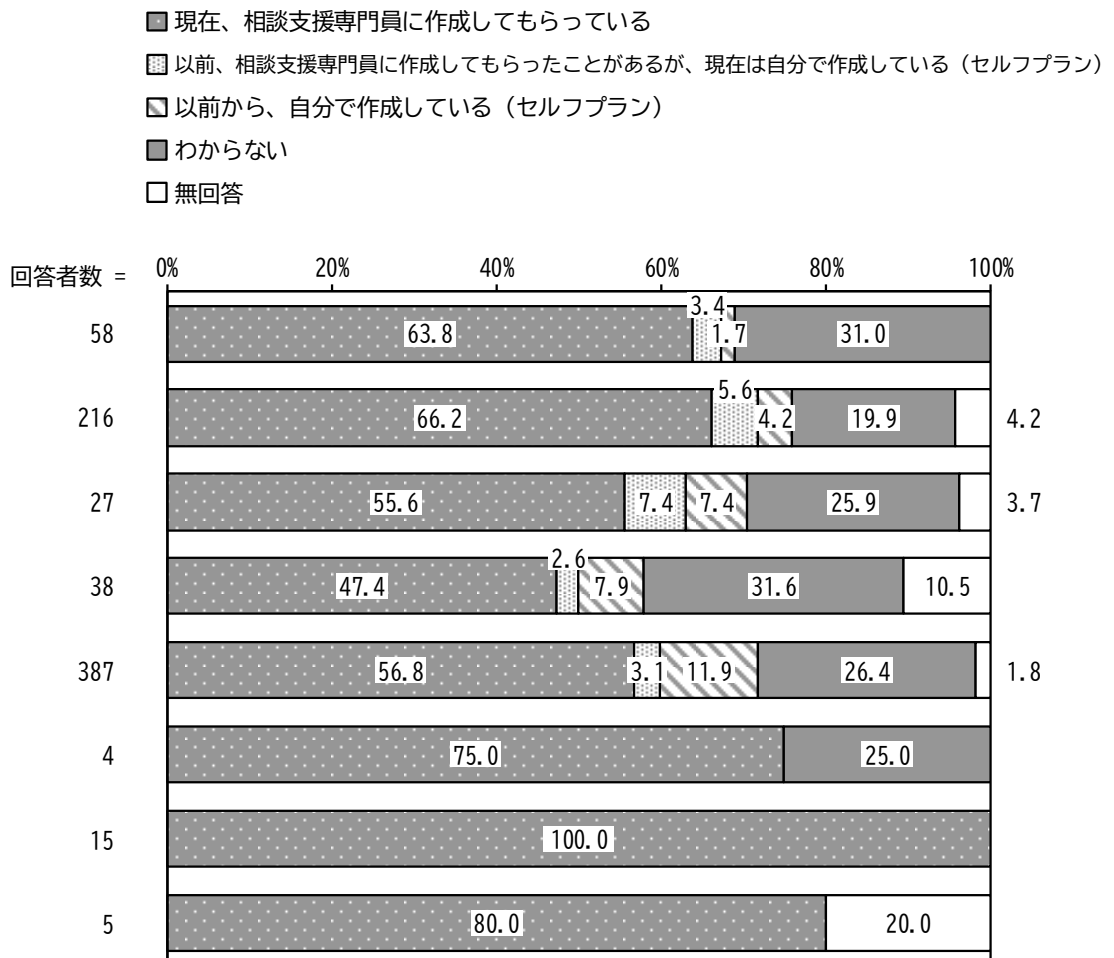
問 19 障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が57.7%、「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）」の割合が2.9%、「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」の割合が9.5%、「わからない」の割合が26.5%、「無回答」の割合が3.4%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、大きな差はみられません。

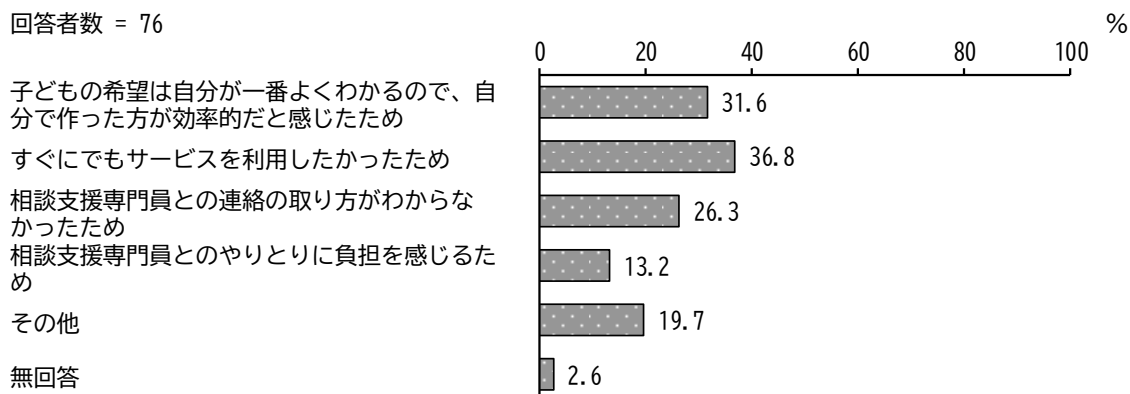


問 19 で「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）」、「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」に○をつけた方がいます。

問 19-1 サービス等利用計画を自分で作成している（セルフプラン）理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

「すぐにでもサービスを利用したかったため」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「子どもの希望は自分が一番よくわかるので、自分で作った方が効率的だと感じたため」の割合が 31.6%、「相談支援専門員との連絡の取り方がわからなかったため」の割合が 26.3%となっています。

回答者数 = 76



【障害種別】

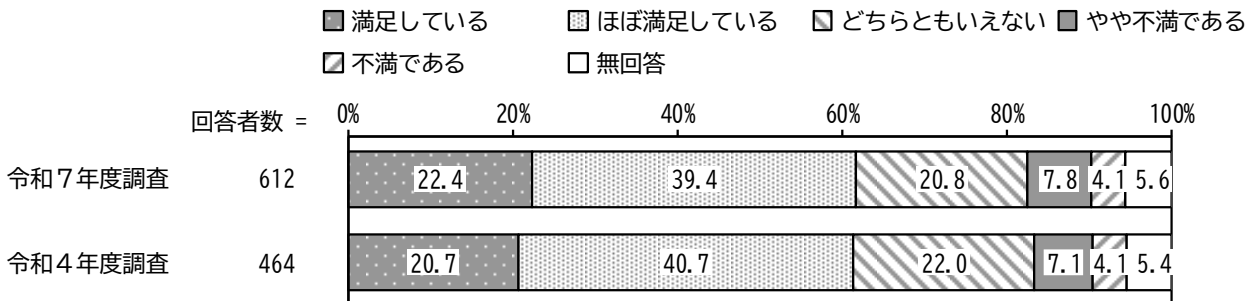
障害種別にみると、知的障害で「相談支援専門員とのやりとりに負担を感じるため」の割合が高く、発達障害で「子どもの希望は自分が一番よくわかるので、自分で作った方が効率的だと感じたため」「すぐにでもサービスを利用したかったため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子どもの希望は自分が一番よくわかるので、自分で作った方が効率的だと感じたため	すぐにでもサービスを利用したかったため	相談支援専門員との連絡の取り方がわからなかったため	相談支援専門員とのやりとりに負担を感じるため	その他	無回答
全体	76	31.6	36.8	26.3	13.2	19.7	2.6
身体障害	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
知的障害	21	23.8	14.3	23.8	19.0	33.3	4.8
精神障害	4	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0
難病	4	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
発達障害	58	34.5	39.7	27.6	13.8	15.5	1.7
高次脳機能障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

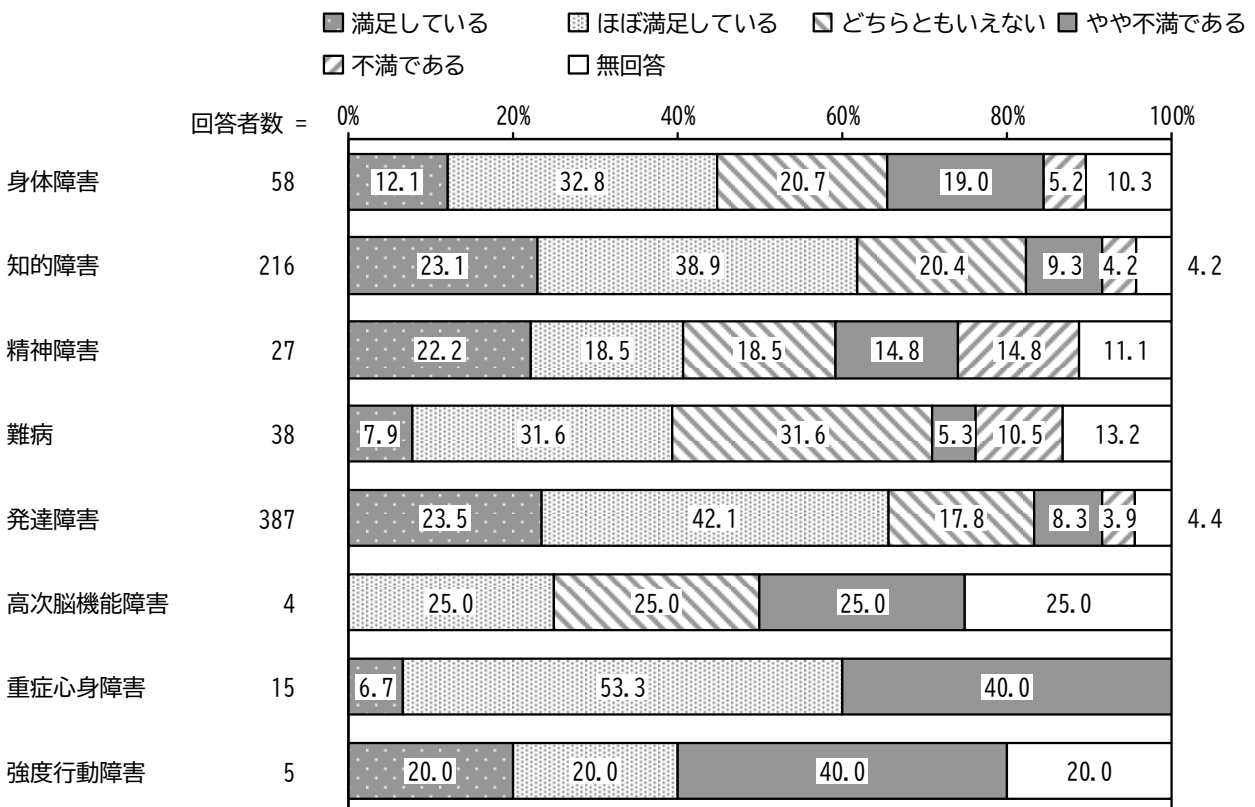
問 20 利用しているサービスの量や質に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「満足している」「ほぼ満足している」を合わせた“満足している”の割合が 61.8%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”の割合が 11.9%となっています。



【障害種別】

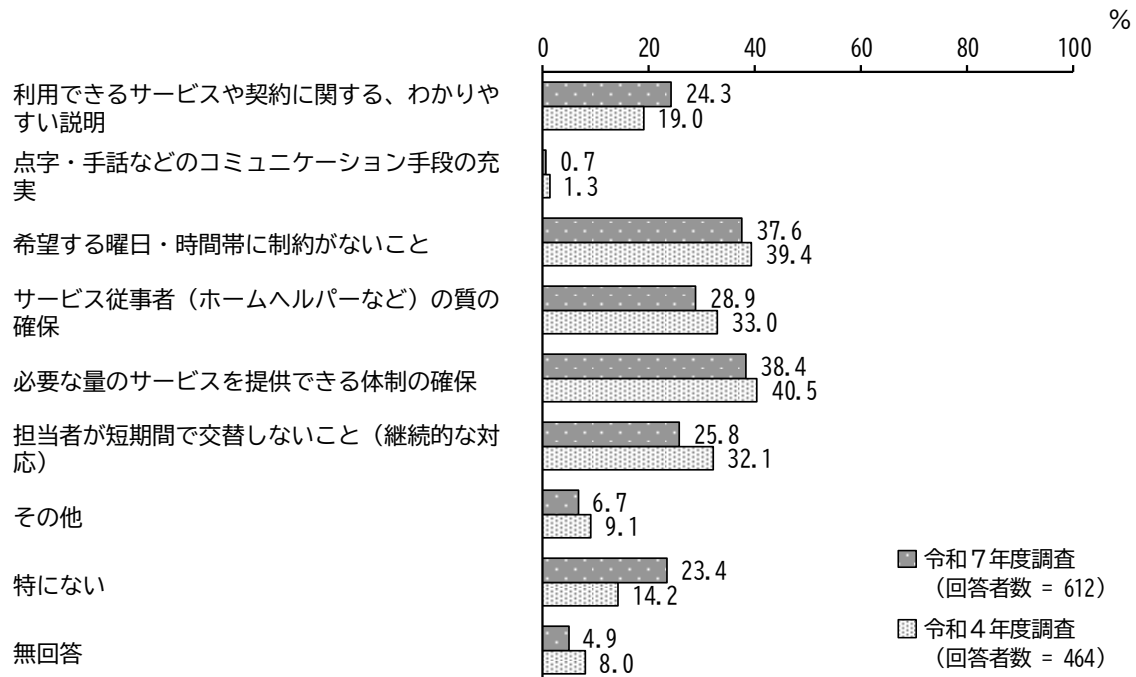
障害種別に見ると、重症心身障害で“不満である”の割合が高くなっています。



問 21 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

「必要な量のサービスを提供できる体制の確保」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」の割合が 37.6%、「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」の割合が 28.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」の割合が増加しています。一方、「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」の割合が減少しています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」「必要な量のサービスを提供できる体制の確保」、精神障害で「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」の割合が高くなっています。

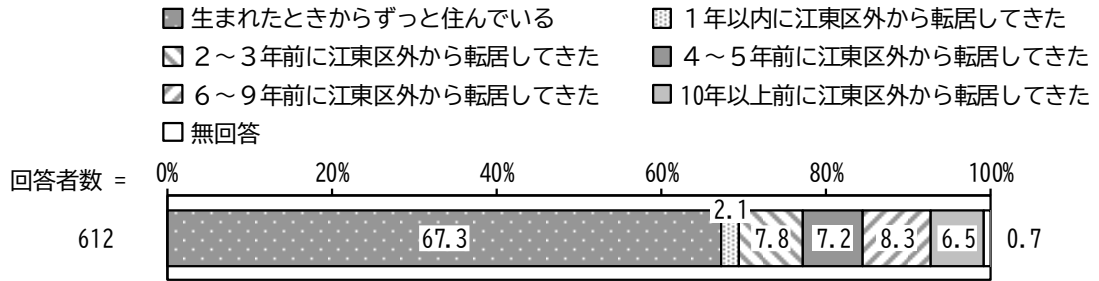
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明	点字・手話などのコミュニケーション手段の充実	希望する曜日・時間帯に制約がないこと	サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保	必要な量のサービスを提供できる体制の確保	担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）	その他	特になし	無回答
全体	612	24.3	0.7	37.6	28.9	38.4	25.8	6.7	23.4	4.9
身体障害	58	25.9	3.4	36.2	36.2	41.4	24.1	6.9	15.5	10.3
知的障害	216	23.1	0.5	38.4	38.0	46.3	22.2	8.8	19.4	5.1
精神障害	27	22.2	0.0	44.4	44.4	48.1	44.4	14.8	14.8	3.7
難病	38	15.8	0.0	26.3	36.8	44.7	10.5	13.2	28.9	7.9
発達障害	387	27.6	0.5	40.1	28.4	39.3	27.9	7.5	21.2	3.6
高次脳機能障害	4	25.0	0.0	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
重症心身障害	15	13.3	0.0	46.7	60.0	60.0	20.0	6.7	6.7	0.0
強度行動障害	5	0.0	0.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0

(6) 暮らしについて

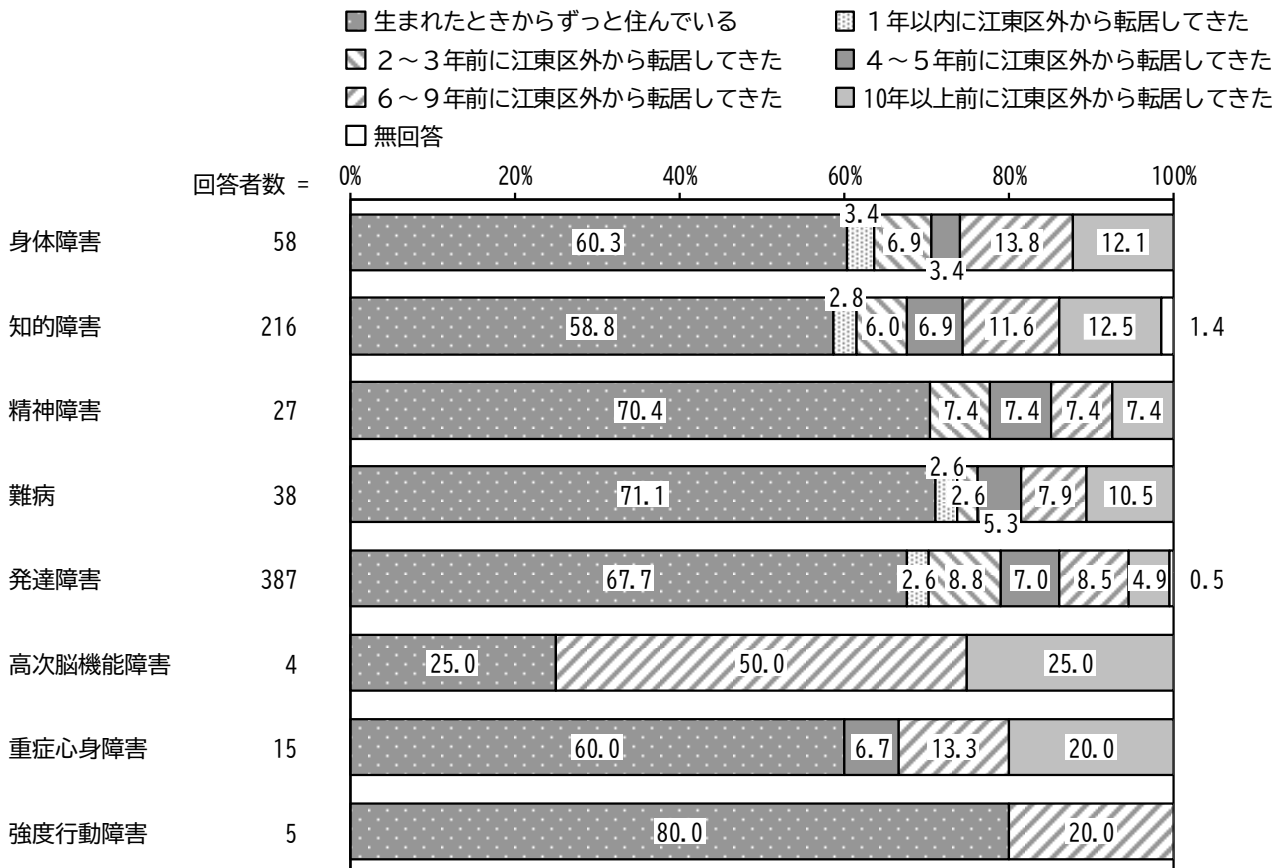
問22 お子様は、江東区にいつからお住まいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が67.3%と最も高くなっています。



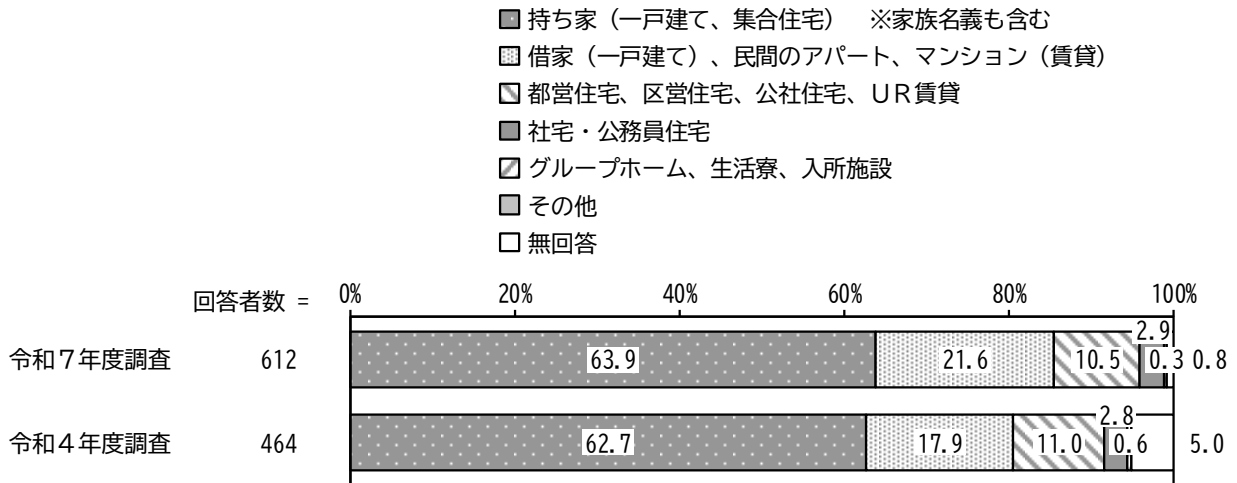
【障害種別】

障害種別によると、身体障害、重症心身障害で「6～9年前に江東区外から転居してきた」、重症心身障害で「10年以上前に江東区外から転居してきた」の割合が高くなっています。



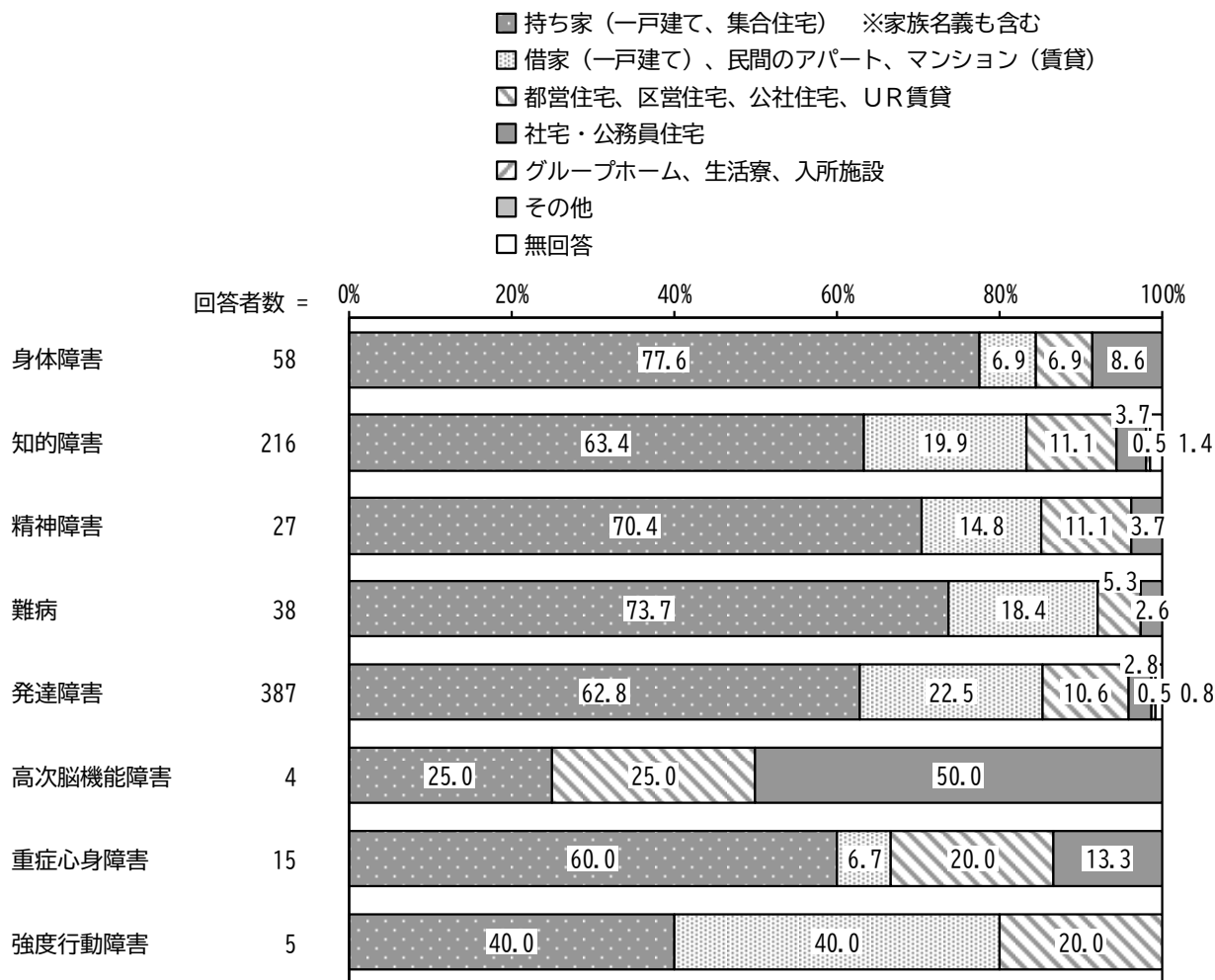
問 23 お子様の現在のお住まいはどのような形態ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「持ち家（一戸建て、集合住宅） ※家族名義も含む」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「借家（一戸建て）、民間のアパート、マンション（賃貸）」の割合が 21.6%、「都営住宅、区営住宅、公社住宅、UR賃貸」の割合が 10.5%となっています。



【障害種別】

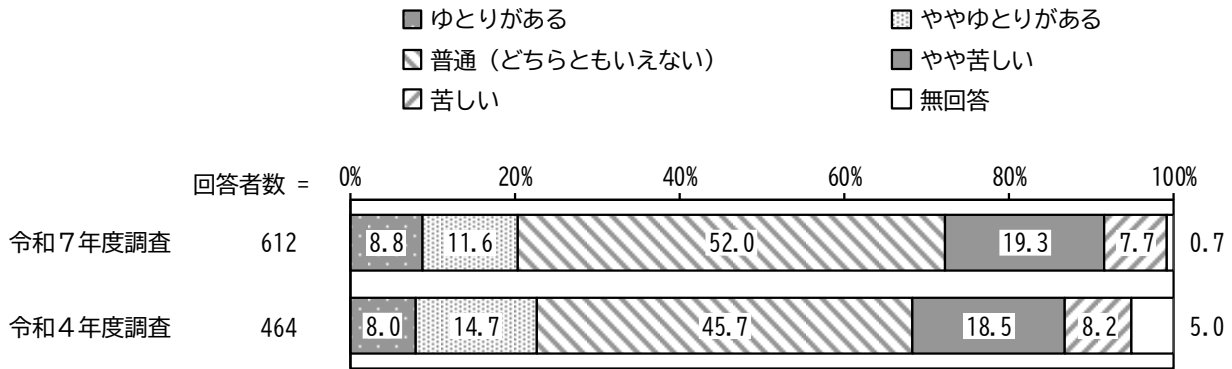
障害種別にみると、身体障害で「持ち家（一戸建て、集合住宅） ※家族名義も含む」、重症心身障害で「社宅・公務員住宅」の割合が高く、身体障害、重症心身障害で「借家（一戸建て）、民間のアパート、マンション（賃貸）」の割合が低くなっています。



問 24 現在の暮らし向き（家計の状況）について、どう感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

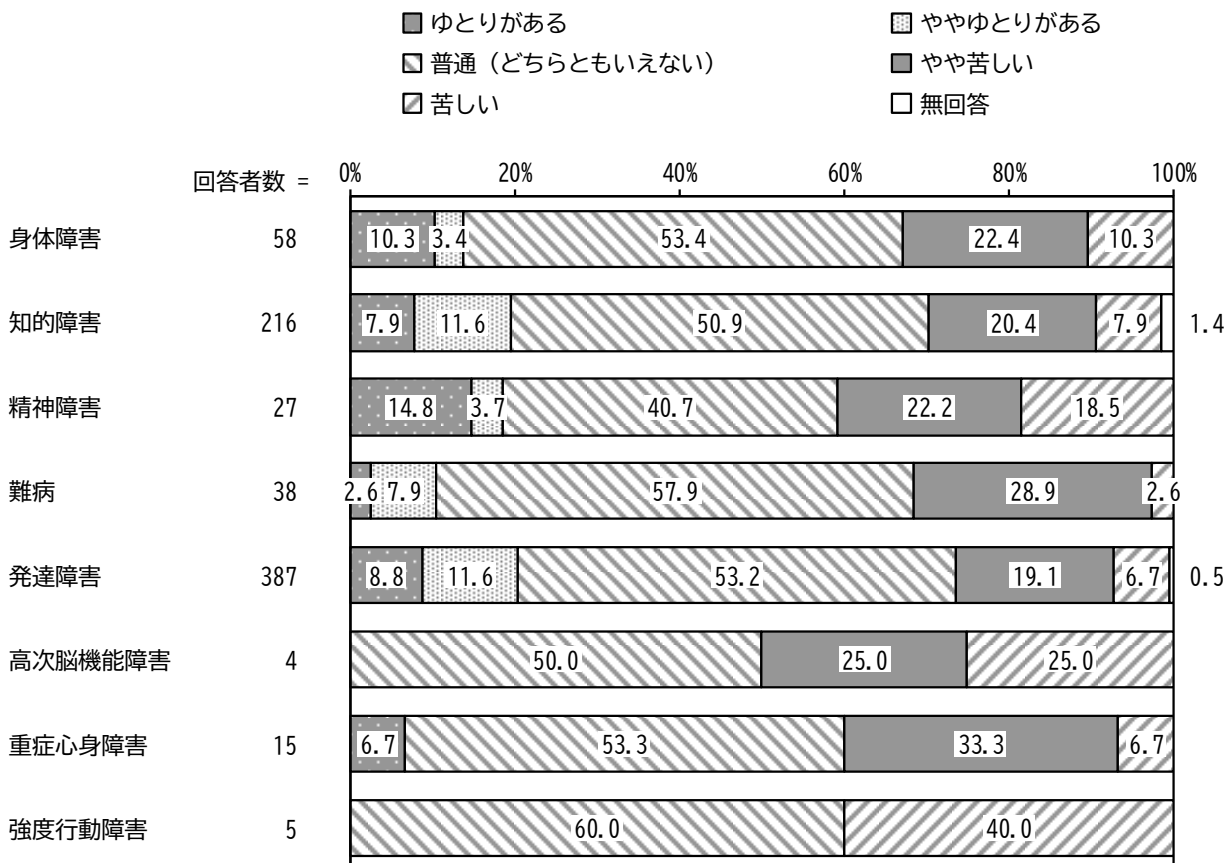
「ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が20.4%、「やや苦しい」「苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が27.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「普通（どちらともいえない）」の割合が増加しています。



【障害種別】

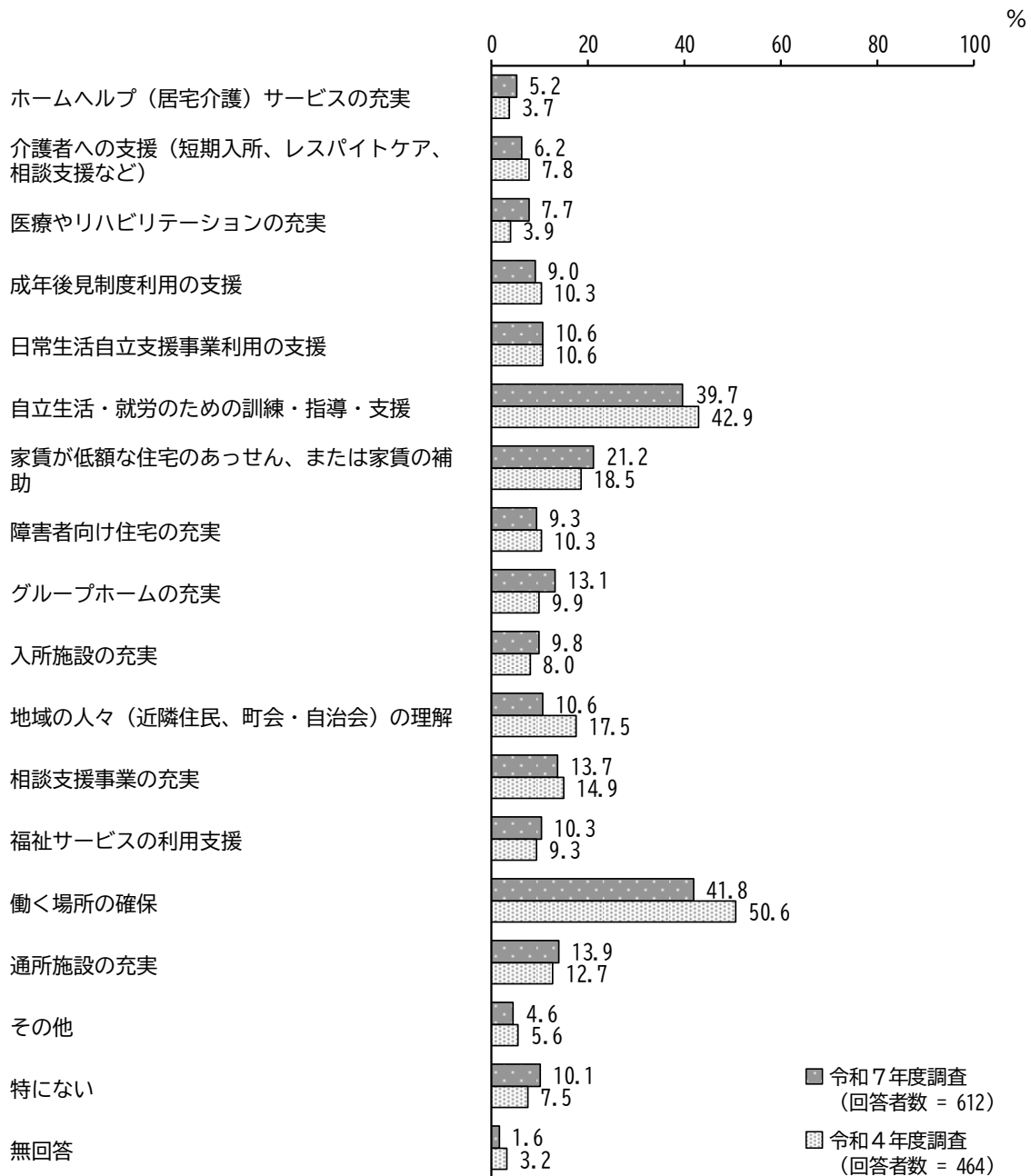
障害種別にみると、精神障害、重症心身障害で“苦しい”の割合が高くなっています。



問 25 お子様は将来、自立した生活を送ることができるようになるために必要なことは、何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「働く場所の確保」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「自立生活・就労のための訓練・指導・支援」の割合が 39.7%、「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」の割合が 21.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「地域の人々（近隣住民、町会・自治会）の理解」「働く場所の確保」の割合が減少しています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「ホームヘルプ（居宅介護）サービスの充実」「介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、相談支援など）」「入所施設の充実」「通所施設の充実」、難病で「医療やリハビリテーションの充実」、精神障害で「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」、身体障害、重症心身障害で「障害者向け住宅の充実」、知的障害で「グループホームの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

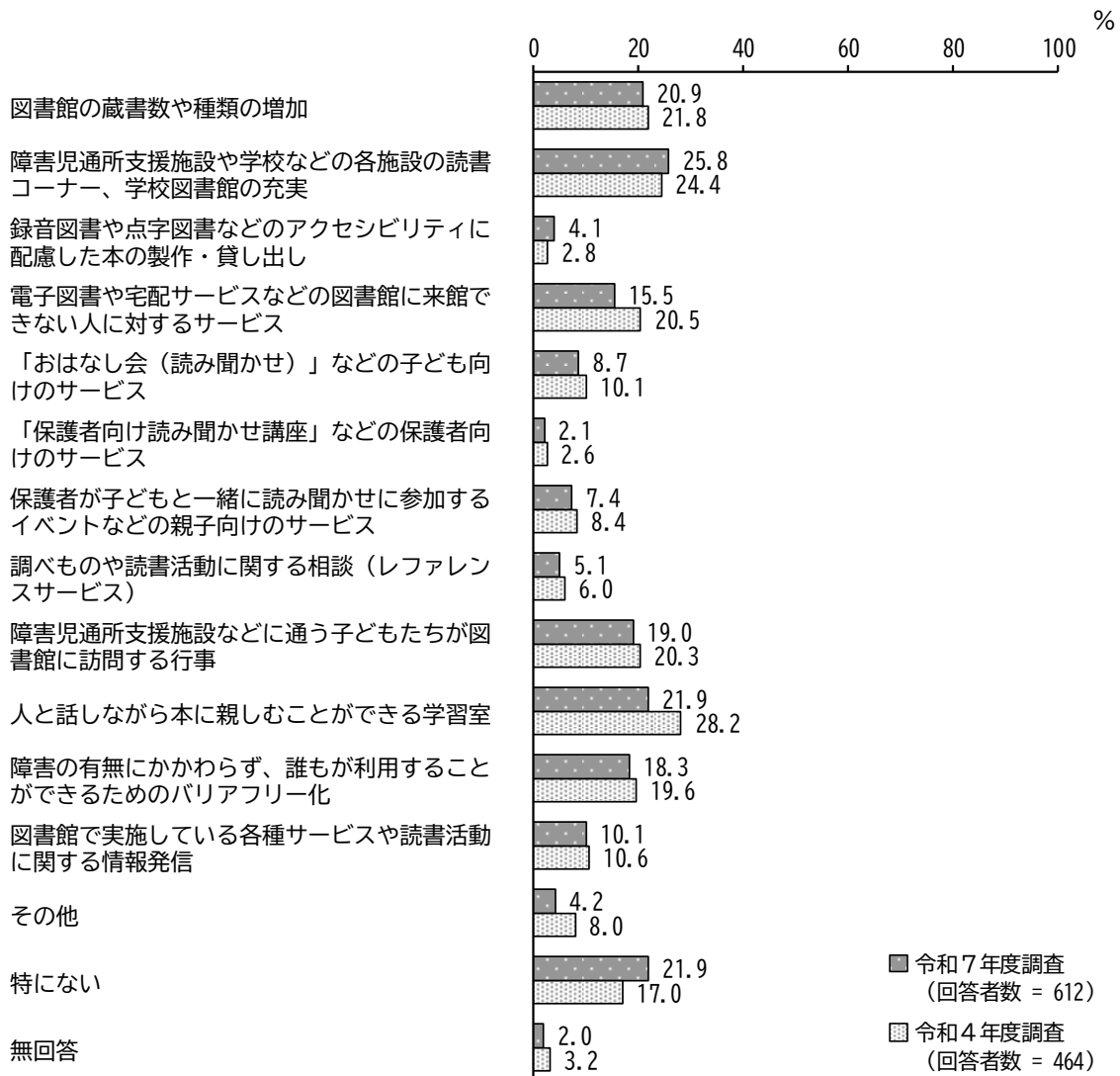
区分	回答者数（件）	ホームヘルプ（居宅介護）サービスの充実	介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、相談支援など）	医療やリハビリテーションの充実	成年後見制度利用の支援	日常生活自立支援事業利用の支援	自立生活・就労のための訓練・指導・支援	家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助	障害者向け住宅の充実	グループホームの充実
全体	612	5.2	6.2	7.7	9.0	10.6	39.7	21.2	9.3	13.1
身体障害	58	13.8	20.7	13.8	5.2	5.2	22.4	15.5	24.1	15.5
知的障害	216	11.6	13.9	4.2	12.5	12.0	38.9	18.5	19.4	33.3
精神障害	27	7.4	18.5	3.7	14.8	3.7	48.1	33.3	22.2	22.2
難病	38	10.5	13.2	21.1	7.9	2.6	18.4	13.2	13.2	13.2
発達障害	387	2.8	4.9	6.7	9.0	11.6	46.3	22.7	6.2	8.0
高次脳機能障害	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	50.0
重症心身障害	15	26.7	33.3	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7	26.7	13.3
強度行動障害	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	60.0

区分	入所施設の充実	地域の人々（近隣住民、町会・自治会）の理解	相談支援事業の充実	福祉サービスの利用支援	働く場所の確保	通所施設の充実	その他	特にない	無回答
全体	9.8	10.6	13.7	10.3	41.8	13.9	4.6	10.1	1.6
身体障害	31.0	15.5	3.4	12.1	31.0	27.6	6.9	0.0	1.7
知的障害	26.9	9.7	6.0	9.3	38.4	19.9	3.2	1.4	1.4
精神障害	14.8	11.1	11.1	0.0	33.3	14.8	7.4	7.4	0.0
難病	34.2	0.0	7.9	13.2	26.3	26.3	10.5	10.5	0.0
発達障害	6.7	11.1	17.1	11.4	44.2	11.4	4.7	10.1	1.0
高次脳機能障害	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	66.7	0.0	0.0	0.0	6.7	46.7	6.7	0.0	6.7
強度行動障害	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0

問 26 江東区立図書館では障害の有無にかかわらず、誰もが図書館を利用し、本に親しむことができるよう、様々なサービスを提供しています。以下のサービスのうち、より充実すべきものは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害児通所支援施設や学校などの各施設の読書コーナー、学校図書館の充実」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「人と話しながら本に親しむことができる学習室」の割合が 21.9%、「図書館の蔵書数や種類の増加」の割合が 20.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「人と話しながら本に親しむことができる学習室」の割合が減少しています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「障害児通所支援施設や学校などの各施設の読書コーナー、学校図書館の充実」、精神障害、重症心身障害で「録音図書や点字図書などのアクセシビリティに配慮した本の製作・貸し出し」、身体障害、知的障害、重症心身障害で「障害児通所支援施設などに通う子どもたちが図書館に訪問する行事」、身体障害、難病で「障害の有無にかかわらず、誰もが利用することができるためのバリアフリー化」、身体障害で「図書館で実施している各種サービスや読書活動に関する情報発信」の割合が高くなっています。

単位：%

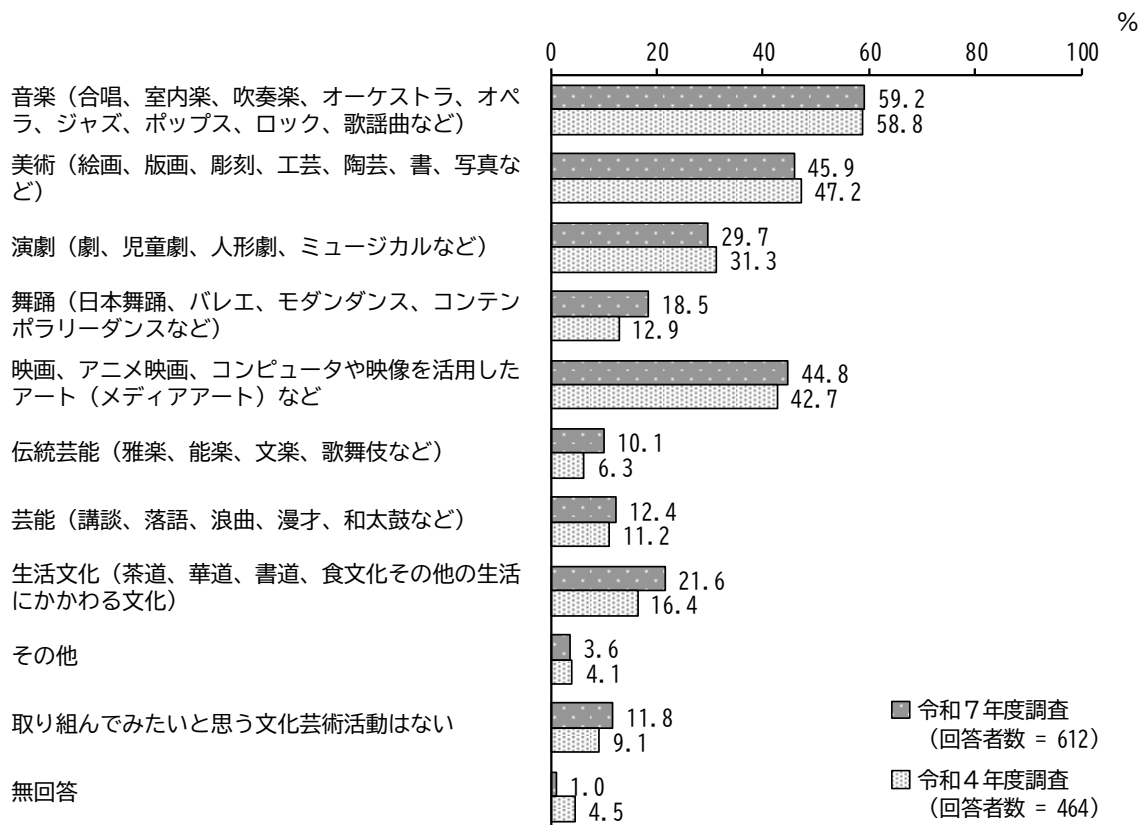
区分	回答者数(件)	図書館の蔵書数や種類の増加	障害児通所支援施設や学校などの各施設の読書コーナー、学校図書館の充実	録音図書や点字図書などのアクセシビリティに配慮した本の製作・貸し出し	電子図書や宅配サービスなどの図書館に来館できない人に対するサービス	「おはなし会(読み聞かせ)」などの子ども向けのサービス	「保護者向け読み聞かせ講座」などの保護者向けのサービス	保護者が子どもと一緒に読み聞かせに参加するイベントなどの親子向けのサービス
全体	612	20.9	25.8	4.1	15.5	8.7	2.1	7.4
身体障害	58	12.1	24.1	6.9	17.2	6.9	0.0	6.9
知的障害	216	15.3	30.6	3.7	12.5	3.7	0.5	5.1
精神障害	27	14.8	29.6	14.8	14.8	3.7	0.0	3.7
難病	38	10.5	28.9	10.5	18.4	0.0	0.0	0.0
発達障害	387	21.7	26.9	3.9	16.3	8.5	3.4	8.5
高次脳機能障害	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	6.7	33.3	13.3	20.0	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	5	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	調べものや読書活動に関する相談(レファレンスサービス)	障害児通所支援施設などに通う子どもたちが図書館に訪問する行事	人と話しながら本に親しむことが出来る学習室	障害の有無にかかわらず、誰もが利用することができるためのバリアフリー化	図書館で実施している各種サービスや読書活動に関する情報発信	その他	特になし	無回答
全体	5.1	19.0	21.9	18.3	10.1	4.2	21.9	2.0
身体障害	0.0	32.8	12.1	25.9	17.2	5.2	17.2	0.0
知的障害	2.8	30.6	20.4	21.3	8.3	5.1	22.2	0.9
精神障害	3.7	25.9	18.5	18.5	11.1	7.4	25.9	0.0
難病	5.3	21.1	13.2	26.3	10.5	7.9	26.3	0.0
発達障害	5.7	17.8	24.8	15.8	9.0	4.4	20.4	2.3
高次脳機能障害	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
重症心身障害	0.0	33.3	6.7	13.3	6.7	0.0	26.7	0.0
強度行動障害	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0

問 27 お子様に取り組んでみたい（参加したい、鑑賞したい、体験したい）と思う文化芸術活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」の割合が 45.9%、「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」の割合が 44.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」「生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活にかかわる文化）」の割合が増加しています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」「演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど）」、難病で「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」の割合が高くなっています。

単位：％

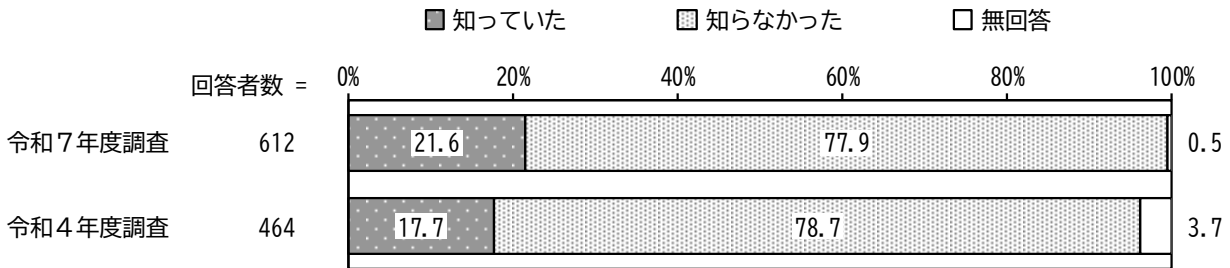
区分	回答者数（件）	音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など
全体	612	59.2	45.9	29.7	18.5	44.8
身体障害	58	70.7	46.6	32.8	17.2	34.5
知的障害	216	62.5	44.9	25.0	21.3	38.9
精神障害	27	59.3	44.4	22.2	11.1	44.4
難病	38	68.4	55.3	34.2	15.8	36.8
発達障害	387	58.4	47.3	30.7	18.9	48.6
高次脳機能障害	4	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0
重症心身障害	15	80.0	40.0	40.0	20.0	33.3
強度行動障害	5	80.0	60.0	60.0	20.0	40.0

区分	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲漫才、和太鼓など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活にかかわる文化）	その他	取り組んでみたいと思う文化芸術活動はない	無回答
全体	10.1	12.4	21.6	3.6	11.8	1.0
身体障害	6.9	8.6	17.2	5.2	8.6	0.0
知的障害	11.1	13.0	17.6	4.6	11.1	0.9
精神障害	3.7	14.8	11.1	3.7	14.8	0.0
難病	7.9	7.9	13.2	2.6	7.9	2.6
発達障害	11.1	13.2	23.3	3.4	11.6	0.5
高次脳機能障害	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	13.3	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0
強度行動障害	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0

(7) 災害時の支援について

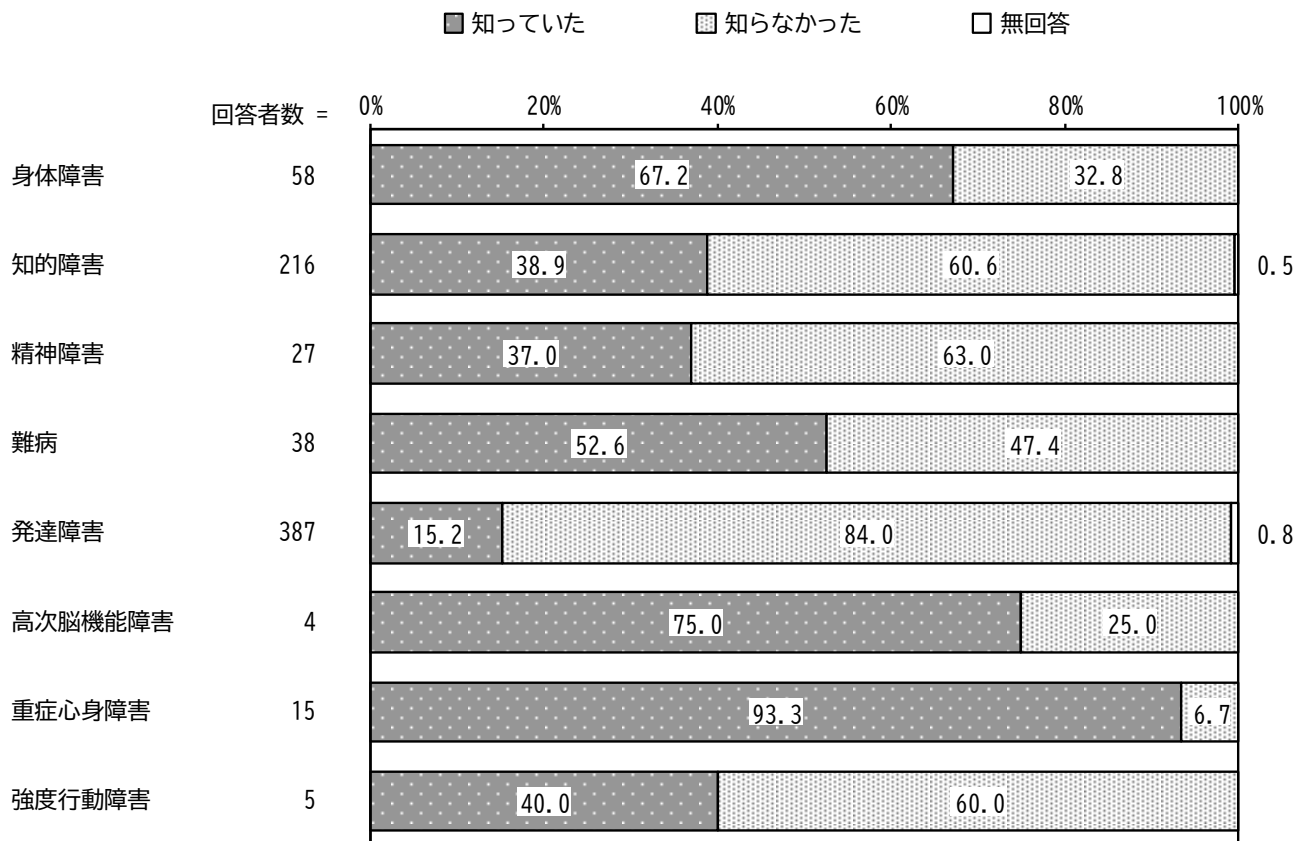
問 28 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が21.6%、「知らなかった」の割合が77.9%となっています。



【障害種別】

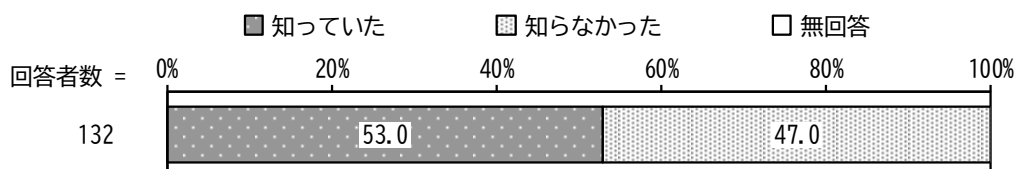
障害種別にみると、重症心身障害で「知っていた」の割合が高くなっています。



問 28 で「知っていた」に○をつけた方にうかがいます。

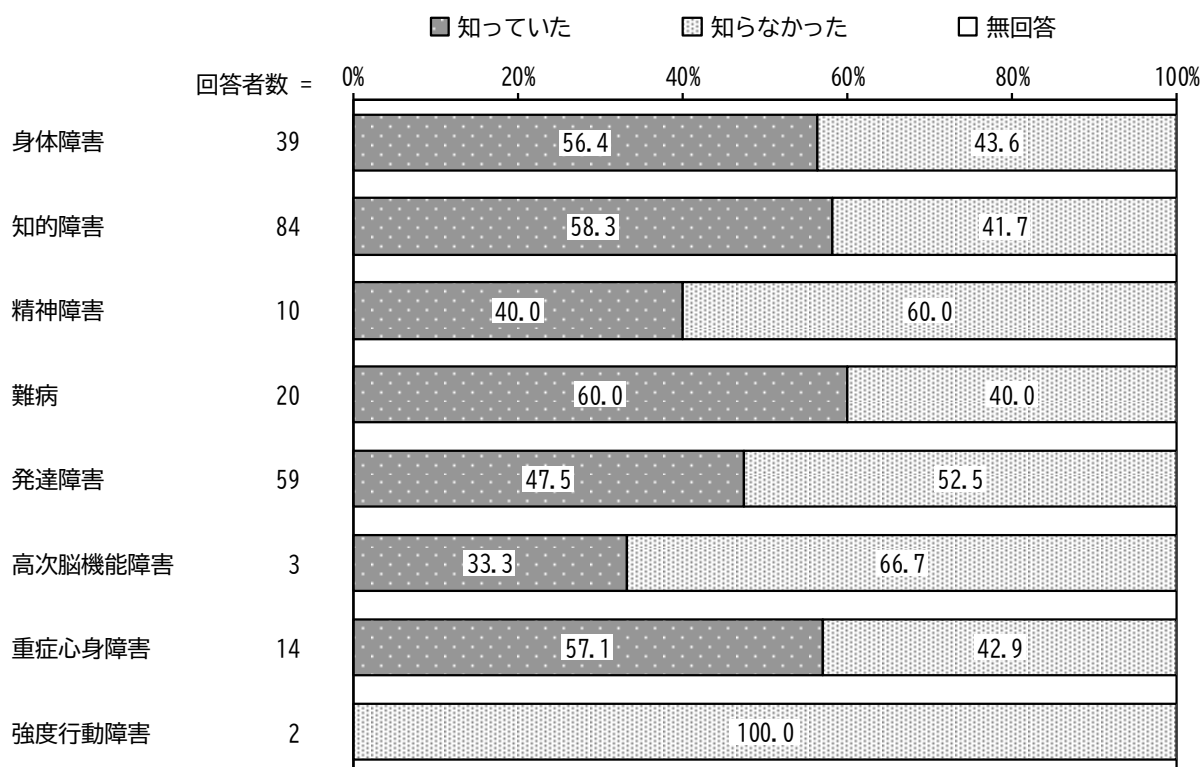
問 28-1 「避難行動要支援者名簿」に掲載された方は、地域の災害協力隊や福祉専門職（相談支援専門員等）から訪問や調査を経て、個々の状況に応じた避難方法や支援を計画する「個別避難計画」を作成してもらい、拠点避難所に名簿と計画（写）を設置します。「個別避難計画」について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が 53.0%、「知らなかった」の割合が 47.0%となっています。



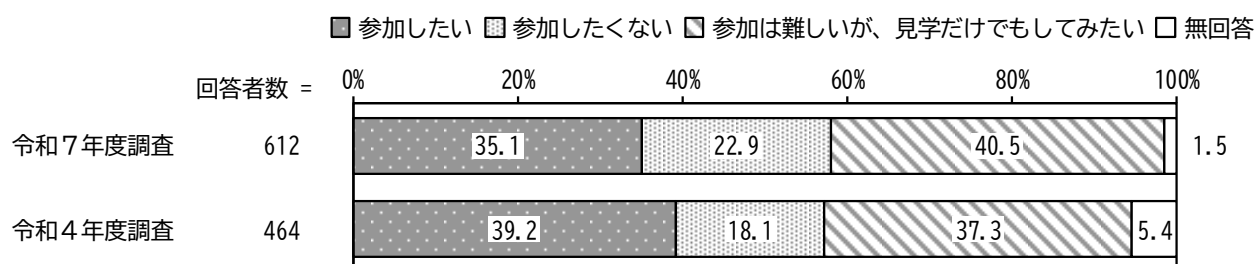
【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「知らなかった」の割合が高くなっています。



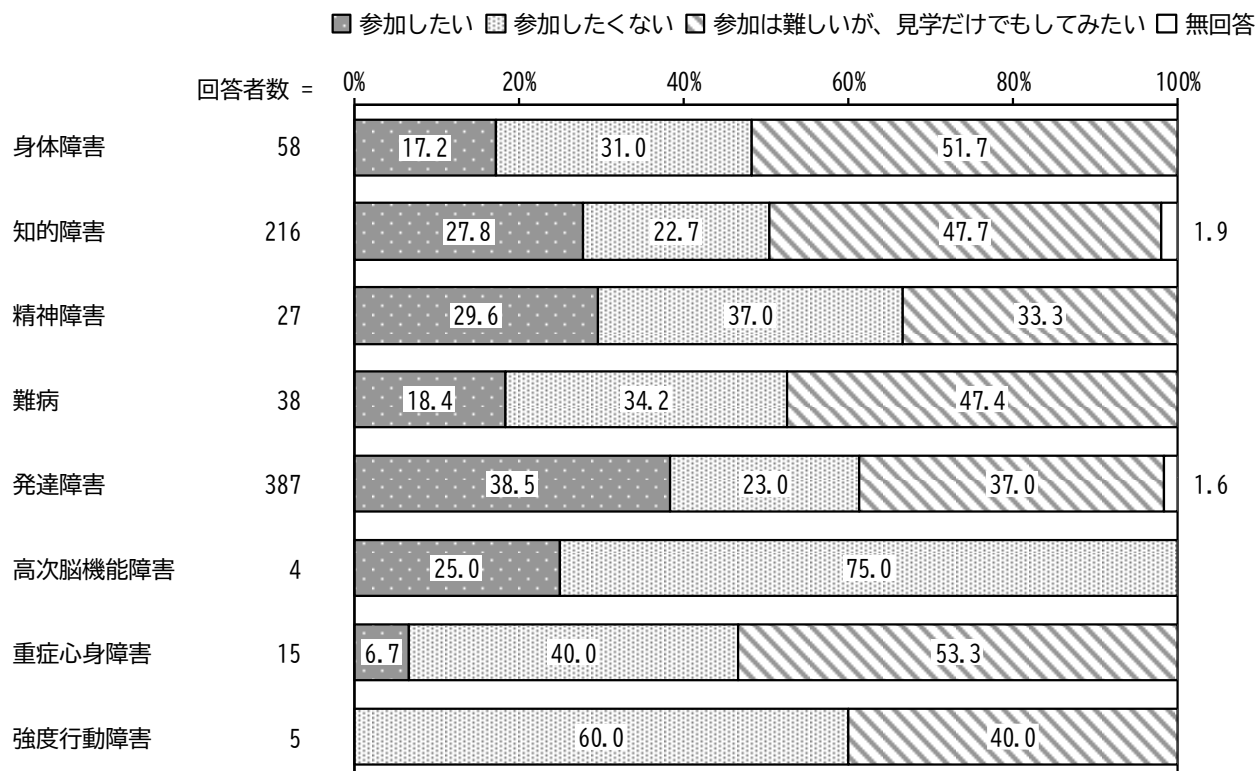
問 29 地域（町会・自治会）の防災訓練に参加してみたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「参加したい」の割合が 35.1%、「参加したくない」の割合が 22.9%、「参加は難しいが、見学だけでもしてみたい」の割合が 40.5%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「参加したくない」、身体障害、重症心身障害で「参加は難しいが、見学だけでもしてみたい」の割合が高くなっています。



問 29 で「参加したくない」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-1 参加したくないと思われる理由を記入してください。

- ・時間的余裕がない（多忙・休日は休みたい等）について(24 件)
時間がとれないのと、地域との関わり合いがないため。
- ・人間関係・近所付き合いの煩わしさ・不慣れについて(17 件)
知らない人の中に入るのが苦手なので。
- ・周囲の目・偏見・迷惑をかける懸念について(13 件)
近所の方に障がい児をかかえていることを知られたくないため。
- ・子どもの場所や人混み・音への苦手意識・拒否について(13 件)
大勢の人がいる場所が苦手なで逃げる。
- ・子どもを連れて行くことの物理的・心理的負担について(12 件)
子どもを連れて参加するのが難しいから。
- ・障害への理解・配慮の不足への不安について(11 件)
障害の息子を理解してくれるか不安です。
- ・仕事・日程の都合・スケジュールの不一致について(11 件)
日程の調整がむずかしい。
- ・町内会・自治会への不満・非加入・トラブルについて(11 件)
普通の人こそ参加していない。お年寄りしかいないと思う。
- ・子どもの特性（多動・パニック・声出し等）による参加困難について(10 件)
子供が落ち着かないから
- ・参加自体が面倒・億劫であることについて(10 件)
面倒だから
- ・マンションや学校・施設等で既に訓練を実施しているについて(8 件)
学校や放課後デイサービスで参加しているから
- ・参加のハードルが高い（漠然とした困難さ・自信がない等）について(6 件)
屋外活動は難しい

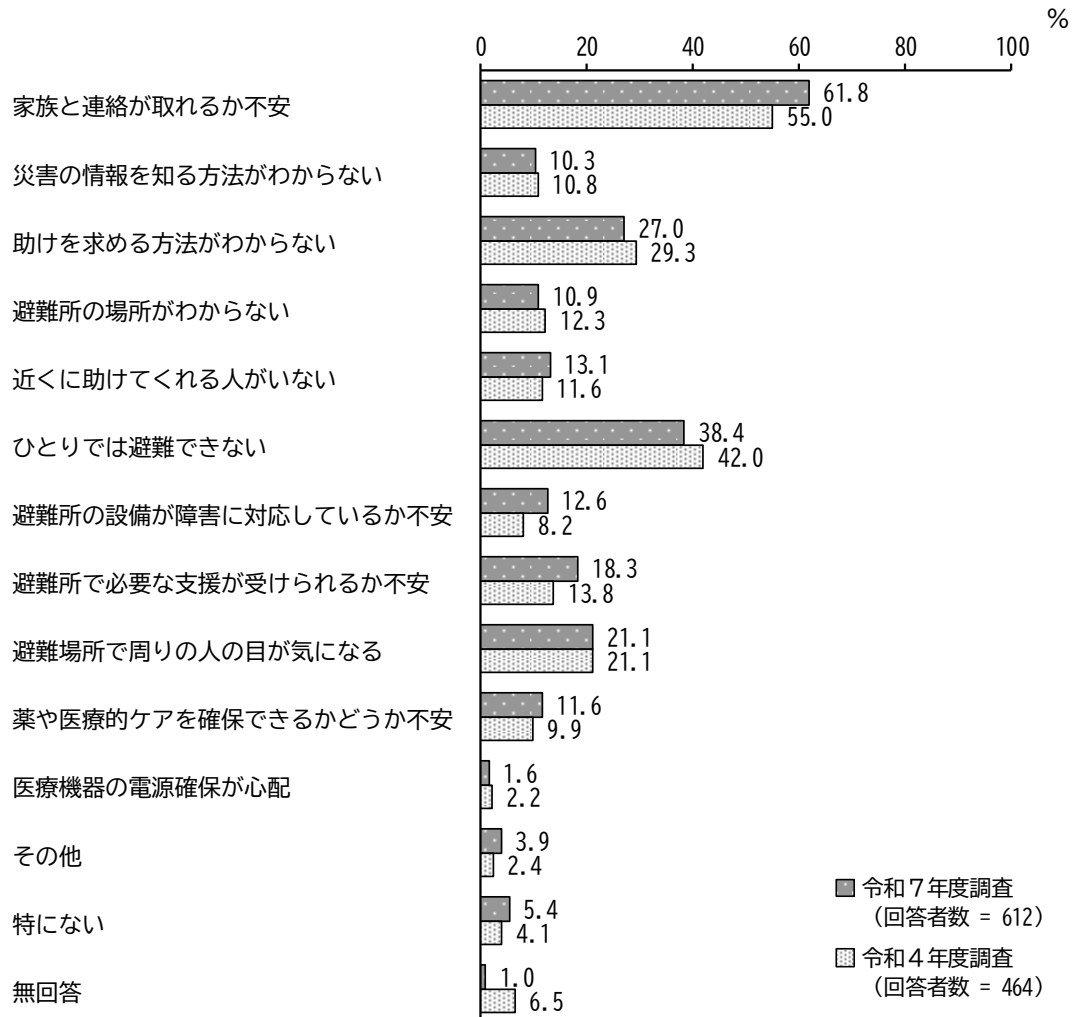
なお、以下の項目についてもご意見をいただいております。

- ・訓練内容が障害者向けでない・意味がないことについて(4 件)
- ・家庭内で既に対策済み・防災意識が足りているについて(3 件)
- ・訓練の詳細・日時・参加方法が不明であるについて(3 件)
- ・きょうだいや他家族の世話・事情について(3 件)
- ・医療的ケアや重度障害等の深刻なハードルについて(3 件)
- ・健常者との合同訓練への抵抗感・障害者専用の希望について(3 件)
- ・その他について(7 件)

問 30 お子様に関して、地震などの災害が発生した時に困ることや不安なことは何ですか。
あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「家族と連絡が取れるか不安」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「ひとりでは避難できない」の割合が 38.4%、「助けを求める方法がわからない」の割合が 27.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「家族と連絡が取れるか不安」の割合が増加しています。



【障害種別】

障害種別にみると、知的障害、重症心身障害で「ひとりでは避難できない」、重症心身障害で「避難所の設備が障害に対応しているか不安」「避難場所で周りの人の目が気になる」「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」「医療機器の電源確保が心配」の割合が高くなっています。

単位：％

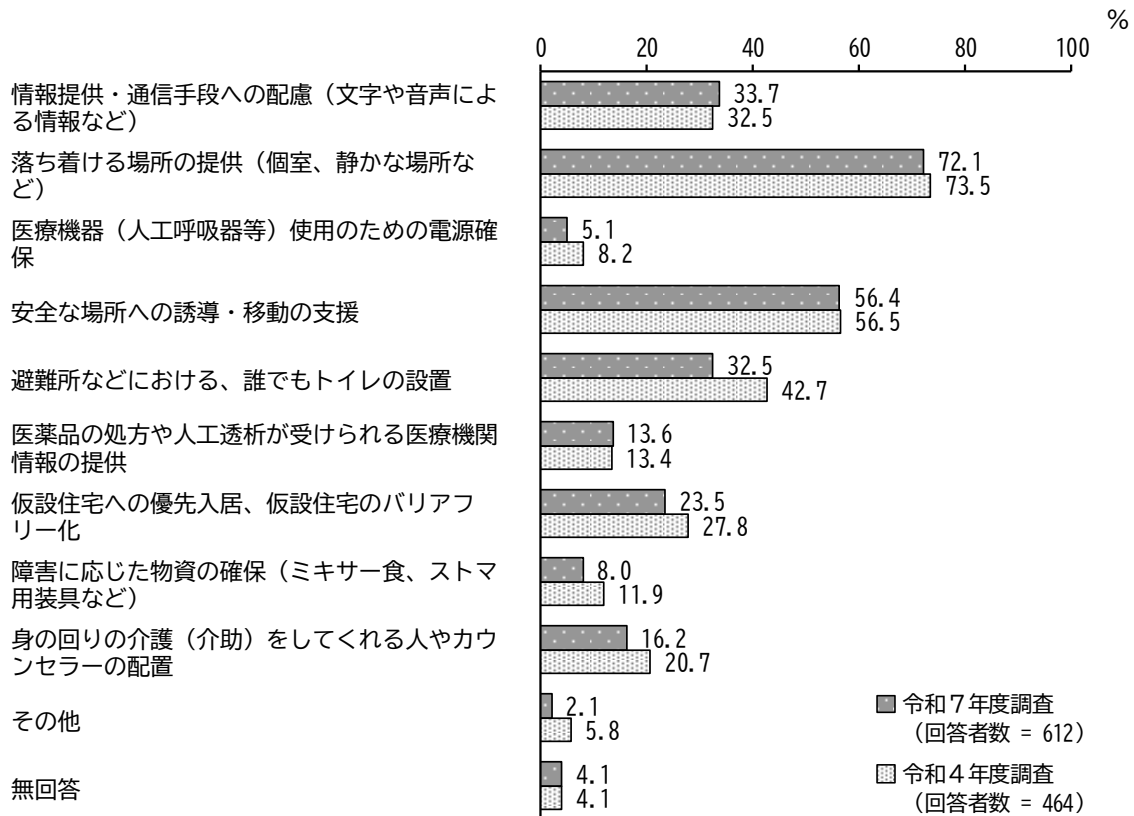
区分	回答者数(件)	家族と連絡が取れるか不安	災害の情報を知らず方法がわからない	助けを求め方法がわからない	避難所の場所がわからない	近くに助けをくれる人がいない	ひとりでは避難できない	避難所の設備が障害に対応しているか不安
全体	612	61.8	10.3	27.0	10.9	13.1	38.4	12.6
身体障害	58	39.7	6.9	24.1	12.1	15.5	50.0	25.9
知的障害	216	48.1	6.0	32.9	8.8	14.4	54.6	22.7
精神障害	27	44.4	0.0	33.3	3.7	22.2	40.7	22.2
難病	38	39.5	2.6	18.4	2.6	13.2	39.5	23.7
発達障害	387	64.6	11.4	28.9	10.3	10.9	33.9	10.3
高次脳機能障害	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0	50.0
重症心身障害	15	6.7	0.0	13.3	0.0	6.7	53.3	46.7
強度行動障害	5	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	80.0	20.0

区分	避難所で必要な支援が受けられるか不安	避難場所で周りの人の目が気になる	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	医療機器の電源確保が心配	その他	特になし	無回答
全体	18.3	21.1	11.6	1.6	3.9	5.4	1.0
身体障害	22.4	25.9	25.9	10.3	3.4	1.7	1.7
知的障害	25.5	33.3	14.4	2.3	3.7	1.9	0.9
精神障害	22.2	33.3	33.3	3.7	7.4	0.0	0.0
難病	21.1	21.1	47.4	13.2	2.6	0.0	2.6
発達障害	17.1	19.9	10.1	1.0	4.7	6.5	1.0
高次脳機能障害	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	26.7	53.3	53.3	26.7	0.0	0.0	0.0
強度行動障害	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0

問31 災害時には、どのような支援が必要ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）」の割合が72.1%と最も高く、次いで「安全な場所への誘導・移動の支援」の割合が56.4%、「情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報など）」の割合が33.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」の割合が減少しています。



【障害種別】

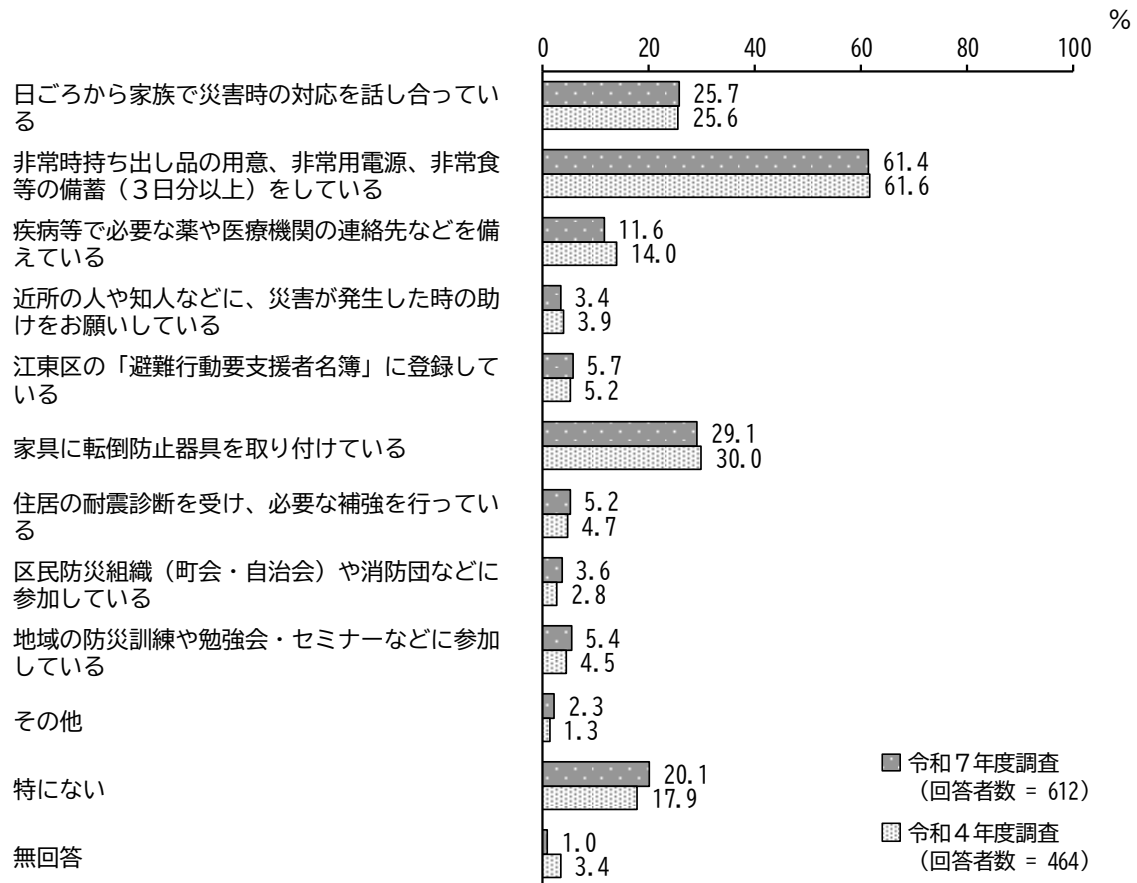
障害種別にみると、重症心身障害で「落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）」「医療機器（人工呼吸器等）使用のための電源確保」「安全な場所への誘導・移動の支援」「医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供」「仮設住宅への優先入居、仮設住宅のバリアフリー化」「障害に応じた物資の確保（ミキサー食、ストマ用装具など）」、知的障害で「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」、身体障害、知的障害、難病で「身の回りの介護（介助）をしてくれる人やカウンセラーの配置」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報など）	落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）	医療機器（人工呼吸器等）使用のための電源確保	安全な場所への誘導・移動の支援	避難所などにおける、誰でもトイレの設置	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	仮設住宅への優先入居、仮設住宅のバリアフリー化	障害に応じた物資の確保（ミキサー食、ストマ用装具など）	身の回りの介護（介助）をしてくれる人やカウンセラーの配置	その他	無回答
全体	612	33.7	72.1	5.1	56.4	32.5	13.6	23.5	8.0	16.2	2.1	4.1
身体障害	58	32.8	62.1	15.5	58.6	32.8	29.3	34.5	27.6	31.0	0.0	1.7
知的障害	216	26.9	77.8	6.0	59.7	44.0	15.7	31.9	14.4	28.2	2.3	1.4
精神障害	27	29.6	81.5	11.1	33.3	37.0	25.9	29.6	18.5	18.5	3.7	0.0
難病	38	7.9	60.5	15.8	50.0	31.6	47.4	26.3	34.2	28.9	2.6	2.6
発達障害	387	37.0	73.9	4.1	56.3	30.7	11.1	21.2	6.2	12.4	2.1	4.1
高次脳機能障害	4	0.0	100.0	0.0	25.0	25.0	50.0	50.0	0.0	75.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	13.3	86.7	26.7	66.7	26.7	53.3	53.3	53.3	26.7	0.0	0.0
強度行動障害	5	20.0	100.0	40.0	60.0	80.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0

問 32 災害に対してどのような備えをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食等の備蓄（3日分以上）をしている」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「家具に転倒防止器具を取り付けている」の割合が 29.1%、「日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている」の割合が 25.7%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食等の備蓄（3日以上）をしている」「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」「江東区の「避難行動要支援者名簿」に登録している」「住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている」の割合が高くなっています。

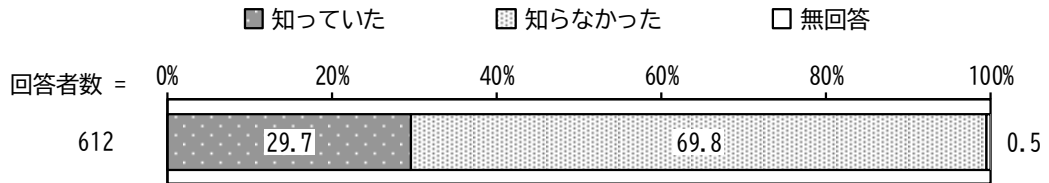
単位：％

区分	回答者数（件）	日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常用電源、非常食等の備蓄（3日以上）をしている	疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている	江東区の「避難行動要支援者名簿」に登録している	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	区民防災組織（町会・自治会）や消防団などに参加している	地域の防災訓練や勉強会・セミナーなどに参加している	その他	特にない	無回答
全体	612	25.7	61.4	11.6	3.4	5.7	29.1	5.2	3.6	5.4	2.3	20.1	1.0
身体障害	58	20.7	63.8	29.3	6.9	32.8	29.3	8.6	0.0	1.7	3.4	15.5	0.0
知的障害	216	26.9	63.9	15.7	4.2	12.5	29.2	6.5	1.9	6.5	3.7	15.3	0.9
精神障害	27	11.1	59.3	22.2	7.4	3.7	18.5	0.0	7.4	7.4	3.7	29.6	3.7
難病	38	21.1	73.7	50.0	0.0	26.3	31.6	7.9	2.6	7.9	5.3	13.2	0.0
発達障害	387	26.1	62.8	9.8	3.1	2.6	29.2	4.9	4.7	5.2	2.6	20.9	1.0
高次脳機能障害	4	0.0	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	26.7	80.0	60.0	6.7	53.3	33.3	20.0	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0
強度行動障害	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0

(8) 障害者施策について

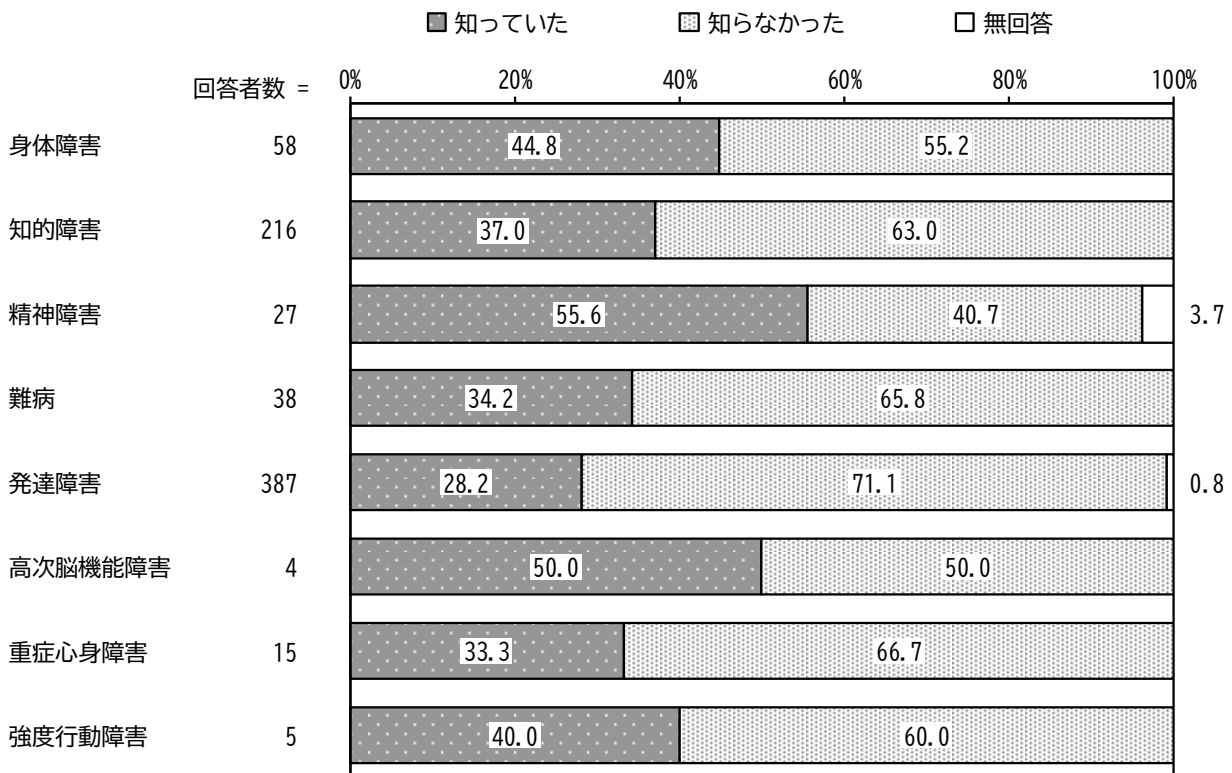
問 33 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が改正され、令和6年4月から事業者による障害者への合理的配慮の提供が義務となりました。このことを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が29.7%、「知らなかった」の割合が69.8%となっています。



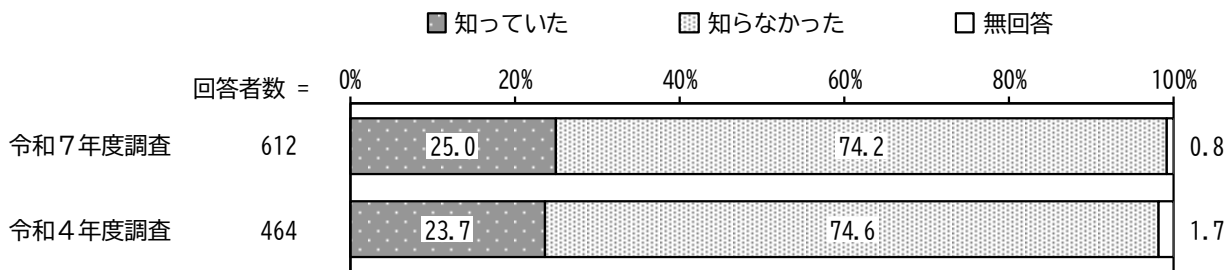
【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「知っていた」の割合が高くなっています。



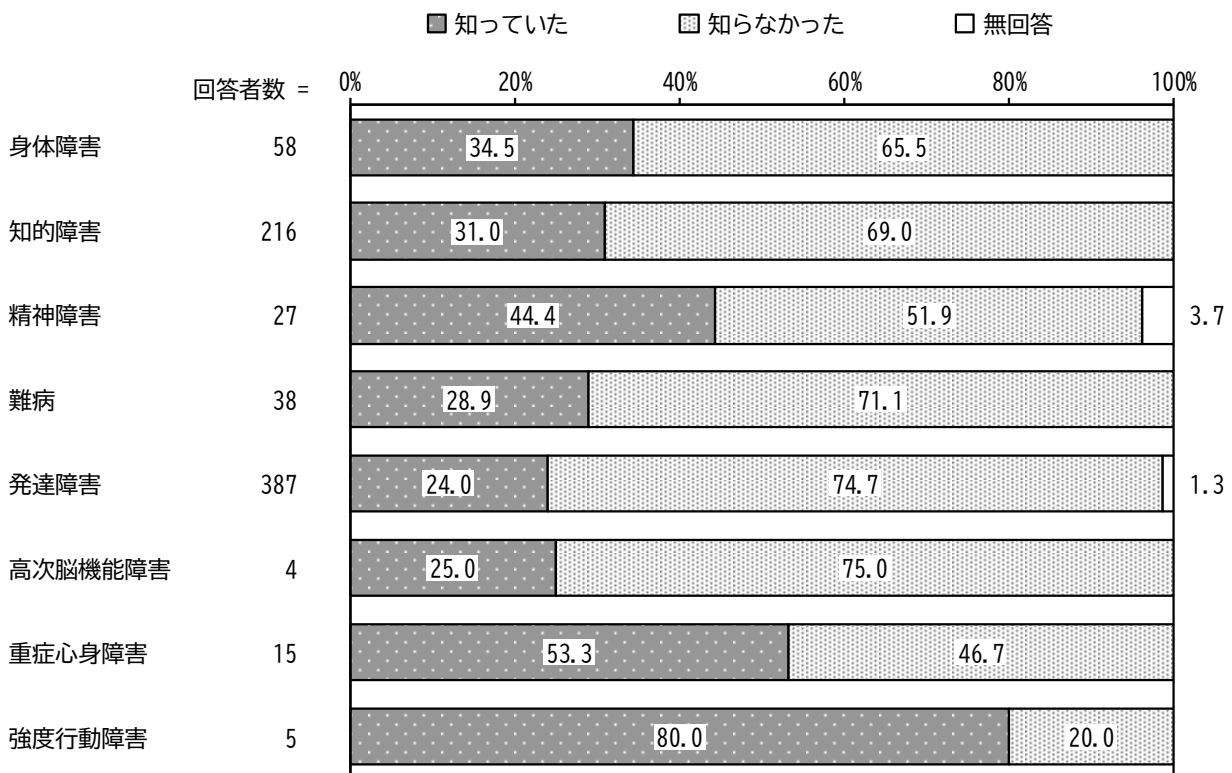
問 34 区では、「障害者虐待防止センター」を障害者支援課の中に設置し、虐待の通報受付や、虐待防止のための相談などを行っています。このことを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が25.0%、「知らなかった」の割合が74.2%となっています。



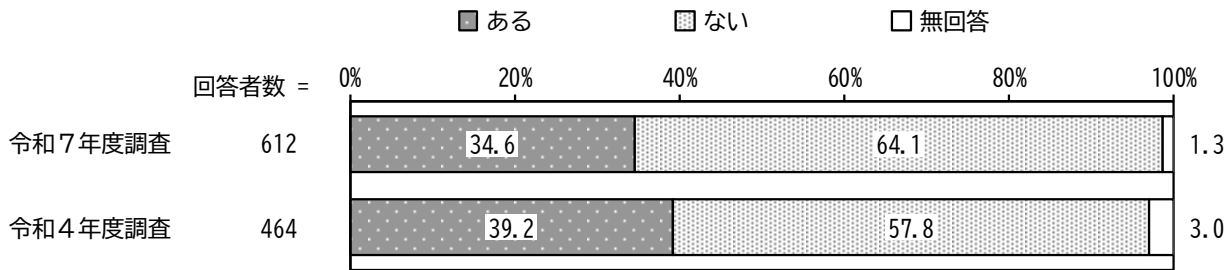
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「知っていた」の割合が高くなっています。



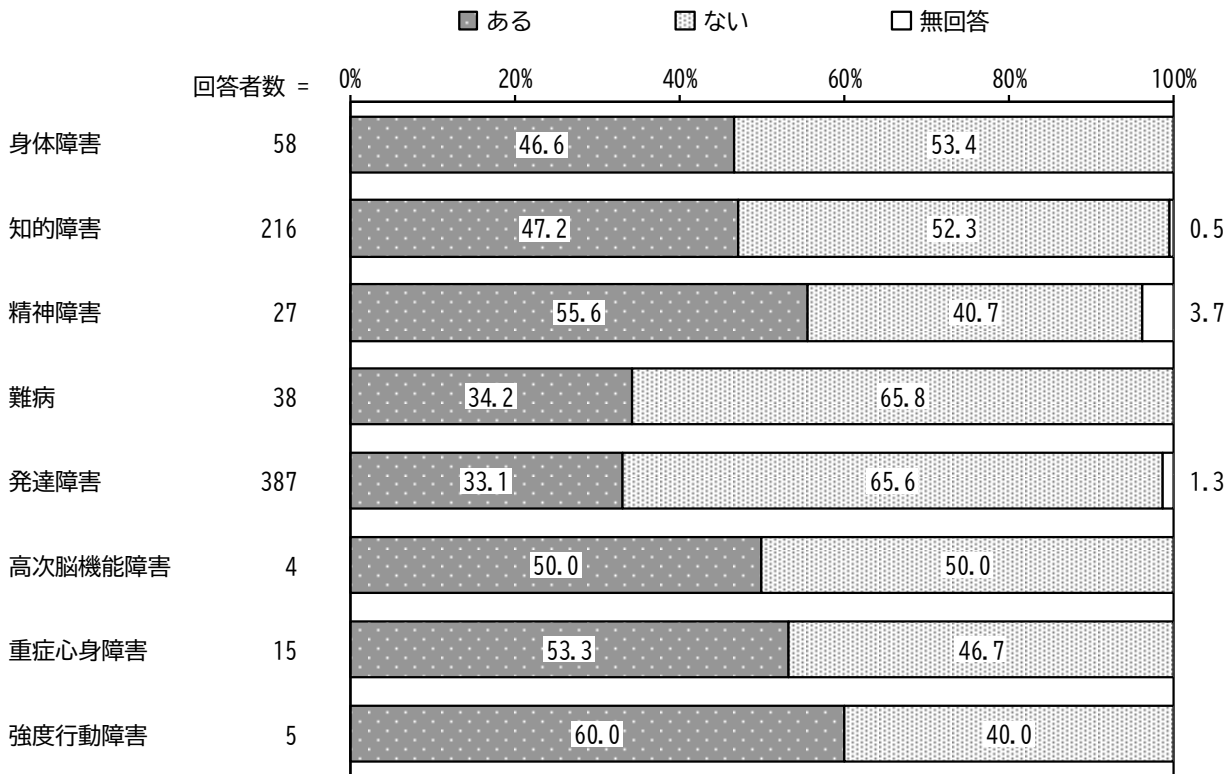
問 35 これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ある」の割合が34.6%、「ない」の割合が64.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



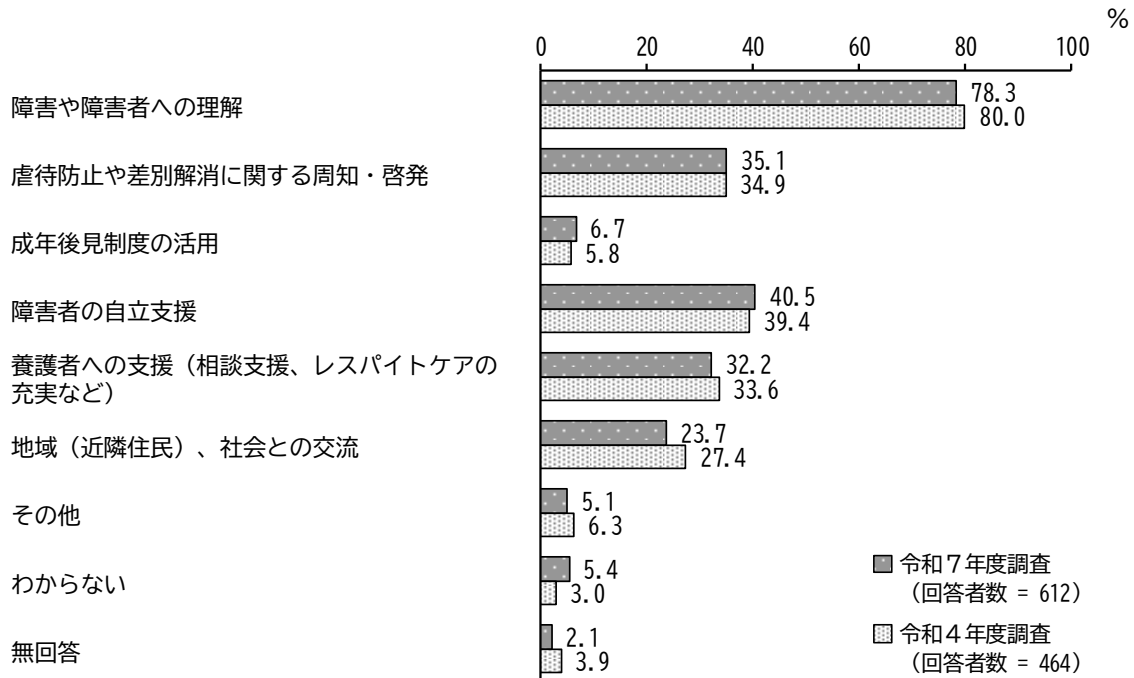
【障害種別】

障害種別に見ると、精神障害、重症心身障害で「ある」の割合が高くなっています。



問 36 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害や障害者への理解」の割合が78.3%と最も高く、次いで「障害者の自立支援」の割合が40.5%、「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」の割合が35.1%となっています。



【障害種別】

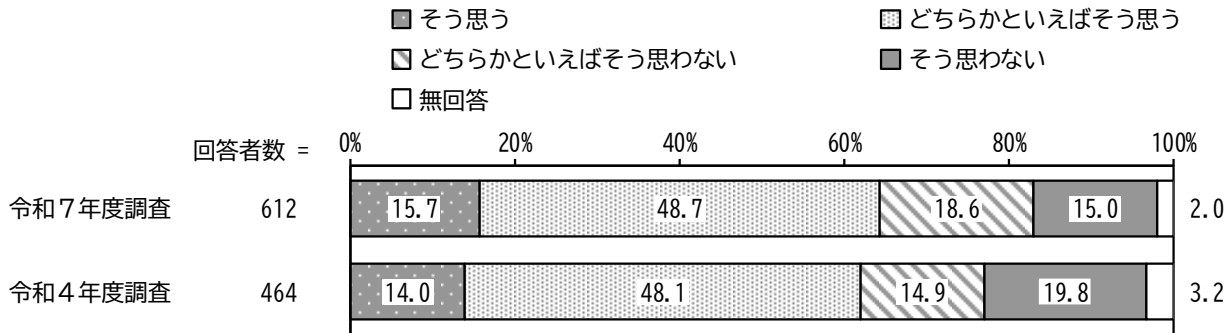
障害種別にみると、精神障害で「障害や障害者への理解」「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」、重症心身障害で「養護者への支援（相談支援、レスパイトケアの充実など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	障害や障害者への理解	虐待防止や差別解消に関する周知・啓発	成年後見制度の活用	障害者の自立支援	養護者への支援（相談支援、レスパイトケアの充実など）	地域（近隣住民）、社会との交流	その他	わからない	無回答
全体	612	78.3	35.1	6.7	40.5	32.2	23.7	5.1	5.4	2.1
身体障害	58	81.0	37.9	3.4	20.7	43.1	22.4	6.9	1.7	0.0
知的障害	216	81.5	38.9	9.3	43.5	38.4	25.0	6.0	2.8	0.0
精神障害	27	88.9	63.0	7.4	25.9	37.0	25.9	7.4	0.0	3.7
難病	38	76.3	39.5	5.3	7.9	47.4	13.2	7.9	5.3	0.0
発達障害	387	76.7	33.6	7.0	42.4	29.7	22.0	5.9	6.5	2.6
高次脳機能障害	4	100.0	75.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	80.0	40.0	6.7	13.3	53.3	0.0	13.3	6.7	0.0
強度行動障害	5	80.0	60.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0

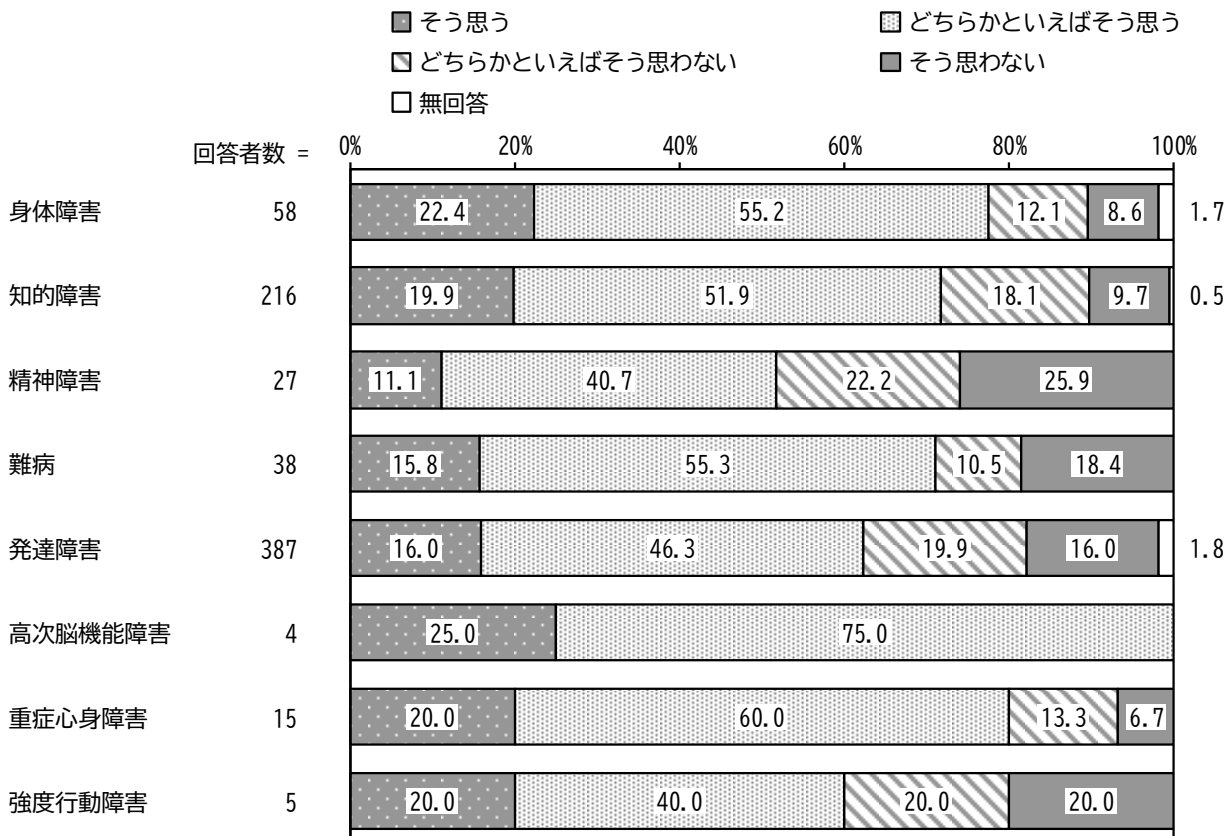
問37 あなたは、日常生活の中で周囲から配慮されていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が64.4%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が33.6%となっています。



【障害種別】

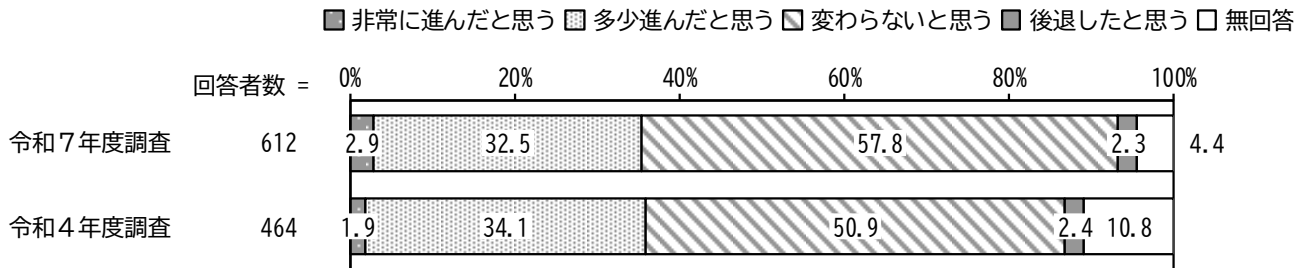
障害種別にみると、身体障害、重症心身障害で“そう思う”、精神障害で“そう思わない”の割合が高くなっています。



問 38 令和4年ごろ（3年ほど前）と比べて、江東区の障害者施策は充実したと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

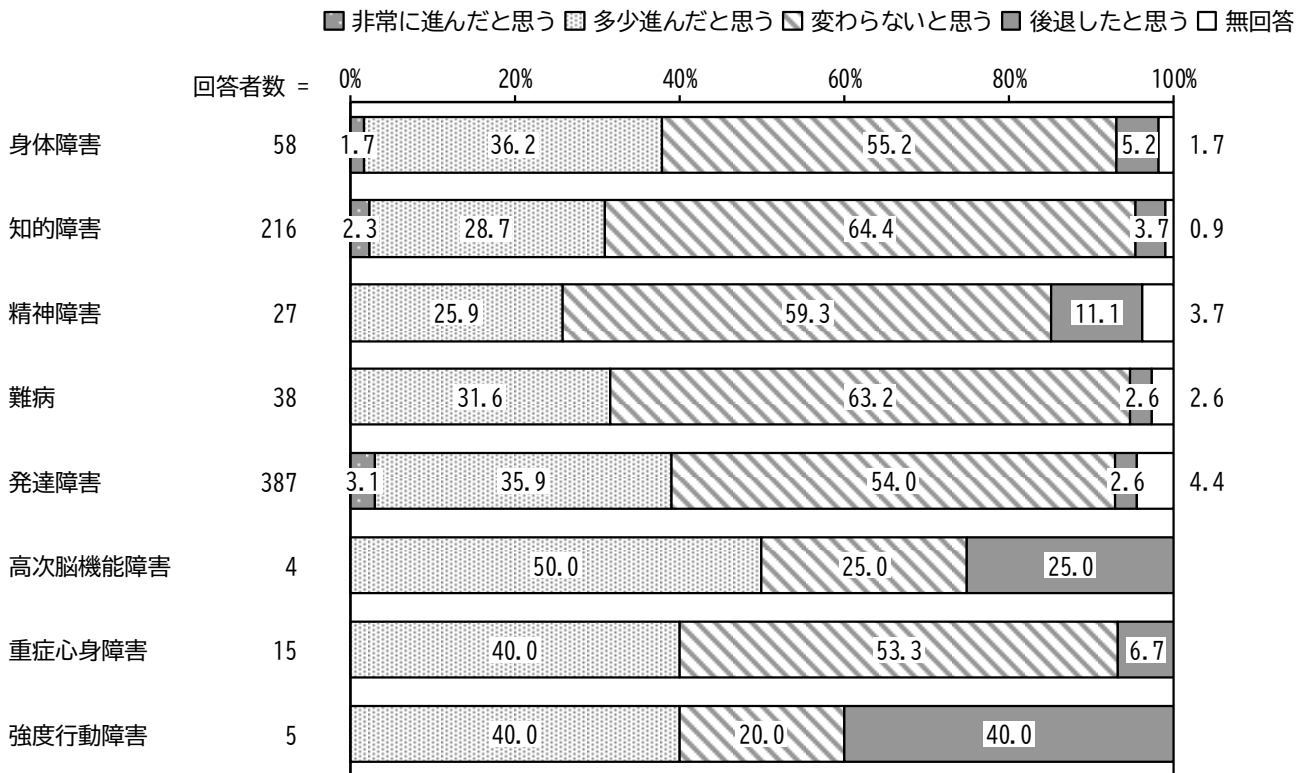
「変わらないと思う」の割合が57.8%と最も高く、次いで「多少進んだと思う」の割合が32.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「変わらないと思う」の割合が増加しています。



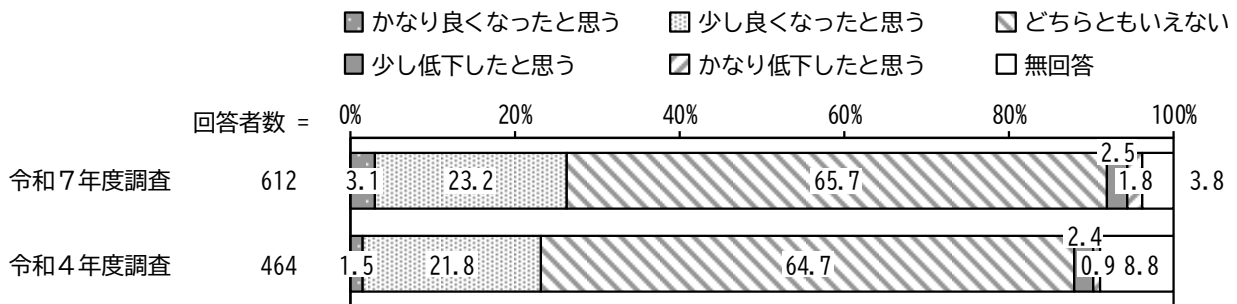
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「多少進んだと思う」、知的障害、難病で「変わらないと思う」、精神障害で「後退したと思う」の割合が高くなっています。



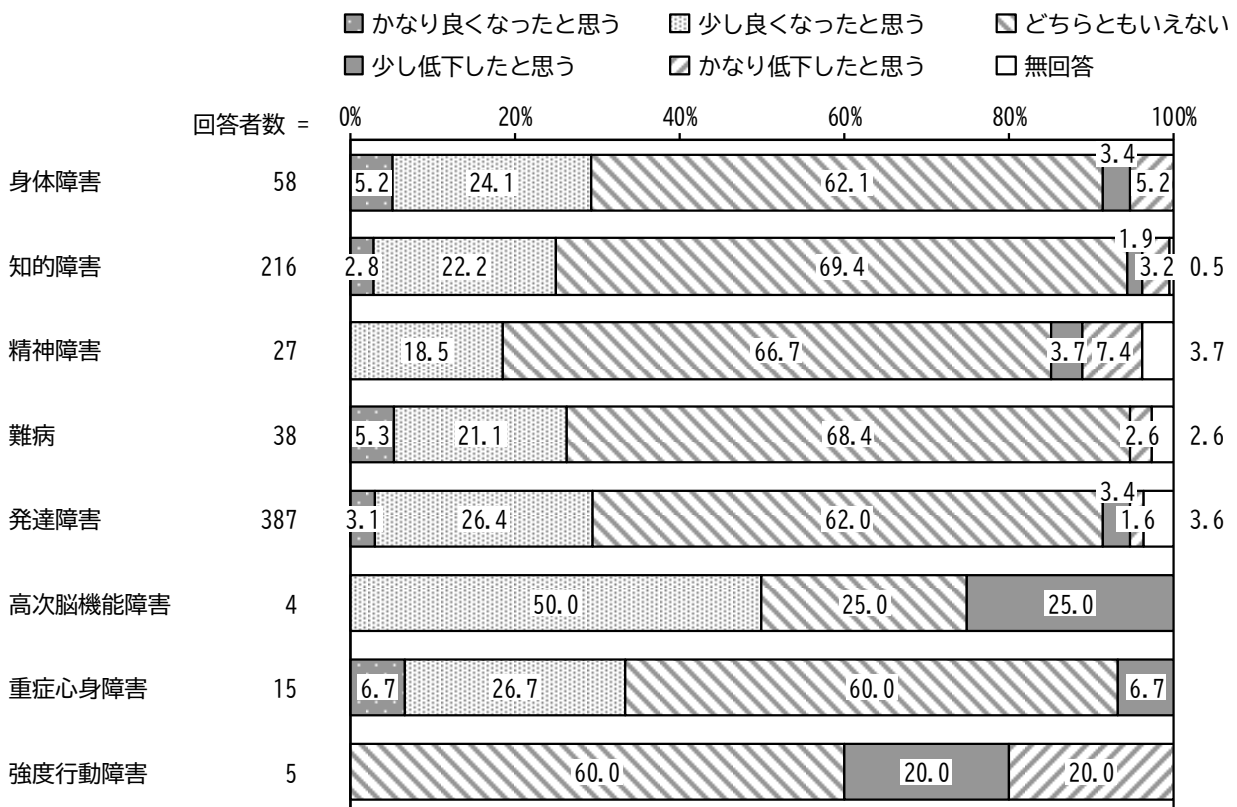
問 39 江東区の福祉サービスは、令和4年ごろ（3年ほど前）と比べて、変化していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「かなり良くなったと思う」「少し良くなったと思う」を合わせた“良くなったと思う”の割合が26.3%、「少し低下したと思う」「かなり低下したと思う」を合わせた“低下したと思う”の割合が4.3%となっています。



【障害種別】

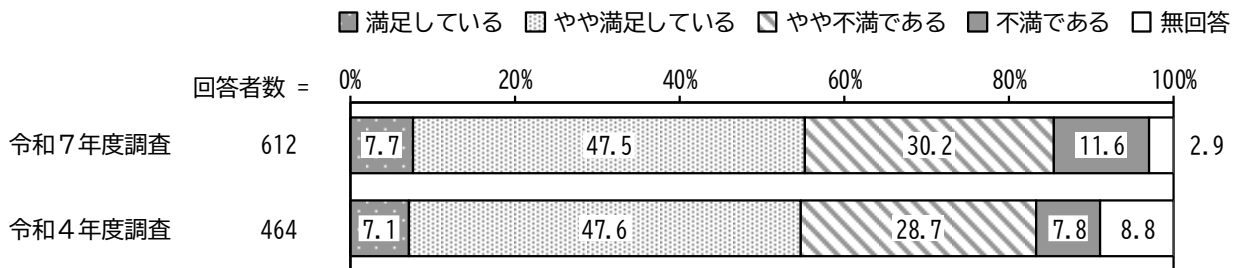
障害種別にみると、重症心身障害で「かなり良くなったと思う」、精神障害で「かなり低下したと思う」の割合が高くなっています。



問 40 あなたは、障害者（児）支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

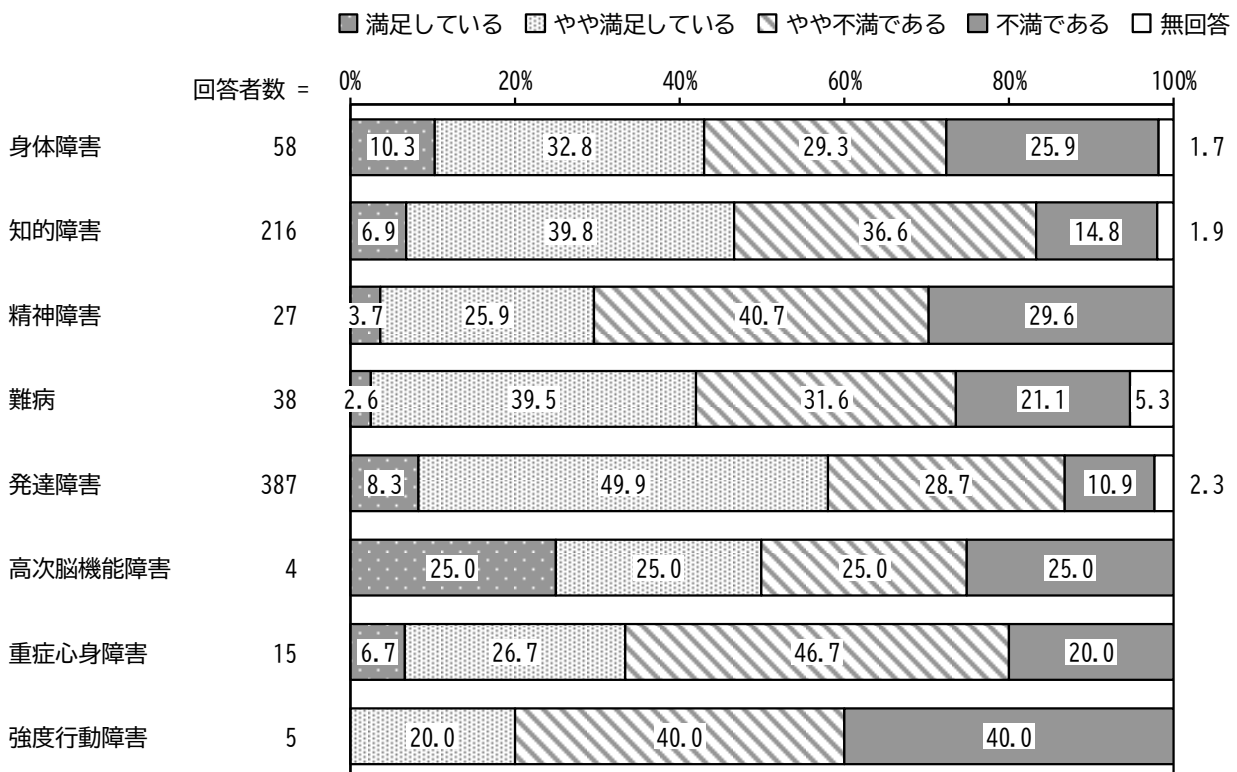
「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が55.2%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”の割合が41.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、“不満である”の割合が増加しています。



【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で“不満である”の割合が高くなっています。



問 41 あなたやお子様、周りの人から助けてもらったり、してもらってうれしかったことがあれば記入してください。

・療育施設・保育園・幼稚園の先生の対応について(48件)

幼稚園の先生、COCOの先生方には、大変お世話になっております。自信が少しずつついて、何事にもとりあえずやってみるという精神が少しずつですが身についてきたように感じます。

・学校・教員・支援員の対応について(39件)

学校の授業で支援員の方に支えられている。子どもが大好きな方たちと一緒にできることでがんばれている。

・本人の特性・ありのままを受け入れてくれることについて(31件)

子どものペースに寄り添って、ゆっくり待ってくれたり、優しく声かけしてくれたこと

・近隣住民・見知らぬ人の声かけ・見守りについて(27件)

毎朝、通学バスに向かう途中で、近所の方々が朝のあいさつをしてくれています。子どもはあまり返せませんがでもうれしく思っています。

・交通機関での配慮・支援について(26件)

足も悪いため、混雑している電車やバスで席を譲ってもらえることは本当に助かります。

・専門機関・相談員の対応について(21件)

子どもが小さかった頃、よく通っていた子ども家庭支援センターの先生に相談に乗ってもらったこと

・パニック・癇癢時の周囲の理解・見守りについて(17件)

子供が暴れた時に知らない方が声をかけてくれ、助けようとしてくれた時。

・親への声かけ・精神的サポートについて(16件)

八方塞がりのとき、話を聞いて支援に繋げてくれた。

・物理的サポート・手助けについて(15件)

バスに乗車しようとした時、見知らぬ方が車椅子と一緒に乗せようとしてくれたこと。

・友達・同級生の理解と配慮について(14件)

交流級で普通級の子が、手伝ってくれたり、教えてくれてスムーズに授業を受けられる。

・子供の小さな成長や頑張りを認めてくれることについて(11件)

できて当たり前と思われるような小さな成長も一緒に喜んでいただけているのがとてもありがたいなと感じています。

・家族・友人(親しい人)の理解と支援について(10件)

親しい友人家族に分け隔てなく接してもらっていることや、子どもの良さを理解してもらえていること。障害の有無に関わらず様々な話ができる友人がいることが何より支えです。

・外出先・店舗・公共施設での配慮について(7件)

スーパーで買い物をしていた時、買い物をする順番のことで子供がかんしゃくをおこした。その時中年の女性が一緒に子供の言う通りにしましように子供と一緒に買い物に付き合ってくれた。

・障害に対する知識・理解を深めてくれることについて(6件)

発達遅延や発達障害に理解を深めてくれた事。

・ヘルプマーク・手帳を通じた支援について(6件)

迷子になった時にヘルプマークに気付いてくれて、すぐ通報してくれたことがとても助かりました。

なお、以下の項目についてもご意見をいただいております。

・割引・無料化制度について(3件)

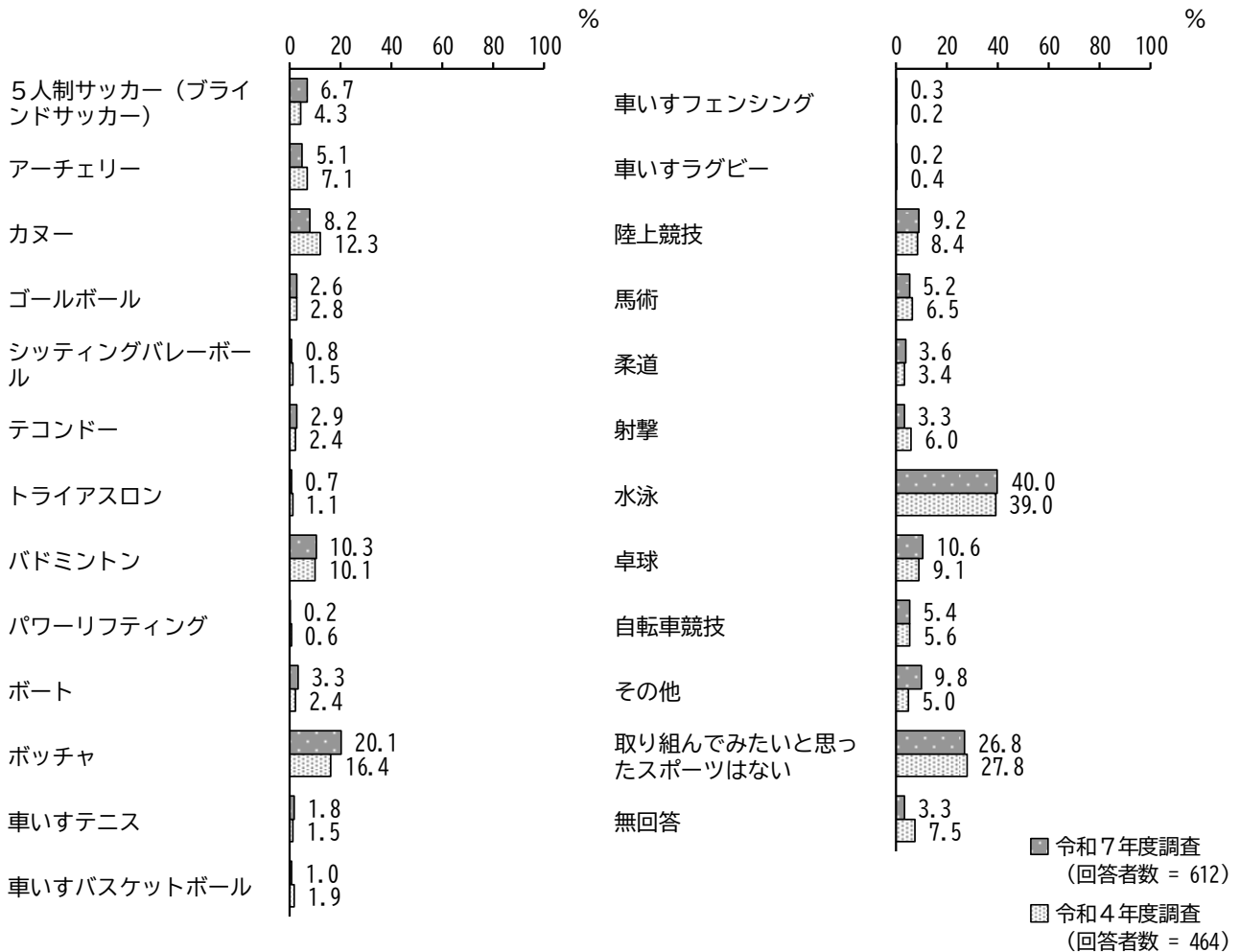
・医療的ケア・緊急時の連携・対応について(2件)

・その他について(8件)

(9) 障害者スポーツについて

問 42 以下のスポーツのうち、お子様が取り組んでみたいと思ったスポーツは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「水泳」の割合が40.0%と最も高く、次いで「ボッチャ」の割合が20.1%、「卓球」の割合が10.6%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、知的障害で「ボッチャ」、精神障害で「卓球」の割合が高くなっています。

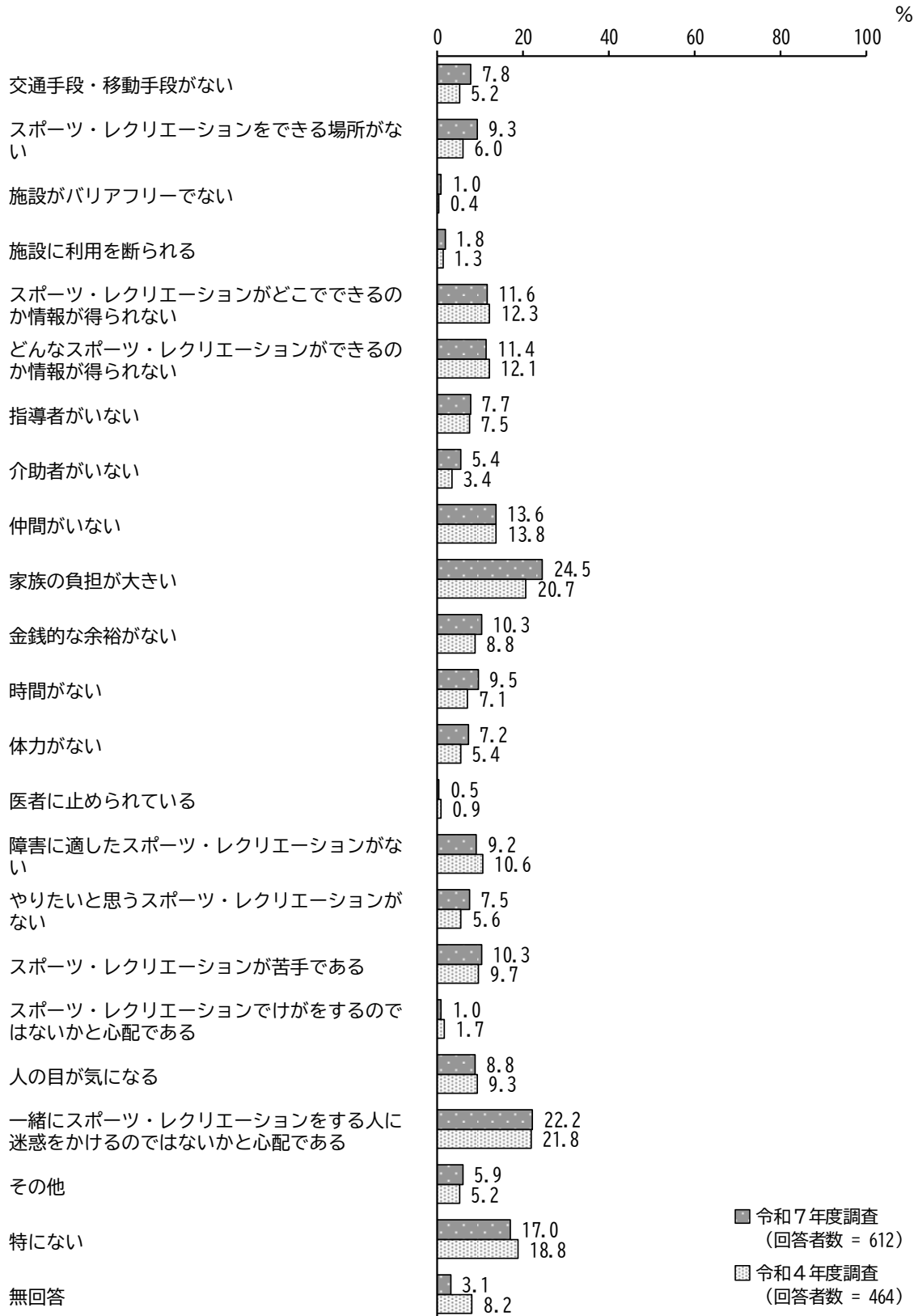
単位：%

区分	回答者数(件)	5人制サッカー(ブラインドサッカー)	アーチェリー	カヌー	ゴールボール	シッティングバレーボール	テコンドー	トライアスロン	バドミントン	パワーリフティング	ボート	ボッチャ	車いすテニス
全体	612	6.7	5.1	8.2	2.6	0.8	2.9	0.7	10.3	0.2	3.3	20.1	1.8
身体障害	58	1.7	1.7	5.2	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	5.2	22.4	1.7
知的障害	216	4.6	3.7	6.9	2.8	0.9	0.9	0.5	10.2	0.5	3.7	30.6	0.9
精神障害	27	3.7	7.4	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	11.1	0.0	0.0	25.9	0.0
難病	38	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	13.2	0.0	0.0	7.9	0.0
発達障害	387	7.0	6.5	10.3	2.6	1.0	3.6	1.0	11.6	0.3	3.6	19.1	1.6
高次脳機能障害	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
重症心身障害	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	0.0
強度行動障害	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0

区分	車いすバスケットボール	車いすフェンシング	車いすラグビー	陸上競技	馬術	柔道	射撃	水泳	卓球	自転車競技	その他	取り組んでみたいと思 ったスポーツはない	無回答
全体	1.0	0.3	0.2	9.2	5.2	3.6	3.3	40.0	10.6	5.4	9.8	26.8	3.3
身体障害	0.0	1.7	0.0	5.2	1.7	1.7	1.7	32.8	6.9	3.4	8.6	34.5	3.4
知的障害	1.4	0.0	0.0	7.9	4.6	2.8	2.3	41.7	8.3	7.4	12.5	23.1	1.9
精神障害	3.7	0.0	0.0	3.7	7.4	3.7	3.7	37.0	22.2	3.7	11.1	29.6	0.0
難病	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	28.9	2.6	0.0	5.3	47.4	5.3
発達障害	0.5	0.3	0.3	10.1	6.2	3.9	3.9	42.4	12.9	6.7	8.8	26.4	2.8
高次脳機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
重症心身障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	46.7	6.7
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0

問 43 お子様、スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていることは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「家族の負担が大きい」の割合が 24.5%と最も高く、次いで「一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である」の割合が 22.2%、「仲間がいない」の割合が 13.6%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「施設がバリアフリーでない」「家族の負担が大きい」「障害に適したスポーツ・レクリエーションがない」「スポーツ・レクリエーションでけがをするのではないかと心配である」、精神障害で「指導者がいない」「一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である」、身体障害、知的障害、難病、重症心身障害で「介助者がいない」、精神障害、難病で「体力がない」、難病で「医者に止められている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	交通手段・移動手段がない	スポーツ・レクリエーションのできる場所がない	施設がバリアフリーでない	施設に利用を断られる	スポーツ・レクリエーションがどこでもできるのか情報が得られない	どんなスポーツ・レクリエーションが得られないのか情報が得られない	指導者がいない
全体	612	7.8	9.3	1.0	1.8	11.6	11.4	7.7
身体障害	58	8.6	8.6	3.4	3.4	12.1	13.8	3.4
知的障害	216	8.8	10.6	0.5	3.7	13.4	13.4	11.6
精神障害	27	7.4	3.7	0.0	0.0	3.7	7.4	14.8
難病	38	5.3	2.6	0.0	2.6	7.9	7.9	0.0
発達障害	387	7.8	8.8	0.8	2.1	10.9	10.1	7.8
高次脳機能障害	4	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
重症心身障害	15	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0
強度行動障害	5	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

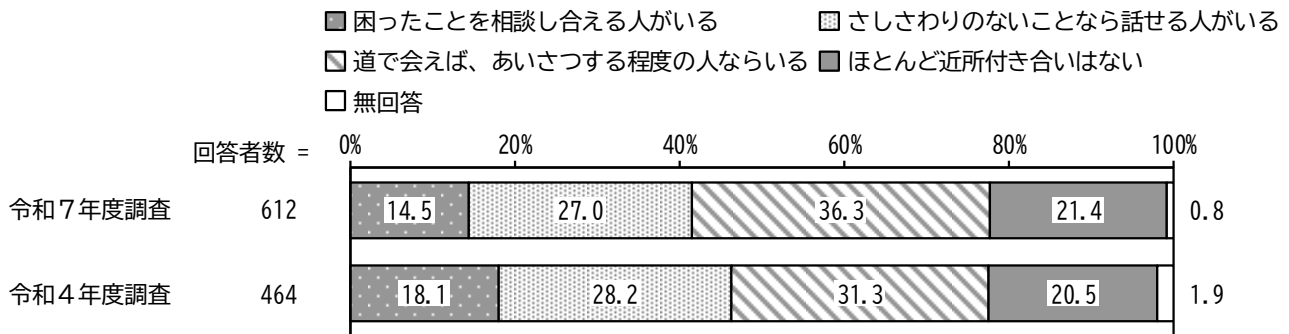
区分	介助者がいない	仲間がいない	家族の負担が大きい	金銭的な余裕がない	時間がない	体力がない	医者に止められている	障害に適したスポーツ・レクリエーションがない
全体	5.4	13.6	24.5	10.3	9.5	7.2	0.5	9.2
身体障害	12.1	3.4	32.8	3.4	3.4	5.2	1.7	22.4
知的障害	12.0	15.3	31.5	6.0	5.6	6.5	0.5	18.1
精神障害	7.4	18.5	22.2	11.1	7.4	18.5	0.0	22.2
難病	13.2	5.3	23.7	0.0	5.3	15.8	7.9	18.4
発達障害	3.9	14.2	25.6	12.1	10.9	8.5	0.3	7.0
高次脳機能障害	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	13.3	0.0	46.7	0.0	0.0	13.3	0.0	33.3
強度行動障害	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

区分	やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	スポーツ・レクリエーションが苦手である	スポーツ・レクリエーションでけがをするのではないかと心配である	人の目が気になる	一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である	その他	特になし	無回答
全体	7.5	10.3	1.0	8.8	22.2	5.9	17.0	3.1
身体障害	1.7	5.2	3.4	8.6	19.0	8.6	19.0	1.7
知的障害	10.2	8.3	0.5	12.0	22.7	7.4	8.8	2.3
精神障害	11.1	11.1	3.7	11.1	29.6	3.7	11.1	3.7
難病	7.9	7.9	5.3	7.9	23.7	5.3	21.1	2.6
発達障害	7.5	12.4	1.0	9.0	22.2	5.2	16.5	3.1
高次脳機能障害	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	0.0	0.0	6.7	13.3	13.3	6.7	20.0	6.7
強度行動障害	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0

(10) 共生社会について

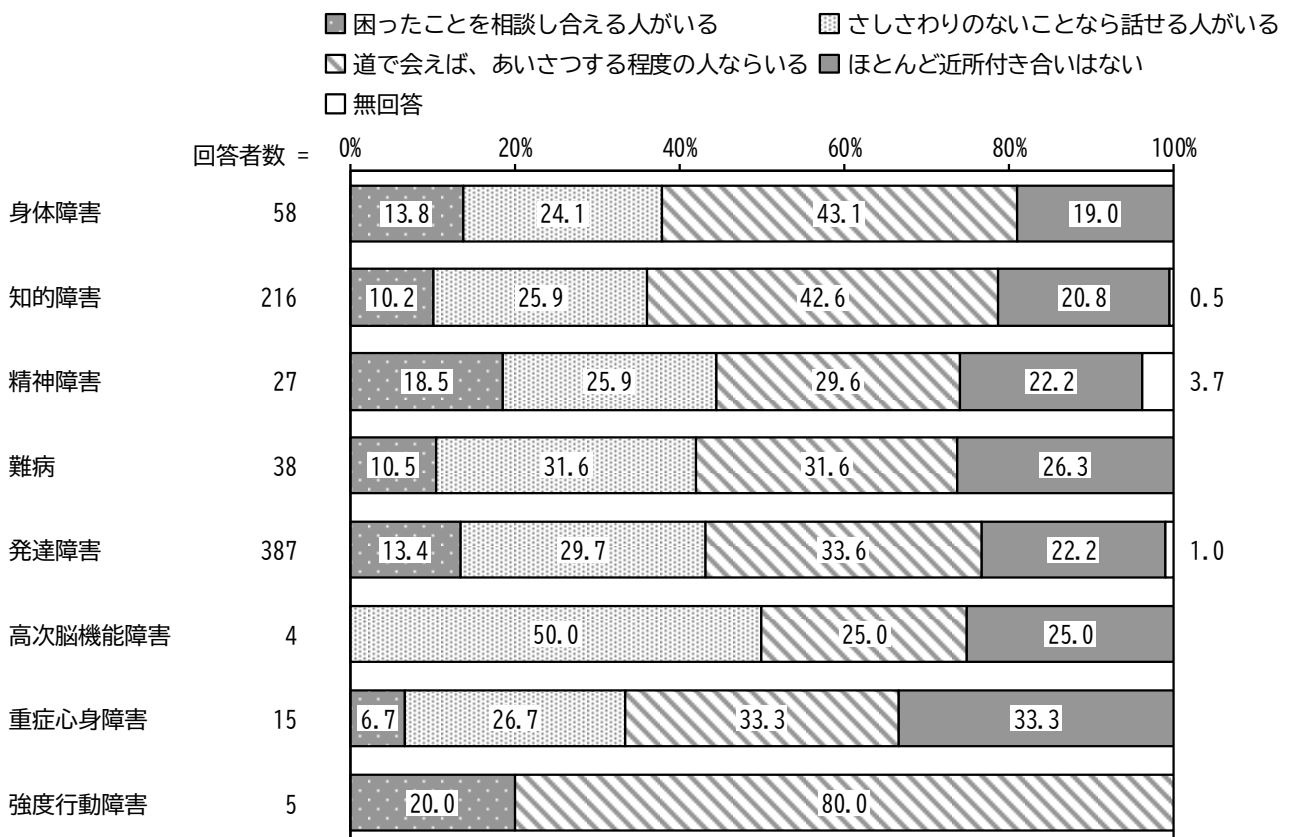
問 44 ご家庭とご近所とのお付き合いは、どの程度ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「道で会えば、あいさつする程度の人ならいる」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「さしさわりのないことなら話せる人がいる」の割合が 27.0%、「ほとんど近所付き合いはない」の割合が 21.4%となっています。



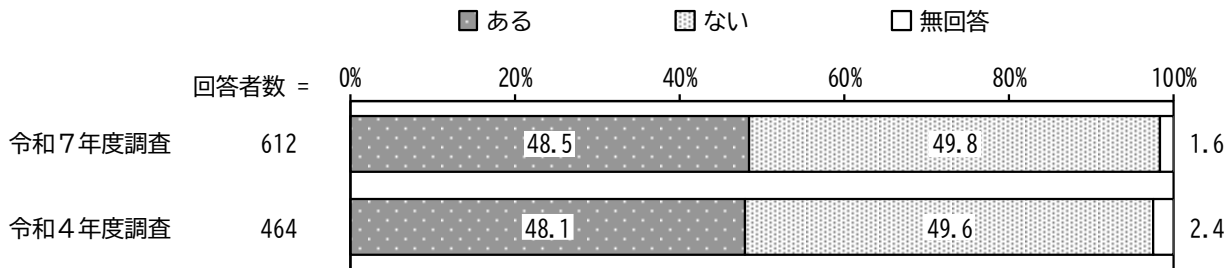
【障害種別】

障害種別にみると、身体障害、知的障害で「道で会えば、あいさつする程度の人ならいる」、重症心身障害で「ほとんど近所付き合いはない」の割合が高くなっています。



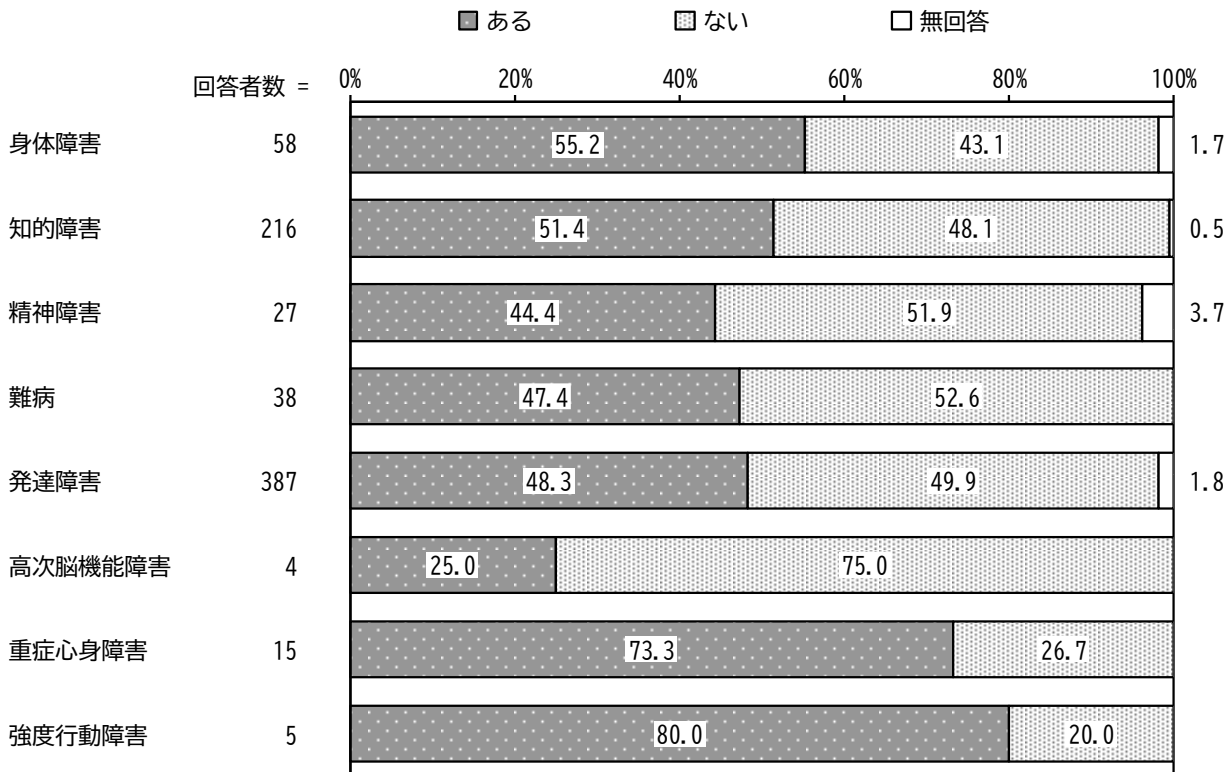
問 45 お子様と外出して困ったとき、知らない方から手助けや配慮をもらった経験がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ある」の割合が48.5%、「ない」の割合が49.8%となっています。



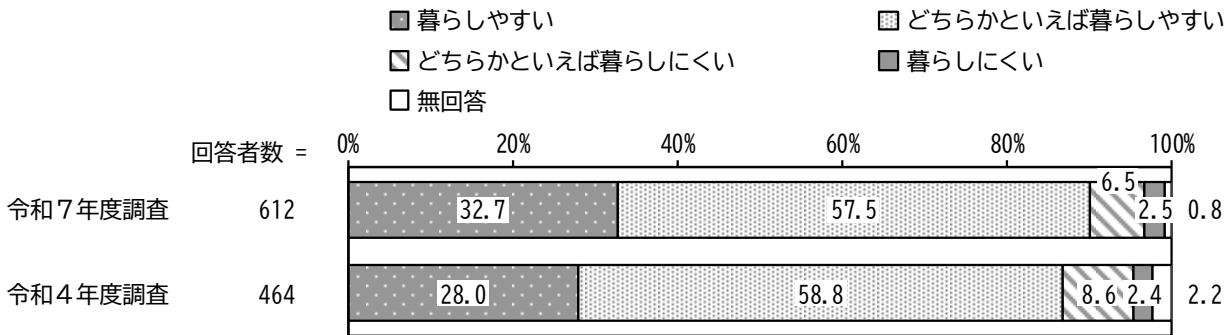
【障害種別】

障害種別に見ると、重症心身障害で「ある」の割合が高くなっています。



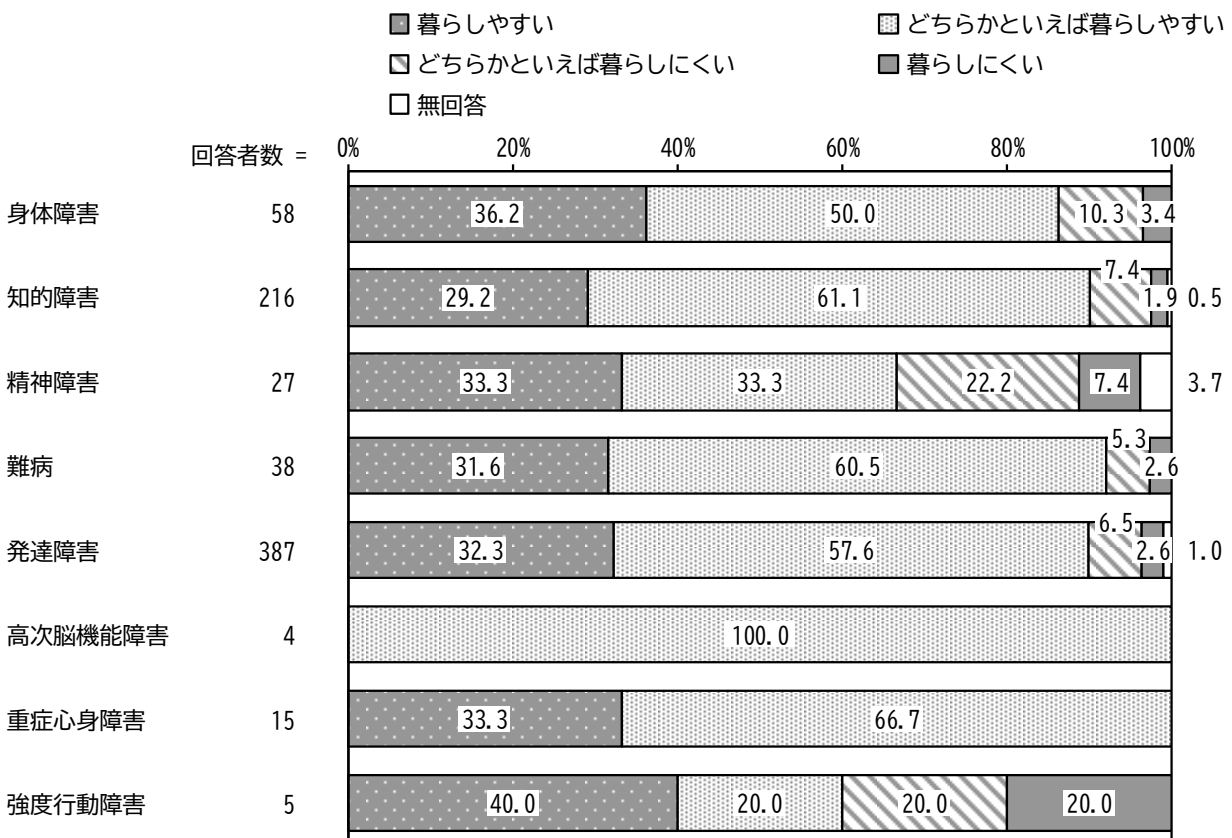
問 46 あなたにとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「暮らしやすい」の割合が 32.7%となっています。



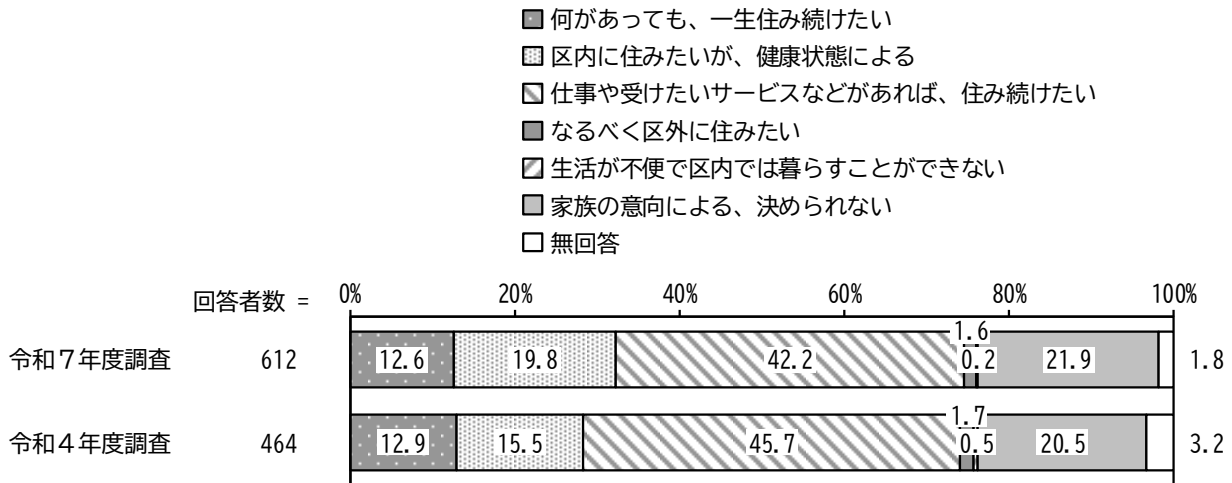
【障害種別】

障害種別に見ると、精神障害で「どちらかといえば暮らしにくい」の割合が高く、「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が低くなっています。



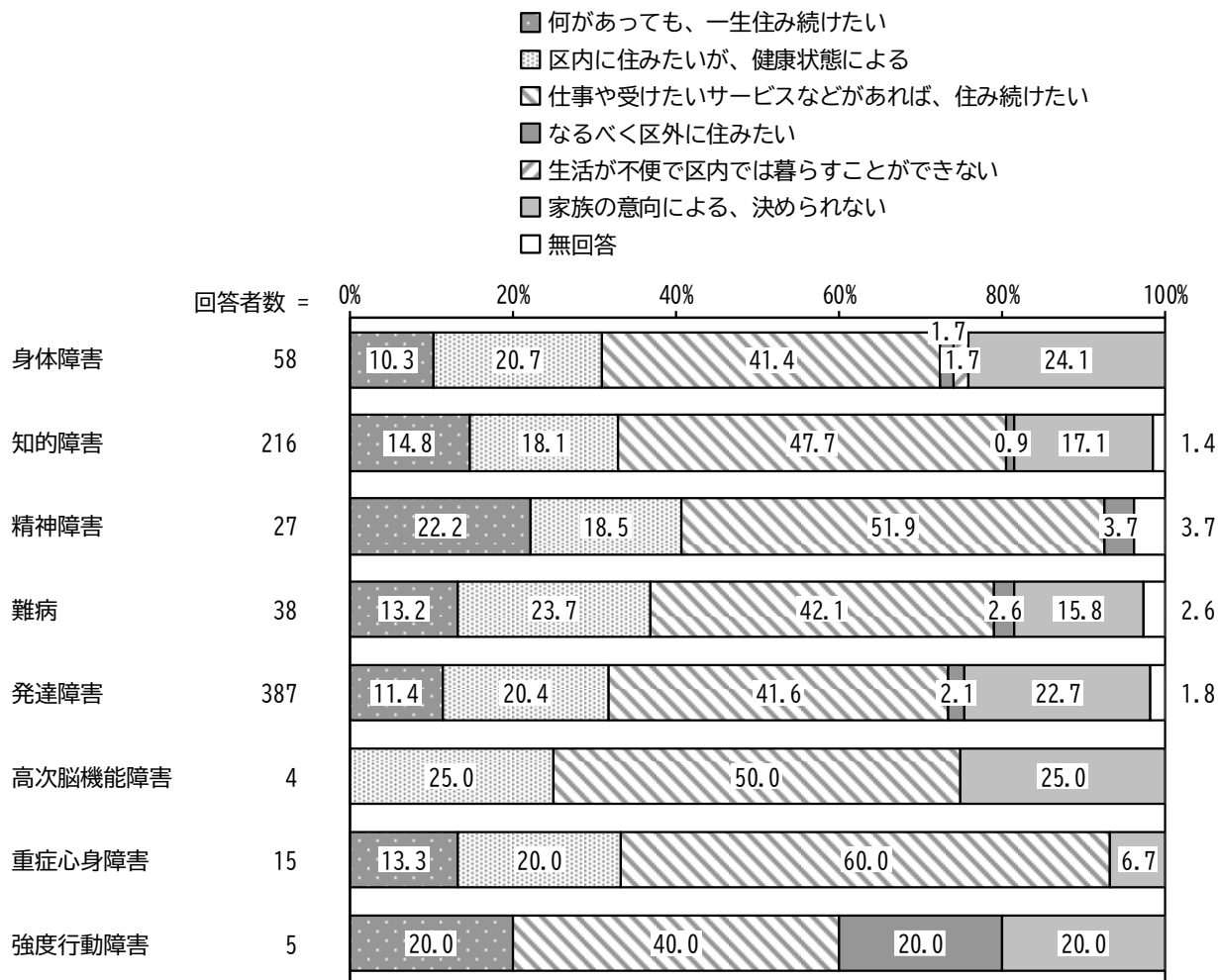
問 47 あなたは、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「家族の意向による、決められない」の割合が 21.9%、「区内に住みたいが、健康状態による」の割合が 19.8%となっています。



【障害種別】

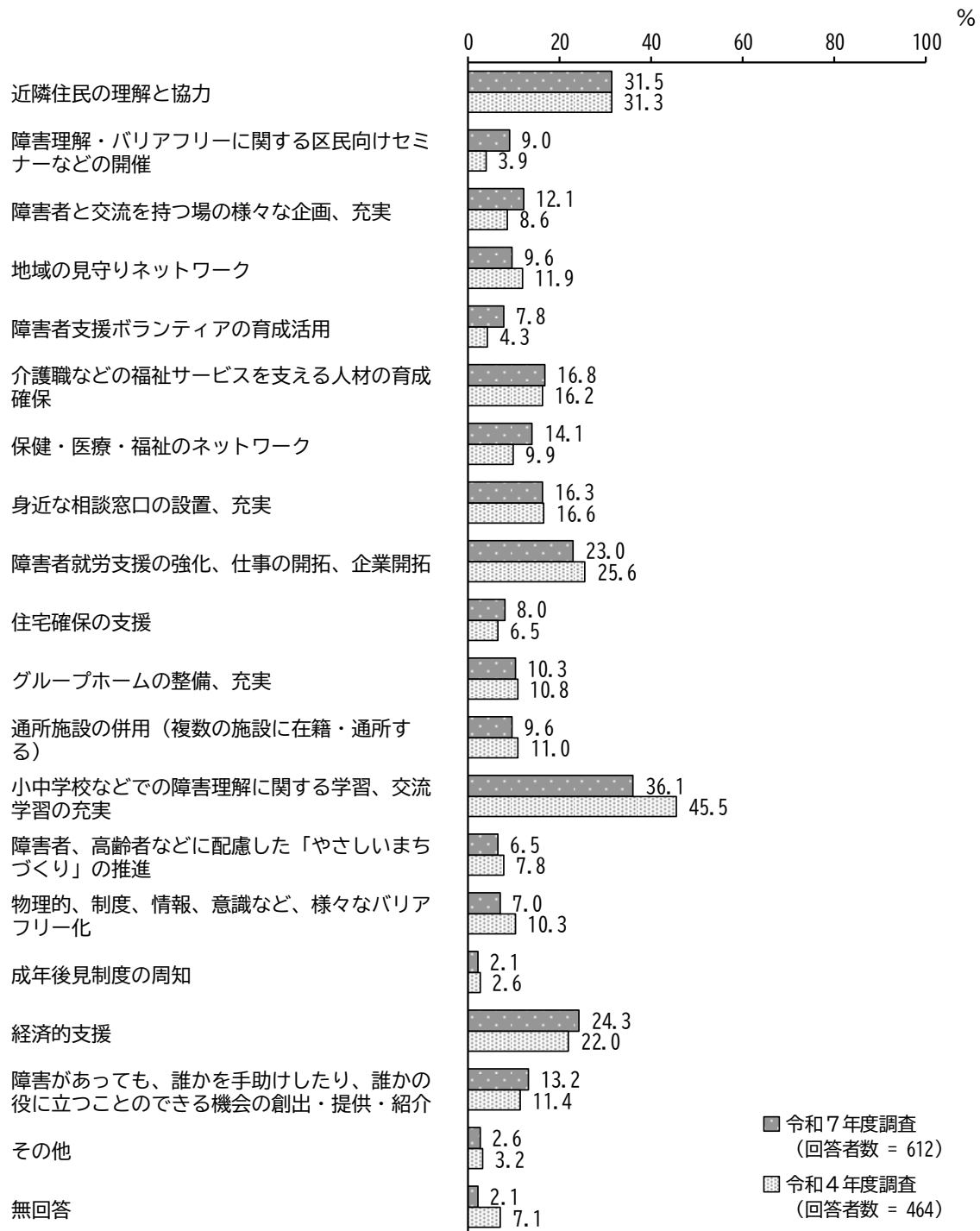
障害種別にみると、精神障害で「何があっても、一生住み続けたい」、重症心身障害で「仕事や受けたサービスなどがあれば、住み続けたい」の割合が高くなっています。



問 48 障害のある人もない人も、共に生活できる地域社会の実現のためにはどのようなことが大切だと考えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「小中学校などでの障害理解に関する学習、交流学習の充実」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「近隣住民の理解と協力」の割合が 31.5%、「経済的支援」の割合が 24.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「障害理解・バリアフリーに関する区民向けセミナーなどの開催」の割合が増加しています。一方、「小中学校などでの障害理解に関する学習、交流学習の充実」の割合が減少しています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「介護職などの福祉サービスを支える人材の育成確保」「通所施設の併用（複数の施設に在籍・通所する）」「障害者、高齢者などに配慮した「やさしいまちづくり」の推進」「経済的支援」、知的障害で「グループホームの整備、充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	近隣住民の理解と協力	障害理解・バリアフリーに関する区民向けセミナーなどの開催	障害者と交流を持つ場の様々な企画、充実	地域の見守りネットワーク	障害者支援ボランティアの育成活用	介護職などの福祉サービスを支える人材の育成確保
全体	612	31.5	9.0	12.1	9.6	7.8	16.8
身体障害	58	27.6	6.9	6.9	3.4	8.6	25.9
知的障害	216	27.8	10.2	13.9	5.6	10.6	22.7
精神障害	27	25.9	0.0	14.8	11.1	3.7	29.6
難病	38	15.8	2.6	7.9	10.5	2.6	34.2
発達障害	387	33.6	10.3	12.4	12.7	6.5	14.2
高次脳機能障害	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
重症心身障害	15	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	40.0
強度行動障害	5	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0

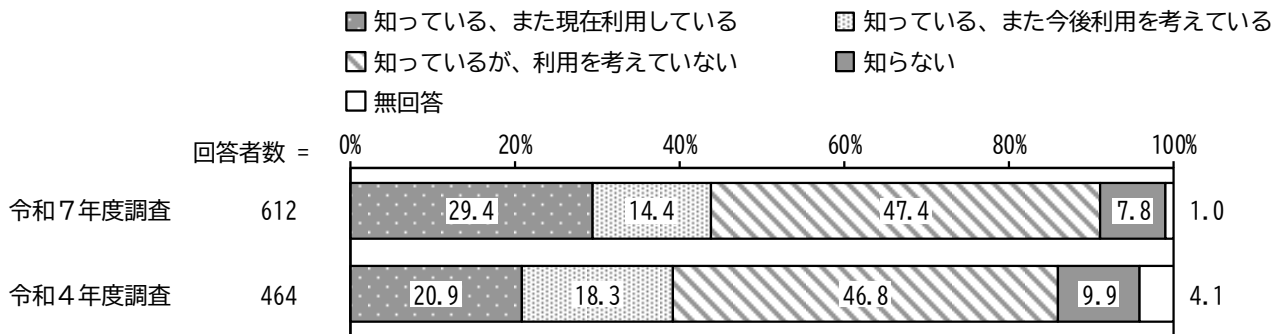
区分	保健・医療・福祉のネットワーク	身近な相談窓口の設置、充実	障害者就業支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	住宅確保の支援	グループホームの整備、充実	通所施設の併用（複数の施設に在籍・通所する）	小中学校などでの障害理解に関する学習、交流学習の充実
全体	14.1	16.3	23.0	8.0	10.3	9.6	36.1
身体障害	19.0	15.5	10.3	10.3	17.2	12.1	20.7
知的障害	9.7	10.2	32.9	10.2	24.5	10.2	24.5
精神障害	11.1	18.5	18.5	7.4	18.5	14.8	33.3
難病	21.1	13.2	15.8	5.3	15.8	13.2	21.1
発達障害	14.2	18.3	20.7	6.5	6.2	10.6	42.6
高次脳機能障害	25.0	50.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0
重症心身障害	13.3	6.7	6.7	13.3	20.0	20.0	6.7
強度行動障害	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0

区分	障害者、高齢者などに配慮した「やさしいまちづくり」の推進	物理的、制度的、情報、意識など、様々なバリアフリー化	成年後見制度の周知	経済的支援	障害があっても、誰かを手助けしたり、誰かの役に立つことのできる機会の創出・提供・紹介	その他	無回答
全体	6.5	7.0	2.1	24.3	13.2	2.6	2.1
身体障害	15.5	12.1	3.4	27.6	15.5	3.4	5.2
知的障害	9.3	4.6	3.2	29.2	11.6	2.8	2.3
精神障害	3.7	3.7	7.4	25.9	14.8	7.4	0.0
難病	10.5	10.5	2.6	26.3	18.4	2.6	5.3
発達障害	5.9	6.5	2.1	23.5	13.2	3.6	1.3
高次脳機能障害	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	33.3	0.0	6.7	40.0	6.7	0.0	13.3
強度行動障害	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0

問 49 ヘルプマークを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

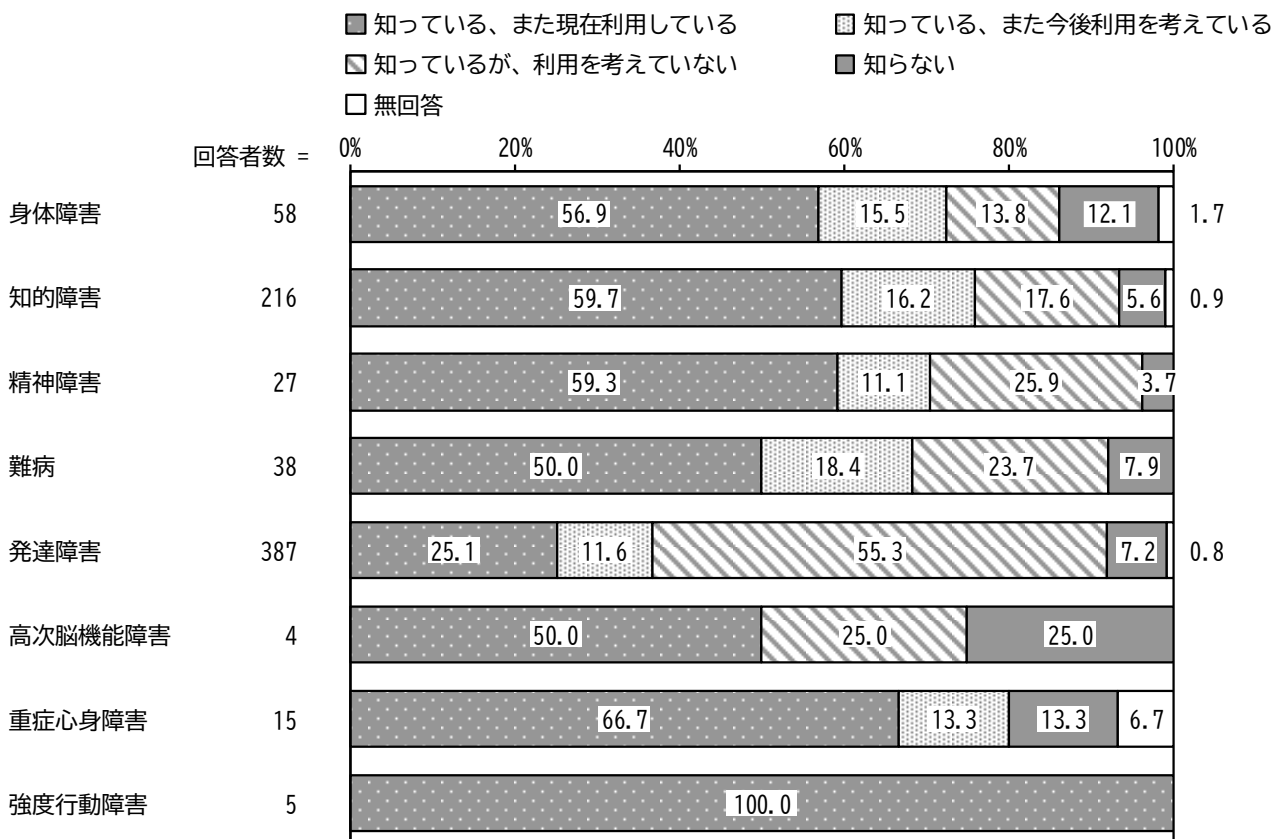
「知っているが、利用を考えていない」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「知っている、また現在利用している」の割合が 29.4%、「知っている、また今後利用を考えている」の割合が 14.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っている、また現在利用している」の割合が増加しています。



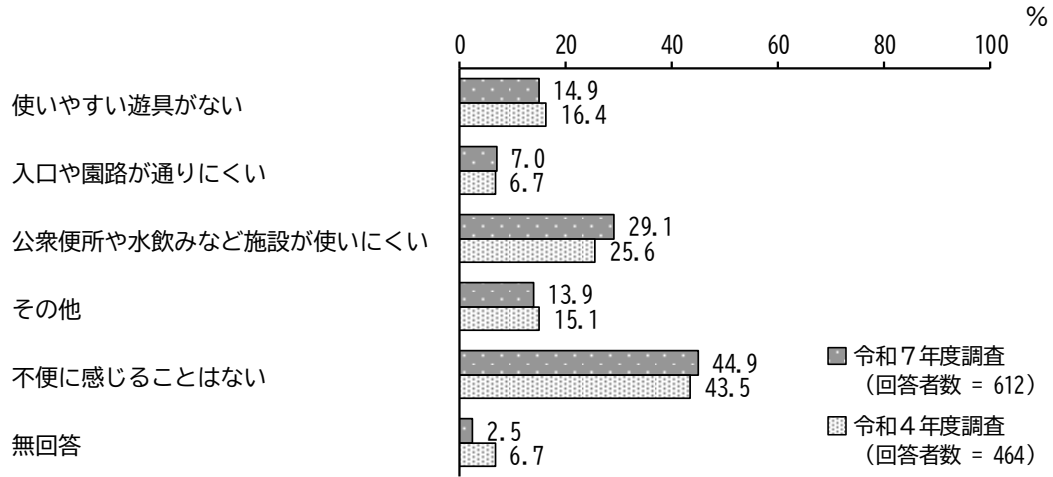
【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「知っている、また現在利用している」「知らない」、発達障害で「知っているが、利用を考えていない」の割合が高くなっています。



問 50 あなたが公園で不便に感じていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「使いやすい遊具がない」の割合が14.9%、「入口や園路が通りにくい」の割合が7.0%、「公衆便所や水飲みなど施設が使いにくい」の割合が29.1%となっています。



【障害種別】

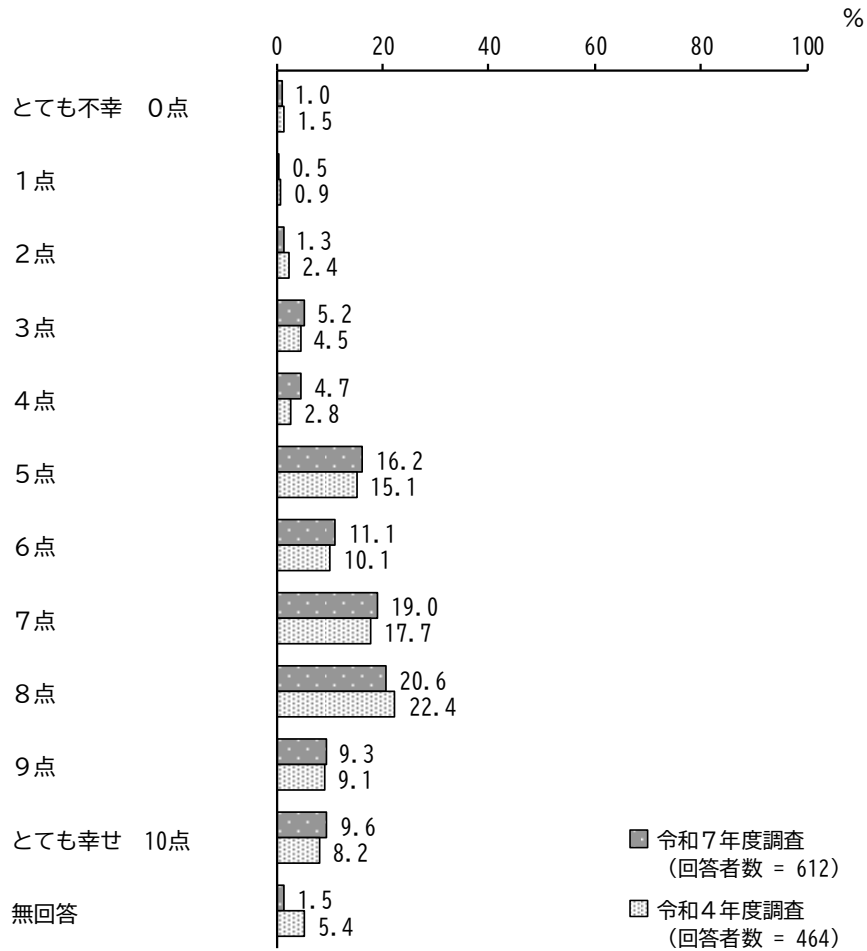
障害種別にみると、身体障害、重症心身障害で「使いやすい遊具がない」、重症心身障害で「入口や園路が通りにくい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	使いやすい遊具がない	入口や園路が通りにくい	公衆便所や水飲みなど施設が使いにくい	その他	不便に感じることはない	無回答
全体	612	14.9	7.0	29.1	13.9	44.9	2.5
身体障害	58	25.9	27.6	24.1	13.8	34.5	3.4
知的障害	216	17.1	8.3	26.4	13.9	42.1	2.8
精神障害	27	14.8	7.4	25.9	18.5	44.4	3.7
難病	38	18.4	21.1	23.7	15.8	36.8	2.6
発達障害	387	15.0	5.2	28.9	14.0	46.3	2.8
高次脳機能障害	4	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0
重症心身障害	15	26.7	40.0	26.7	6.7	26.7	13.3
強度行動障害	5	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0

問 51 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、0点から10点までのいずれか1つに○をつけてください。

「8点」の割合が20.6%と最も高く、次いで「7点」の割合が19.0%、「5点」の割合が16.2%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、精神障害、重症心身障害で「とても不幸 0点」、精神障害で「3点」、精神障害、難病で「4点」、重症心身障害で「5点」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても不幸 0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	とても幸せ 10点	無回答
全体	612	1.0	0.5	1.3	5.2	4.7	16.2	11.1	19.0	20.6	9.3	9.6	1.5
身体障害	58	1.7	0.0	0.0	5.2	5.2	19.0	13.8	15.5	15.5	8.6	13.8	1.7
知的障害	216	1.4	0.5	2.3	4.6	6.5	16.2	13.9	20.4	18.1	6.9	7.9	1.4
精神障害	27	7.4	0.0	0.0	14.8	11.1	18.5	11.1	18.5	7.4	0.0	3.7	7.4
難病	38	0.0	0.0	0.0	2.6	13.2	23.7	7.9	15.8	18.4	7.9	7.9	2.6
発達障害	387	1.6	0.8	1.0	5.7	4.1	15.2	10.9	18.6	22.5	10.3	7.8	1.6
高次脳機能障害	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	13.3	13.3	13.3	0.0	13.3	6.7
強度行動障害	5	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 52 江東区の障害者施策について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

・学校教育・支援学級・特別支援学校について(48件)

江東区の小学校（すべて）に支援級をつくってほしい。

・放課後等デイサービス・児童発達支援について(47件)

わが家はグレーといわれており、逆に放課後デイサービスを見学に行っても、軽度だからあわないと言われました。今行っているところも、4年生までしか利用できず、小5～が不安です。

・経済的支援・所得制限・手当について(36件)

サービス利用時の上限負担金の見直しをお願いしたいです（所得により上限額がちがうのは理解できるが、負担額の差が大きすぎるように思います）。所得が多い世帯も家族に障害者がいると、就労に不安を抱えていたり片親だけに負担がかかっていたりします。

・情報提供・相談支援体制について(33件)

相談したい事があっても、相談先が分からなかったり、相談しても不安や不満が残る事がありました。困っている気持ちを汲んでほしいです。

・障害児の家族・保護者の負担軽減について(25件)

療育や相談所へ行くにしても親の付き添いや送迎の負担が大きいため、シッターの支援などを延長させてほしい。

・移動支援・ヘルパー・送迎サービスについて(22件)

小中学校健常児との交流。学習支援、登校支援、学童保育、一時預かり、宿泊支援、障害児、きょうだい児への支援

・療育・早期発見・発達支援について(22件)

支援を受けたい子供の数が多すぎて発達グレーや情緒不安で知的障がいを持たない子供の支援は後回しになっているように感じる。

・社会の障害理解・インクルーシブについて(21件)

周囲への理解ばかり求めているようで申し訳ないのですが、親としてはそんな事ばかり考えてしまいます。

・青年期・成人期以降の支援拡充について(21件)

現在、乳児から通っている療育施設にお世話になっていますが、カバーできるのが小学生までのため、中学生になると支援が途切れてしまいます。思春期に入り、人間関係も複雑になり求められる社会スキルが上がることに不安を感じています。身体的な障害のない、障害の軽い児童が中学生からも利用できる施設が区内にできると嬉しいです。

・障害者施策全般・制度の改善について(19件)

障害者手帳をデジタルにしてほしい。手帳がボロボロです

・施設の質・職員の待遇改善について(16件)

働いて下さっている方々が満足いく待遇が得られて、ギリギリの人数でない余裕のある環境であることを願います。

・入所施設・グループホームについて(15件)

学校教育は充実しているが、卒業後の人生は長いのに入所、通所施設は不足している。大人対象の施策に工夫がほしい。

・余暇活動・スポーツ・遊び場について(14件)

障害者の健康のためのスポーツ教室の開催日数も種類も少ないです。江戸川区と葛飾区の障害者スポーツ教室を、毎月活用させてもらっています。

・バリアフリー・インフラ整備・住環境について(12件)

車いす利用者のための縁石と段差の整備。

・将来の不安・親亡き後の生活について(10件)

高校を卒業してからのことが心配です。グループホームには入所できるのか？親がいなくなったら区は助けてくれるのか？今は中学生なので心配なことはあまりありませんが、息子が大人になっても幸せに暮らせる社会であってほしいとただただ願っております。

・医療体制・リハビリ・医療的ケアについて(10件)

重度の医療的ケアに対応出来る通所、入所施設の拡充をお願いしたい

・一時預かり・短期入所（ショートステイ）について(10件)

障害者に関わらず、子どもの預け先がキッズクラブ以外にあまりない。ファミリーサポートは相手の都合による。仕事が夜まである時は宿泊しかない。トワイライトがほしい。

・就労支援・作業所・生活介護について(7件)

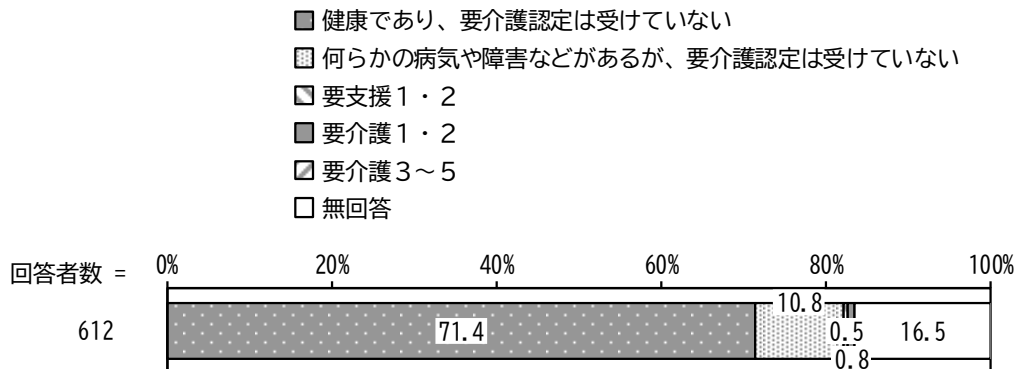
今後は就労支援（B型）に通所予定だが、自宅近辺で作業所がないので困っている。（臨海地区）

その他について(4件)

(11) 介護者について

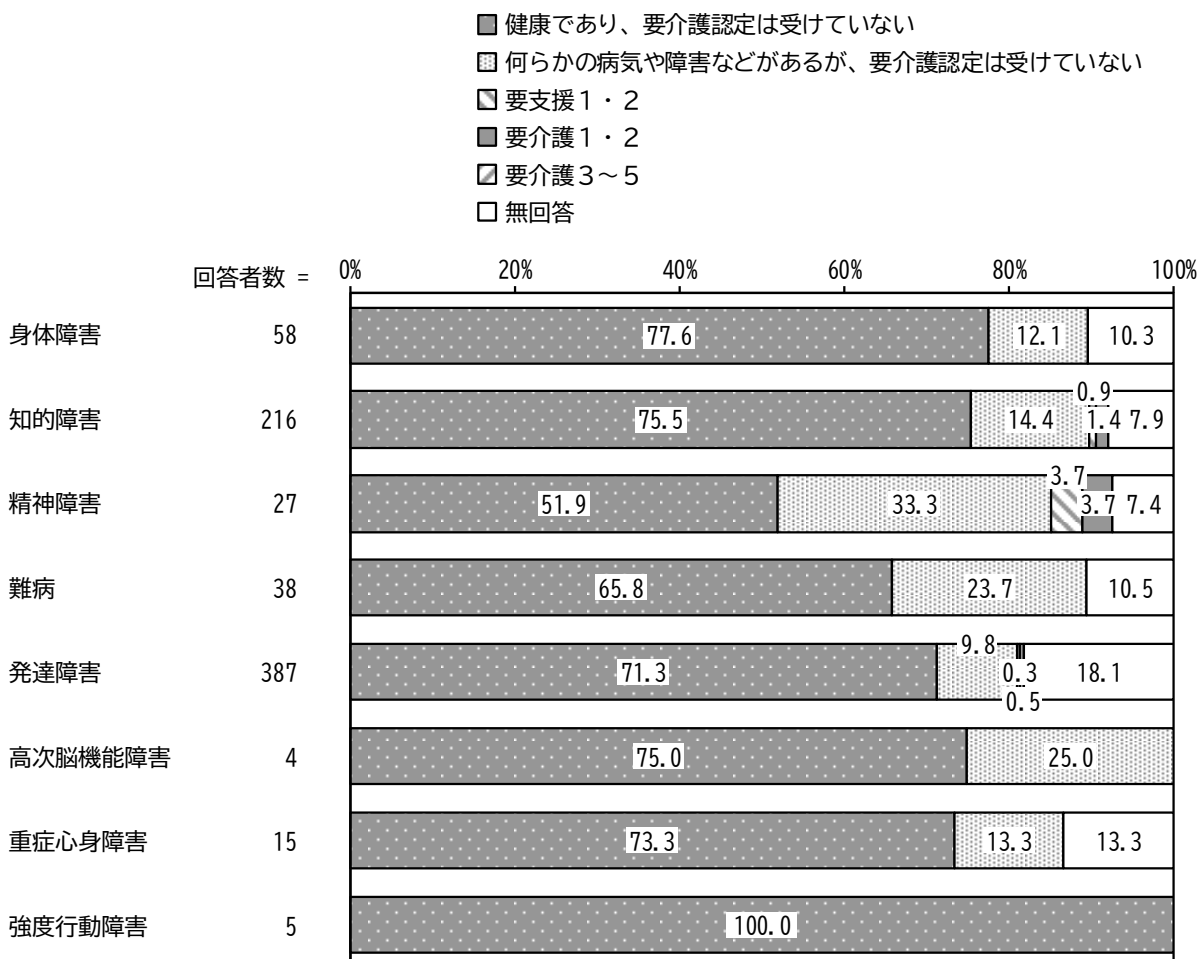
問 53 主な介護者の方は要介護認定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「健康であり、要介護認定は受けていない」の割合が71.4%と最も高く、次いで「何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない」の割合が10.8%となっています。



【障害種別】

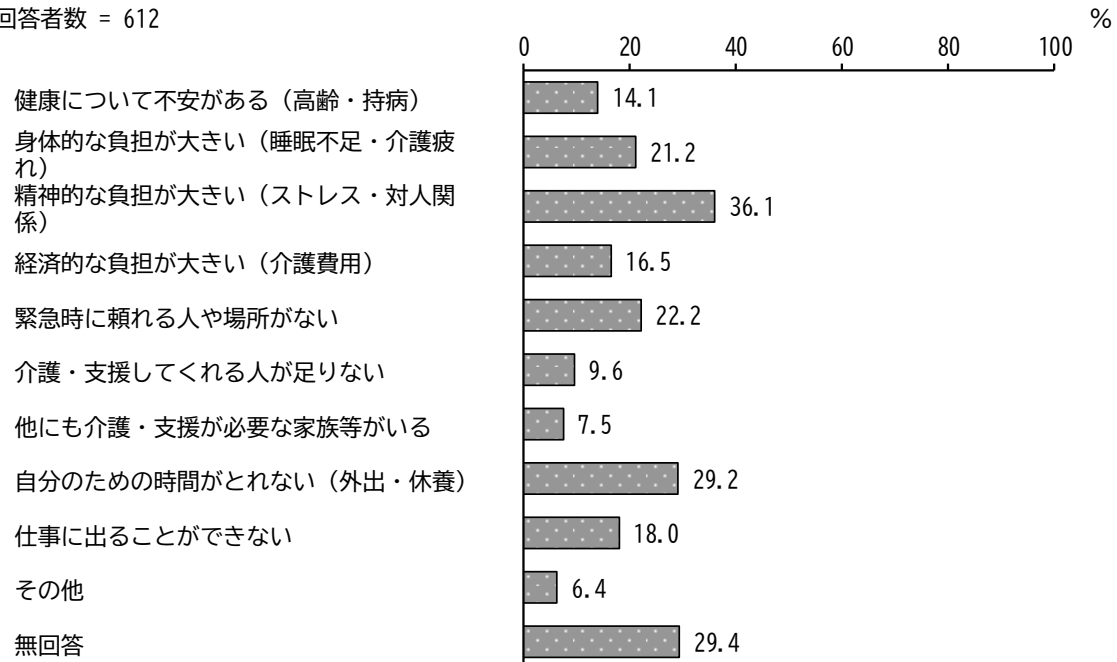
障害種別にみると、身体障害で「健康であり、要介護認定は受けていない」、精神障害で「何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない」の割合が高くなっています。



問 54 介護をするにあたり、どのような悩みや不安がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「精神的な負担が大きい（ストレス・対人関係）」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「自分のための時間がとれない（外出・休養）」の割合が 29.2%、「緊急時に頼れる人や場所がない」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 612



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「健康について不安がある（高齢・持病）」「身体的な負担が大きい（睡眠不足・介護疲れ）」「経済的な負担が大きい（介護費用）」「緊急時に頼れる人や場所がない」「介護・支援してくれる人が足りない」「自分のための時間がとれない（外出・休養）」「仕事に出ることができない」、精神障害で「精神的な負担が大きい（ストレス・対人関係）」「他にも介護・支援が必要な家族等がいる」の割合が高くなっています。

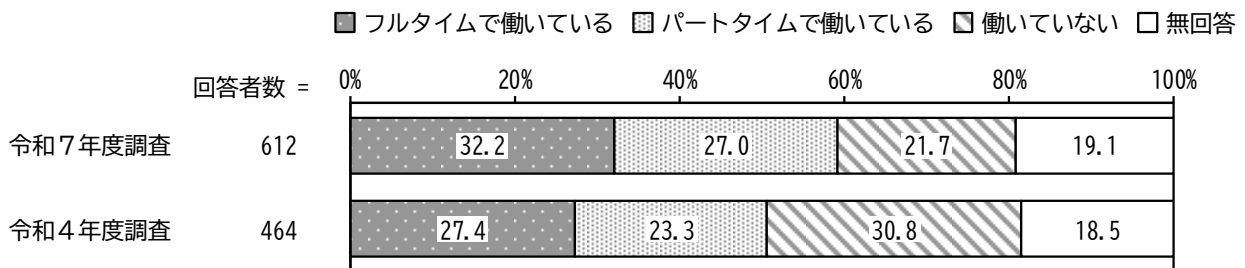
単位：%

区分	回答者数（件）	健康について不安がある（高齢・持病）	身体的な負担が大きい（睡眠不足・介護疲れ）	精神的な負担が大きい（ストレス・対人関係）	経済的な負担が大きい（介護費用）	緊急時に頼れる人や場所がない	介護・支援してくれる人が足りない	他にも介護・支援が必要な家族等がいる	自分のための時間がとれない（外出・休養）	仕事に出ることができない	その他	無回答
全体	612	14.1	21.2	36.1	16.5	22.2	9.6	7.5	29.2	18.0	6.4	29.4
身体障害	58	29.3	48.3	36.2	29.3	43.1	20.7	8.6	43.1	27.6	5.2	15.5
知的障害	216	21.3	33.3	43.1	21.8	35.6	18.1	11.6	40.3	25.9	3.2	14.4
精神障害	27	25.9	37.0	63.0	29.6	51.9	22.2	29.6	29.6	33.3	3.7	11.1
難病	38	28.9	42.1	44.7	18.4	42.1	21.1	15.8	47.4	31.6	2.6	15.8
発達障害	387	10.6	18.3	39.5	15.2	17.6	7.0	5.9	26.1	17.3	7.2	32.0
高次脳機能障害	4	0.0	75.0	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	33.3	80.0	53.3	40.0	66.7	40.0	20.0	60.0	40.0	0.0	6.7
強度行動障害	5	20.0	60.0	80.0	20.0	60.0	40.0	60.0	60.0	40.0	0.0	0.0

問 55 主な介護者の方の現在の勤務形態は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

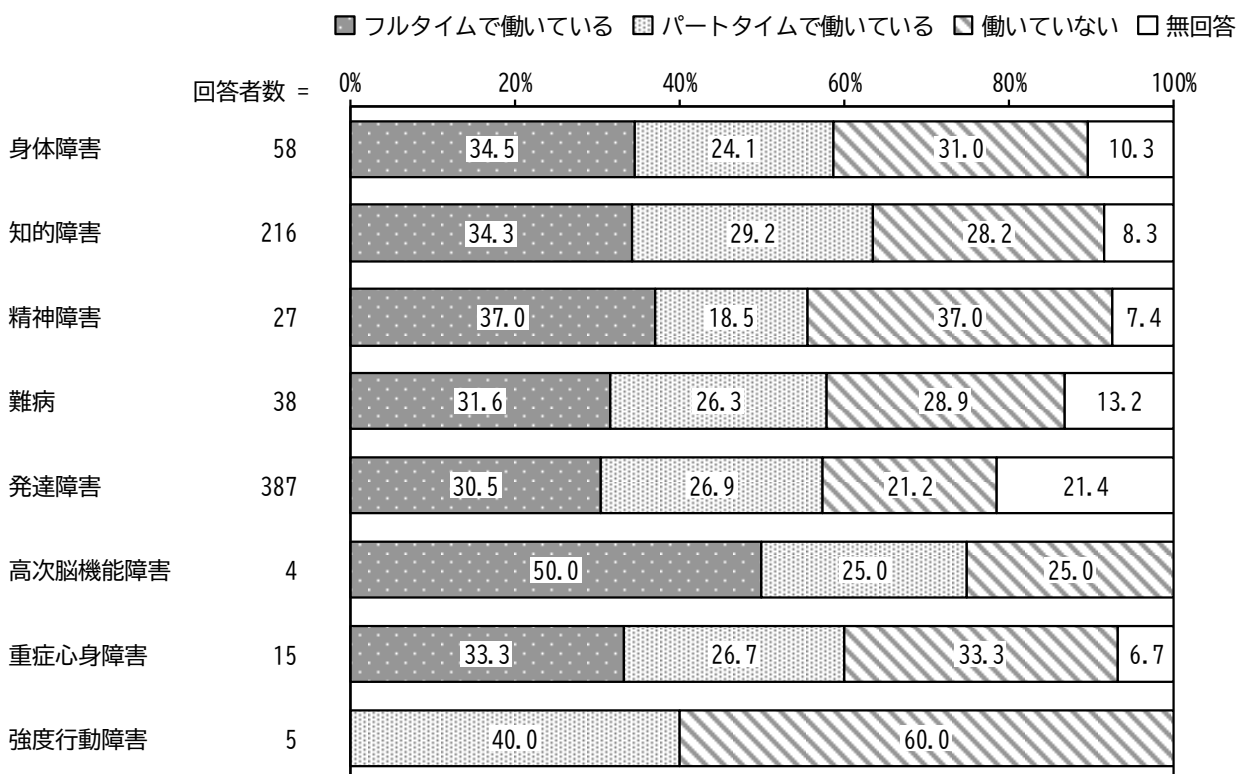
「フルタイムで働いている」の割合が32.2%、「パートタイムで働いている」の割合が27.0%、「働いていない」の割合が21.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「働いていない」の割合が減少しています。



【障害種別】

障害種別にみると、精神障害で「働いていない」の割合が高くなっています。

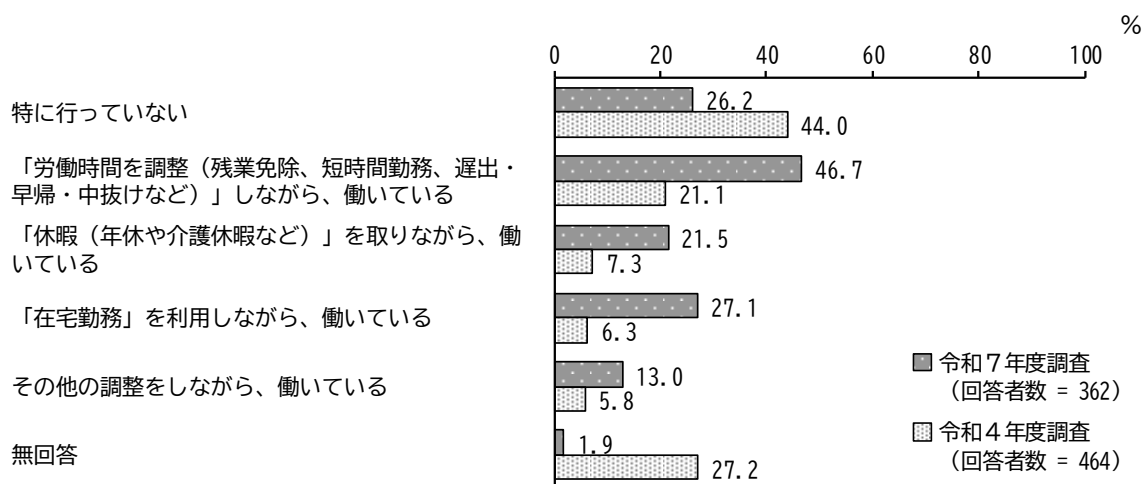


問 55 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」に○をつけた方にかがいます。

問 55-1 主な介護者の方は、介護にあたって、働き方についての調整などを行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「在宅勤務」を利用しながら、働いている」の割合が 27.1%、「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」の割合が 21.5%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」「在宅勤務」を利用しながら、働いている」「その他の調整をしながら、働いている」の割合が増加しています。



【障害種別】

障害種別にみると、難病で「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」、身体障害、難病で「在宅勤務」を利用しながら、働いている」、身体障害で「その他の調整をしながら、働いている」の割合が高くなっています。

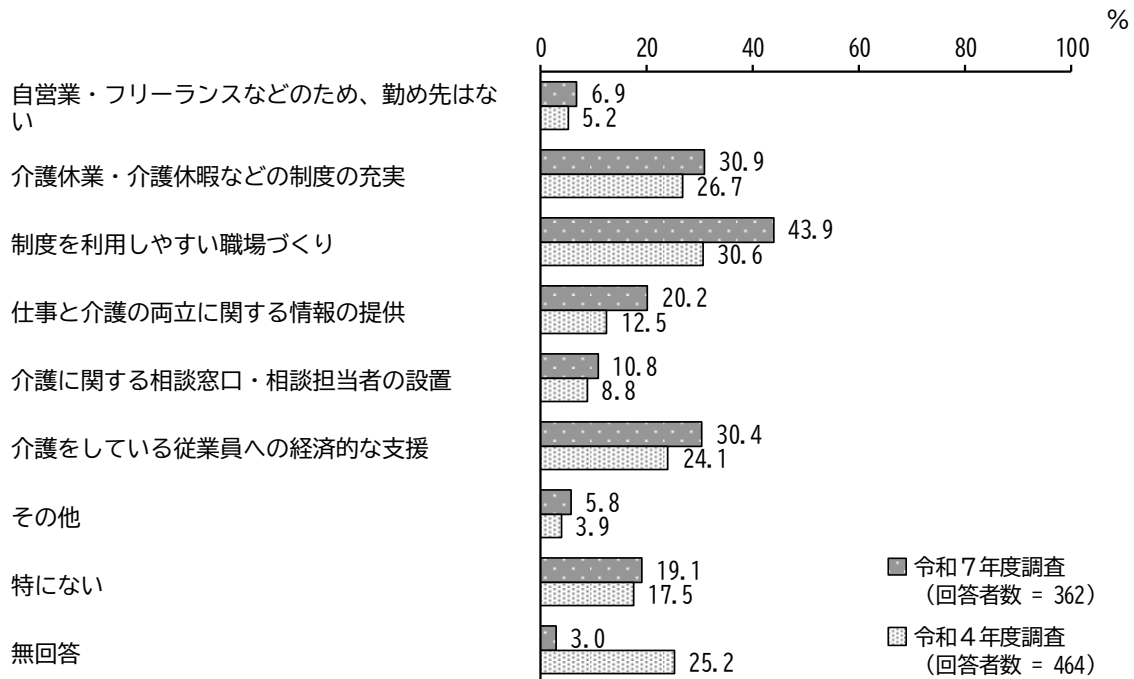
単位：%

区分	回答者数 (件)	特に行ってない	「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている	「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている	「在宅勤務」を利用しながら、働いている	その他の調整をしながら、働いている	無回答
全 体	362	26.2	46.7	21.5	27.1	13.0	1.9
身体障害	34	11.8	55.9	32.4	38.2	29.4	0.0
知的障害	137	19.7	52.6	29.9	32.1	15.3	0.0
精神障害	15	20.0	53.3	33.3	33.3	13.3	0.0
難病	22	18.2	54.5	40.9	40.9	22.7	0.0
発達障害	222	27.5	47.3	19.8	24.8	10.8	2.7
高次脳機能障害	3	0.0	100.0	66.7	66.7	66.7	0.0
重症心身障害	9	0.0	55.6	55.6	66.7	44.4	0.0
強度行動障害	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 55-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇などの制度の充実」の割合が 30.9%、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が 30.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「制度を利用しやすい職場づくり」「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が増加しています。



【障害種別】

障害種別にみると、難病で「介護休業・介護休暇などの制度の充実」「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」、精神障害で「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高くなっています。

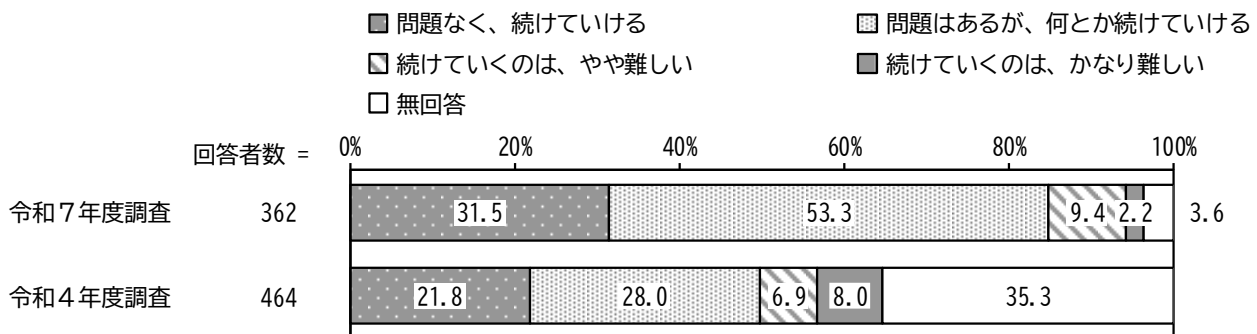
単位：%

区分	回答者数(件)	自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない	介護休業・介護休暇などの制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	無回答
全体	362	6.9	30.9	43.9	20.2	10.8	30.4	5.8	19.1	3.0
身体障害	34	11.8	41.2	38.2	20.6	11.8	35.3	5.9	23.5	0.0
知的障害	137	5.8	35.8	49.6	21.2	13.9	32.8	8.0	16.8	1.5
精神障害	15	13.3	33.3	26.7	20.0	13.3	53.3	13.3	6.7	0.0
難病	22	0.0	54.5	40.9	27.3	22.7	40.9	4.5	18.2	4.5
発達障害	222	6.3	29.7	45.0	19.8	10.4	28.4	5.0	19.4	4.5
高次脳機能障害	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
重症心身障害	9	0.0	44.4	55.6	44.4	22.2	44.4	0.0	22.2	0.0
強度行動障害	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

問 55-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

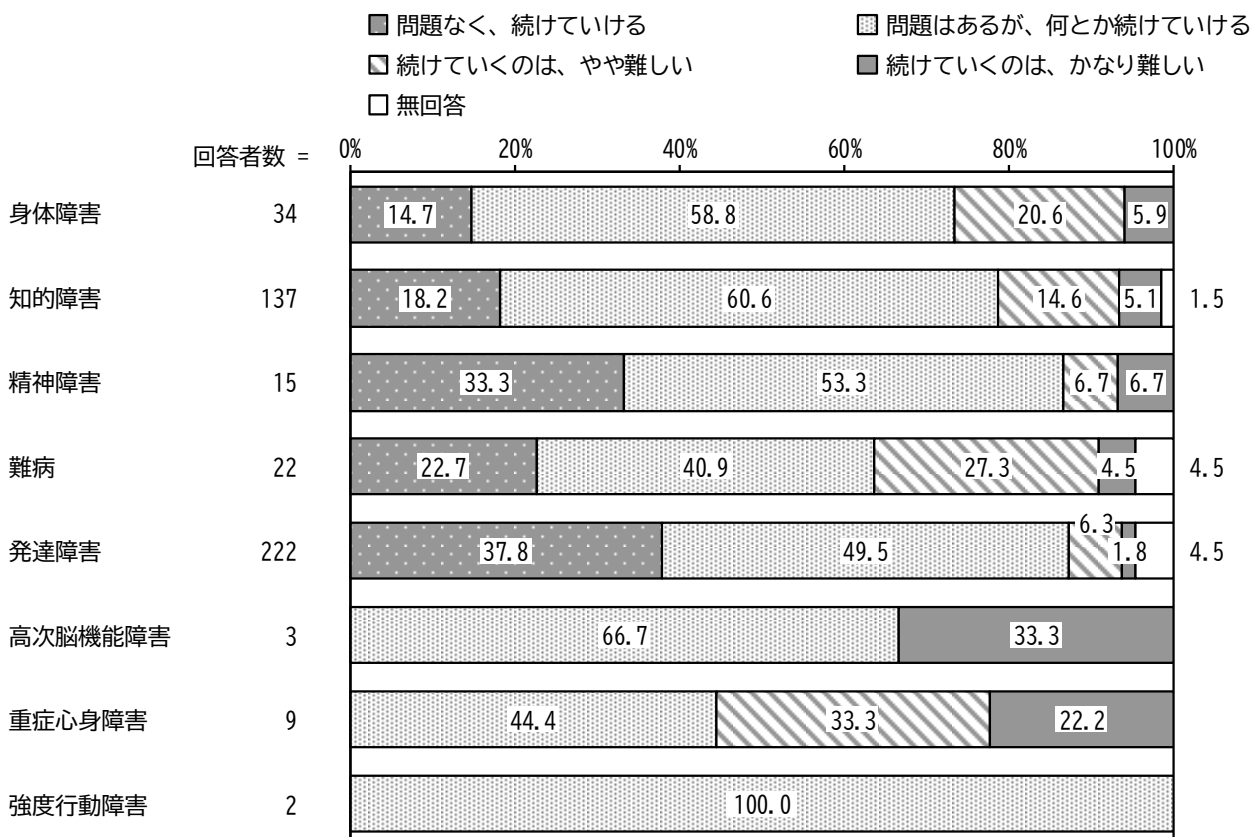
「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 31.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が増加しています。一方、「続けていくのは、かなり難しい」の割合が減少しています。



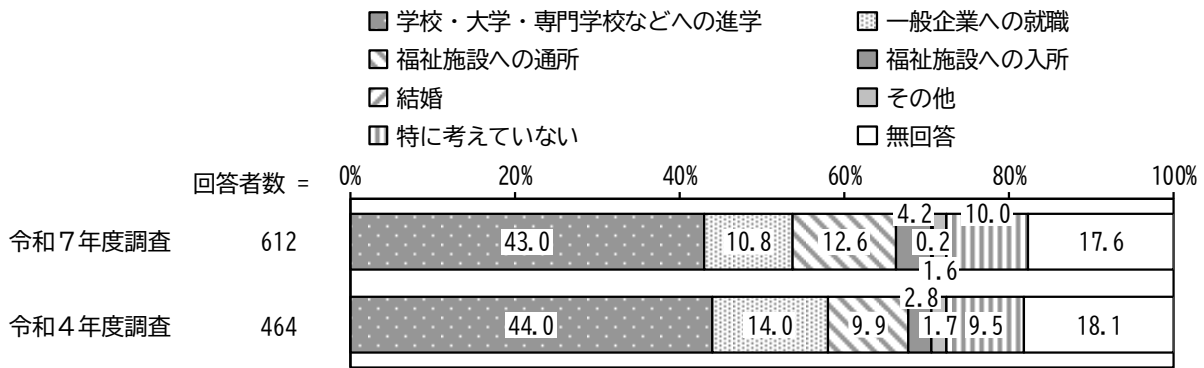
【障害種別】

障害種別にみると、難病で「続けていくのは、やや難しい」の割合が高く、身体障害で「問題なく、続けていける」、難病で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が低くなっています。



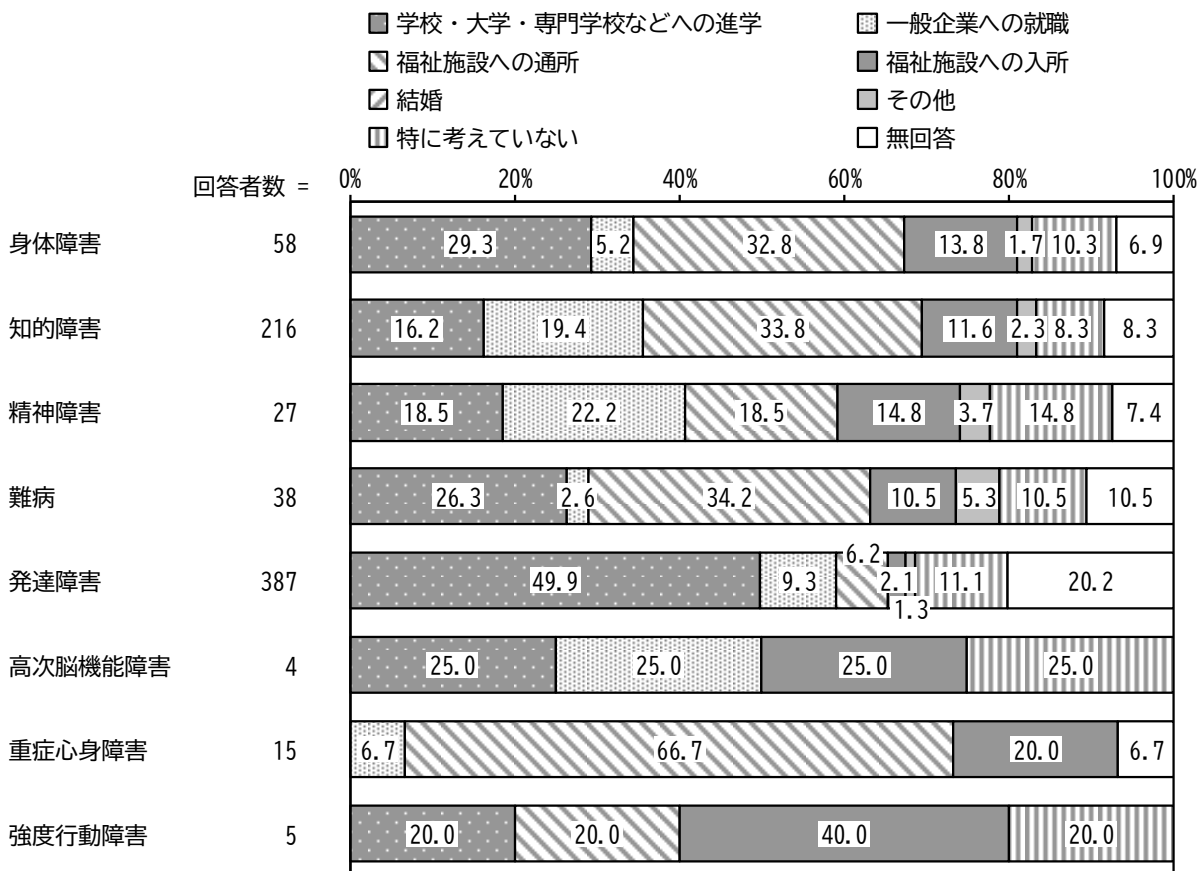
問 56 お子様は18歳になった時の希望について、あてはまるものはどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。本人の気持ちになってお書きください。

「学校・大学・専門学校などへの進学」の割合が43.0%と最も高く、次いで「福祉施設への通所」の割合が12.6%、「一般企業への就職」の割合が10.8%となっています。



【障害種別】

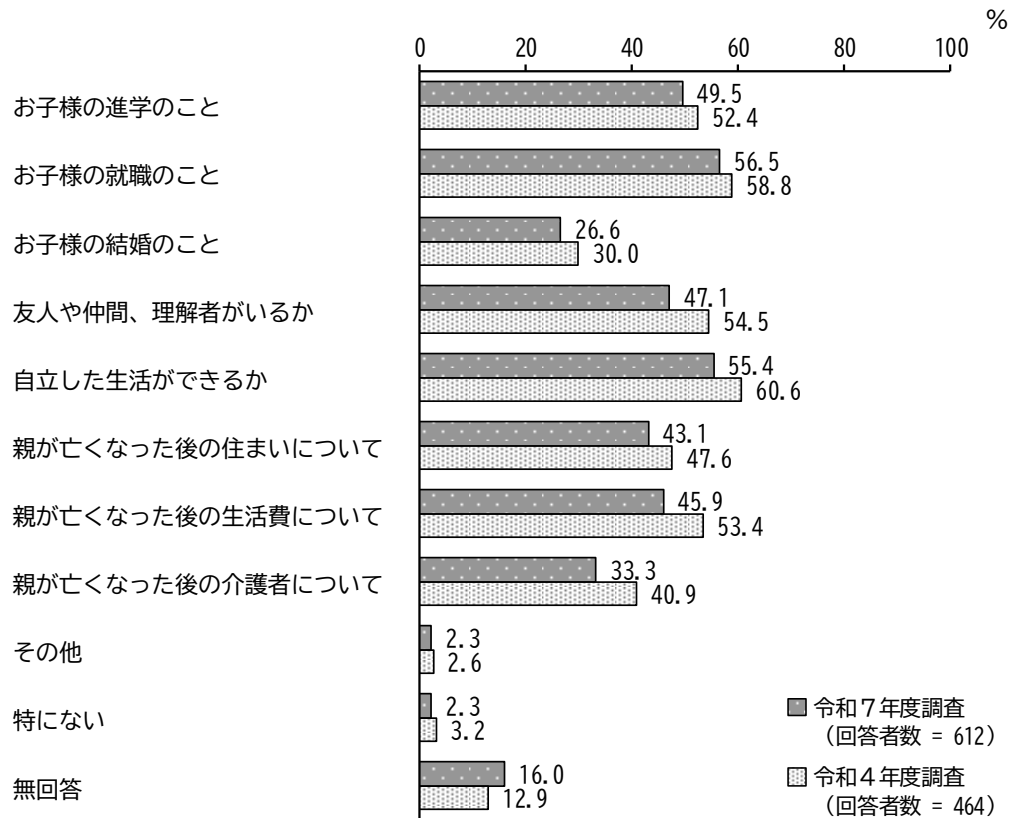
障害種別にみると、精神障害で「一般企業への就職」、重症心身障害で「福祉施設への通所」「福祉施設への入所」の割合が高くなっています。



問 57 お子様の将来のことで不安に思うことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「お子様の就職のこと」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「自立した生活ができるか」の割合が 55.4%、「お子様の進学のこと」の割合が 49.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「友人や仲間、理解者がいるか」「自立した生活ができるか」「親が亡くなった後の生活費について」「親が亡くなった後の介護者について」の割合が減少しています。



【障害種別】

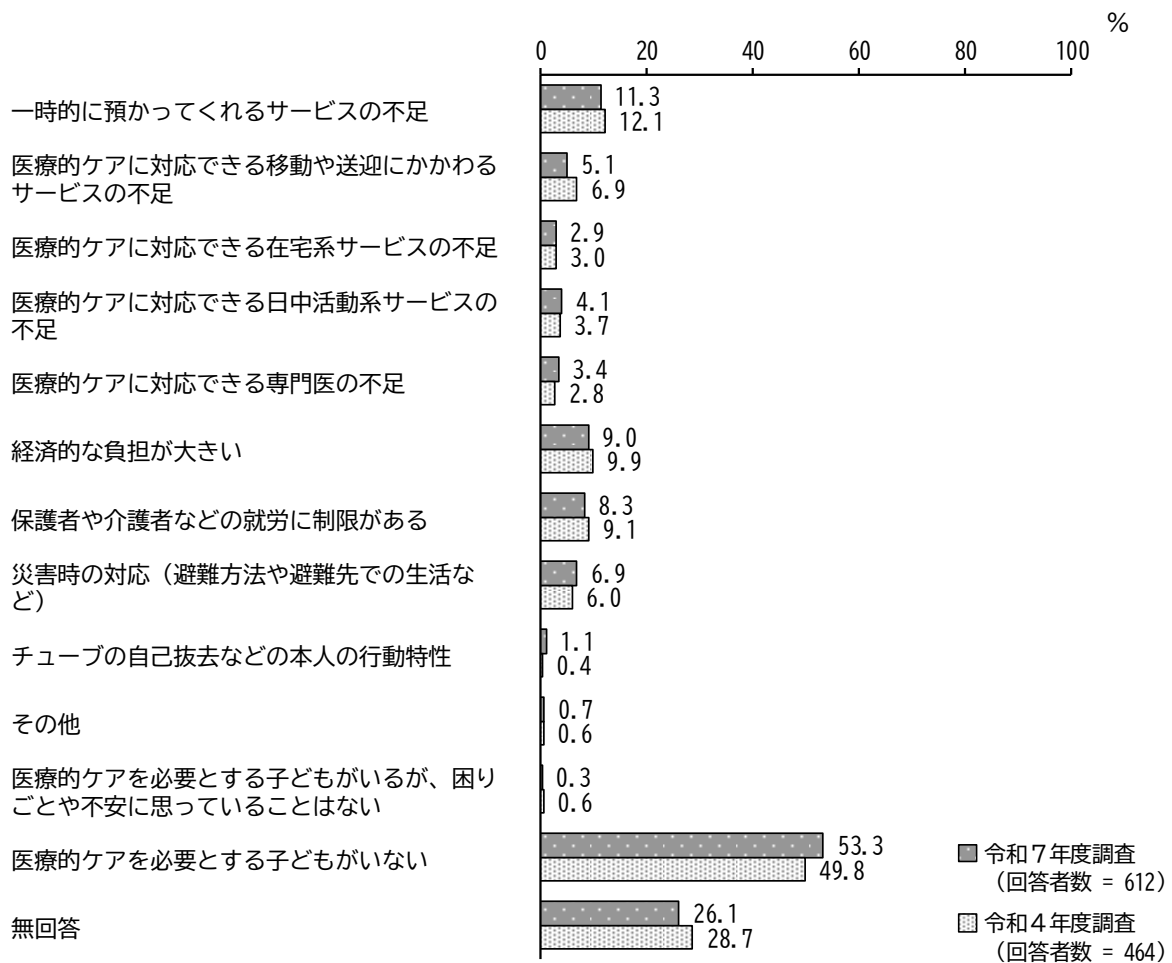
障害種別にみると、精神障害で「お子様の就職のこと」、重症心身障害で「親が亡くなった後の住まいについて」「親が亡くなった後の生活費について」「親が亡くなった後の介護者について」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	とお子様の進学のこと	とお子様の就職のこと	とお子様の結婚のこと	友人や仲間、理解者がいるか	自立した生活ができるか	親が亡くなった後の住まいについて	親が亡くなった後の生活費について	親が亡くなった後の介護者について	その他	特にない	無回答
全体	612	49.5	56.5	26.6	47.1	55.4	43.1	45.9	33.3	2.3	2.3	16.0
身体障害	58	36.2	29.3	17.2	36.2	39.7	56.9	56.9	60.3	6.9	1.7	6.9
知的障害	216	33.3	58.8	25.9	50.0	65.3	70.8	69.9	68.5	4.2	0.5	8.3
精神障害	27	51.9	66.7	33.3	55.6	63.0	74.1	74.1	70.4	7.4	0.0	7.4
難病	38	28.9	34.2	18.4	31.6	26.3	55.3	52.6	63.2	2.6	2.6	10.5
発達障害	387	57.6	61.0	27.6	48.6	55.6	38.0	41.9	24.3	2.1	1.3	18.6
高次脳機能障害	4	75.0	75.0	50.0	50.0	75.0	75.0	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0
重症心身障害	15	13.3	13.3	6.7	26.7	13.3	93.3	80.0	93.3	0.0	0.0	6.7
強度行動障害	5	20.0	40.0	0.0	60.0	80.0	100.0	80.0	100.0	20.0	0.0	0.0

問 58 あなたが、医療的ケアを必要とするお子様の介護について、困りごとや不安に思っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「一時的に預かってくれるサービスの不足」の割合が11.3%と最も高くなっています。



【障害種別】

障害種別にみると、重症心身障害で「一時的に預かってくれるサービスの不足」「医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足」「医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足」「医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足」「経済的な負担が大きい」「保護者や介護者などの就労に制限がある」「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）」「チューブの自己抜去などの本人の行動特性」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	一時的に預かってくれるサービスの不足	医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	医療的ケアに対応できる専門医の不足	経済的な負担が大きい	保護者や介護者などの就労に制限がある	災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）	チューブの自己抜去などの本人の行動特性	その他	医療的ケアを必要とする子どもがいるが、困りごとや不安に思っていることはない	医療的ケアを必要とする子どもがいない	無回答
全体	612	11.3	5.1	2.9	4.1	3.4	9.0	8.3	6.9	1.1	0.7	0.3	53.3	26.1
身体障害	58	32.8	15.5	12.1	10.3	8.6	20.7	27.6	24.1	8.6	0.0	0.0	44.8	12.1
知的障害	216	16.2	8.3	4.6	6.0	4.2	11.1	13.9	12.0	3.2	0.5	0.0	58.3	15.7
精神障害	27	18.5	14.8	11.1	14.8	11.1	22.2	18.5	22.2	3.7	0.0	3.7	40.7	14.8
難病	38	31.6	13.2	7.9	7.9	7.9	15.8	23.7	36.8	13.2	0.0	2.6	44.7	10.5
発達障害	387	10.1	4.1	1.8	3.6	3.4	8.5	7.0	5.4	0.3	0.5	0.5	50.9	29.7
高次脳機能障害	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
重症心身障害	15	73.3	40.0	26.7	20.0	13.3	53.3	73.3	53.3	26.7	0.0	0.0	0.0	6.7
強度行動障害	5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0